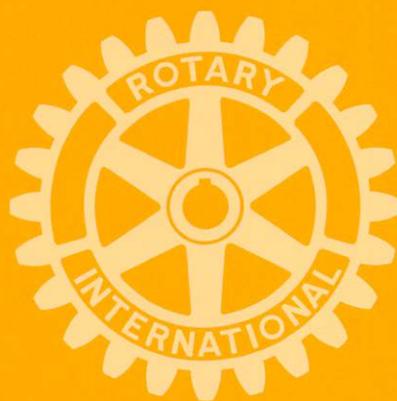




2014～2015
 国際ロータリー 第2510地区

地区大会 記録誌



2014年10月4日(土)5日(日)
 ルネッサンスサッポロホテル
 ニトリ文化ホール
 ロイトン札幌

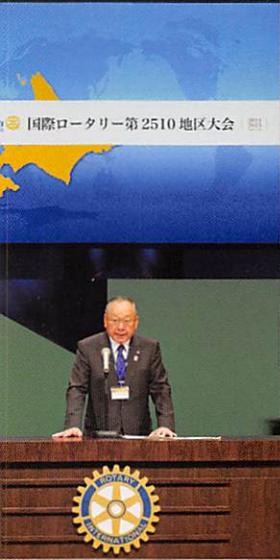
ホストクラブ 札幌南ロータリークラブ




Memorial

2014~2015 国際ロータリー 第2510地区

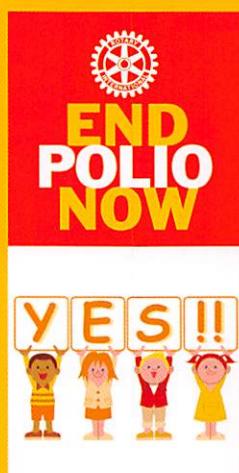






2014～2015
国際ロータリー 第2510地区

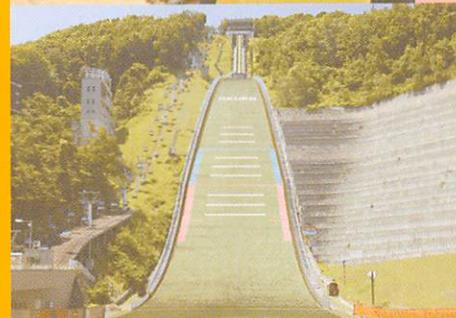
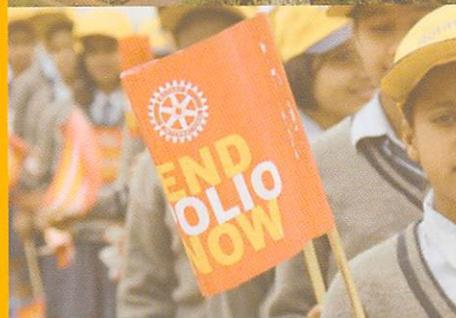
地区大会 記録誌



目次

国際ロータリー会長メッセージ	4
国際ロータリー第3700地区総裁祝辞	5
北海道知事祝辞	6
札幌市長祝辞	7
プロフィール	
国際ロータリー会長代理	8
国際ロータリー第2510地区ガバナー	9
国際ロータリー第3700地区総裁	10
ホストクラブ会長歓迎挨拶	11
実行委員長歓迎の挨拶	12
■ 会長・幹事会	13
ガバナー挨拶	14
国際ロータリー会長代理挨拶	17
■ 地区指導者育成セミナー	18
講師紹介	19
基調講演 テーマ「子供達の未来に ポリオのない世界を願って」	20
■ フォーラム	30
「世界・地域社会で 良い事を実践しているロータリー」	
■ RI会長代理歓迎晩餐会	44
■ 本会議	47
ガバナー挨拶	51
RI会長代理挨拶	53
RI現況報告	54
地区現況報告	58
大会決議案上程	60
大会決議採択	61
前年度決算報告	62
前年度決算監査報告	62
大会登録委員会報告	63
大会信任状委員会報告	63
大会選挙管理委員会報告	63
■ よねやま親善大使から	64

■基調講演	
演題「今、私たちにできること」	
～自分を見つめて、世界を見つめる～	67
ガバナーエレクト挨拶	76
ガバナーノミニー挨拶	78
次期地区大会開催地ホストクラブ会長挨拶	80
RI会長代理所感	81
お礼の言葉	82
■記念懇親会	83
■物故会員ご尊名	85
■表彰	86
永年出席100%会員表彰	88
ロータリー財団表彰	89
(公財)ロータリー米山記念奨学会表彰	90
■ご来賓ご芳名	91
■地区大会特別参加者名簿	92
■並行プログラム	
スパウス (配偶者)	93
青少年プログラム	94
■地区大会記念囲碁大会のご報告	95
■地区大会記念ゴルフ大会を終えて	97
■参加クラブ紹介	99
■地区資金収支決算書 (2013-2014年度)	114
■地区年次大会収支決算書 (2013-2014年度)	118
■地区大会運営委員会	119
■地区大会実行委員会	119
■編集後記	120





国際ロータリー会長メッセージ

2014-15年度 国際ロータリー会長
ゲイリー C. K. ホアン

この度は、2014-15 年度地区大会へご出席いただき、誠にありがとうございます。地区大会は、ロータリアンとロータリーファミリーの皆さまが親睦を深め、さまざまなプログラムや活動について学べるだけでなく、地区が達成してきた活動や取り組みをともに祝うための絶好の機会です。私も、妻のコーリーナとともに、数々の素晴らしい地区大会に参加したことを思い出します。皆さまには、この特別な機会を最大限に生かしていただけることを願っております。

孔子はかつて、「ただ座って暗闇を呪うよりも、ろうそくを灯した方がいい」と述べました。これは私がとても大切にしている言葉です。地元や海外の地域社会で日々プロジェクトを行うロータリアンはまさに、この考え方を実践している、つまり、行動を通じて「ろうそくに火を灯している」と言えるでしょう。

今年度、私から皆さまへのチャレンジは、ロータリーの活動をもっと楽しくし、会員基盤を強化するだけでなく、より多くの実り多いプロジェクトを実施し、もっと多くの人びとにロータリーのメッセージを伝えることで、「ロータリーに輝きを」もたらすことです。「ロータリーに輝きを」は今年度のテーマですが、この言葉にはテーマ以上の意味があり

ます。それはつまり、私たちがロータリーでどう生き、どう活動するか、また、クラブ、地区、国のレベルで、私たちが毎日どのように好ましい変化をもたらすことができるかを問うものでもあります。

この地区大会で素晴らしい時間を過ごされまことを願っております。さらに、会場を去る時には、これまでよりも高い奉仕目標への意欲、ロータリーの成長に対する献身、世界でもっと多くのよいことを行うためのエネルギーを感じていただけることを心より願っております。ともに「ロータリーに輝きを」与えてまいりましょう。

心を込めて





祝辞

国際ロータリー第3700地区総裁
(慈仁) 河 潤守

天高く馬肥ゆる秋に、ロータリーの造詣が深いリーダーがたくさんいらっしゃる第2510地区大会にお招き頂き、誠にありがとうございます。国際ロータリー、ゲイリー C.K.ホァンRI会長とコリーナ令夫人の代理としてご臨席賜りました松本茂太郎国際ロータリー会長代理ご夫妻と羽部大仁ガバナー、ご令嬢の松永さやかさん、田中賢一大会実行委員長を始め、多くのロータリアンとご家族の皆様にお会いできてうれしい限りであり、光栄に存じます。

韓国の国際ロータリー第3700地区の全会員を代表して貴地区大会が札幌南ロータリークラブをホストとして、札幌市で盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

2004年10月17日、両地区が姉妹提携を結んでから最早10年になりました。今まで、毎年、地区大会が良い機会になり、相互親善訪問を通じてその交流が繰り返されることで両地区の友愛と会員間の絆がますます堅固な基盤を構築して来ています。

今年4月26日に開催されました国際ロータリー第3700地区大会にも羽部大仁ガバナー、ご令嬢の松永さやかさんと安孫子建雄パストガバナーご夫妻を始め地区役員と家族を含む26名に参加して頂き、国際色豊かな大会になりましたことを今でも心より厚く感謝しております。

このようにロータリーの友情を深めることが日韓両国間の親善と発展に大きく寄与することを確信しております。

ゲイリーC.K.ホァンRI会長は今年度テーマとして「ロータリーに輝きを」提唱しました。我々両地区もこのテーマの主旨に従い、会員増強・ロータリー奉仕・ロータリーの家族を輝かす為、積極的に推進しなければなりません。そのためには、両地区が交流をもっと活発に行い、より友情を深め、国際奉仕共同推進事業を信頼と奉仕精神で進めることで、ロータリーを輝かせたいと思います。

最後に第2510地区の益々のご発展と、会員ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝辞

北海道知事
高橋はるみ

「2014—2015年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

羽部ガバナーをはじめ会員の皆様におかれましては、日ごろから、国際奉仕活動、青少年の健全育成など、幅広い奉仕活動に献身的に取り組まれ、地域の発展に多大なご貢献をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

今、北海道は、人口減少や高齢化が急速に進行するなど、社会環境が大きく変化しており、将来にわたって持続可能な地域社会づくりが求められています。

こうした中、福祉や環境、まちづくりという様々な分野で、地域の課題解決や魅力向上に向けた活動が広がりをみせており、皆様が、崇高な奉仕の精神のもと取り組まれているお互いを思いやり助け合う活動は、今後ますます重要になっていくものと思います。

道といたしましては、市民活動の促進をはじめ、様々な取組を進め、活力に満ち、心豊かな地域社会を築いてまいりたいと考えています。

国際ロータリー第2510地区の皆様におかれましては、この地区大会を契機として、会員相互の絆をさらに深められ、これまで長年受け継いでこられた

貴い奉仕の精神を大切にいただき、一層ご活躍されることをご期待申し上げます。また、今後とも、地域の個性が輝く元気な北海道づくりに向けて、引き続きご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、本大会のご盛会と会員の皆様のますますのご健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。



祝辞

札幌市長

上田 文雄

2014～2015年度国際ロータリー第2510地区の地区大会が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

皆様におかれましては、人道支援活動や国際親善活動、地域社会奉仕活動など、より良い社会の実現に向け、さまざまな活動に取り組まれておりますことに敬意を表しますとともに、日ごろより札幌市政の推進に多大なるお力添えをいただき、深く感謝を申し上げます。

今、札幌市は、人口減少期への移行や超高齢社会の到来など、取巻く社会経済情勢が大きく変わりつつあり、まさに時代の転換期を迎えようとしております。こうした状況においても、都市の魅力、活力と生活の質を高め、世界に誇るこのまちの輝きを未来へと引き継いでいくため、今後10年間のまちづくりの指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を、昨年策定いたしました。

このビジョンでは、将来のまちの姿の一つに「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」を掲げ、これまで以上に、市民自治が息づくまちづくりを目指すこととしております。未来を担う子どもたちが笑顔で生き生きと幸せに成長し、誰もが安心して暮らせるまちの実現には、地域の支え合いや助け合いが重要となってまいります。また、市民一人

一人が自分自身の社会的役割を果たすことで、札幌での暮らしに生きがいや豊かさを感じ、まちに対する誇りや愛着を持てるようにすることが必要であるとも考えております。

こうしたまちづくりの実現には、地域社会に根差した奉仕活動を行ってこられた皆様のお力添えが不可欠であります。皆様には、引き続き地域の原動力としての一層の御活躍を期待申し上げますとともに、札幌市政への変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本大会の御盛会と国際ロータリー第2510地区の限りない御発展とともに、皆様のますますの御健勝、御活躍を心よりお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

プロフィール



国際ロータリー会長代理
松本茂太郎

■略 歴：

所 属 福山ロータリークラブ
職業分類 染色捺染

■職 歴：

福山ガス株式会社、内外物産株式会社、福山ガス産業株式会社
各代表取締役社長
山陽染工株式会社、中国紡織株式会社、ダイヤ石油株式会社
各代表取締役会長

■公 職：

- ・財団法人松本育英会 理事長
- ・福山商工会議所 副会頭
- ・一般社団法人発明協会広島県支部 常任理事
- ・福山大学 評議員

■ロータリー略歴：

1986年 福山ロータリークラブ 入会
1990年 幹 事
1996～97年 第2710地区地区幹事（地区財団委員長）
1998～99年 会 長
1999～2000年 第7分区 ガバナー補佐
2004～05年 第2710地区 ガバナー
2003～05年 米山記念奨学会 評議員
2007～08年 米山記念奨学会 財務委員会委員長
2008～09年 RI研修リーダー
2008～09年 第2710地区 地区研修リーダー
2009～10年 ロータリー財団コーディネーター補佐
ゾーン3, 4A 担当
ARRFC ゾーン3担当
2010～11年 第2710地区 職業奉仕・社会奉仕
カウンセラー

2011～12年 第2710地区 会員組織委員会
カウンセラー

2012年～ RRFCC 第3ゾーン担当
（ロータリー財団地域コーディネーター）

2012年～ （公益財団）ロータリー日本財団 理事

2013～14年 第2710地区 ロータリー財団委員会
アドバイザー

ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、大口寄付者、ベネファクター、ポール・ハリス・ソサエティ、米山功労者、米山功労法人（山陽染工（株）福山ガス（株））

プロフィール



国際ロータリー
第2510地区ガバナー
羽部 大仁

■略 歴：

生年月日 1951年4月1日
職業分類 浄土真宗東本願寺派
浄土真宗東本願寺派 慧林寺 住職

■学 歴：

1973年3月 大谷大学文学部卒

■職 歴：

1972年5月 浄土真宗東本願寺派 慧林寺 住職
現在に至る

■ロータリー略歴：

1980年7月 札幌幌南ロータリークラブ 入会
1989～90年度 幹 事
1993～94年度 地区大会幹事
1998～2000年度 地区文献資料室委員長
2000～01年度 地区幹事
2003～06年度 地区クラブ奉仕委員会委員長
2009～10年度 会 長
ロータリー財団メジャードナー
米山功労者マルチプル

■公 職 歴：

1997年4月 浄土真宗東本願寺派婦人会・事務局長
2003年4月 本山東本願寺・総務

プロフィール



国際ロータリー
第3700地区総裁
(慈仁)河潤守

《経歴》

生年月日 1963年9月5日 (旧暦7月18日)
所 属 大邱イーグルRC
職 業 韓国空調(株) 代表理事

【学歴】

1983年 大邱工業高等学校 卒業
2004年 慶北大学校 経営大学院卒業 (経営学修士)

【一般経歴】

2004年～現在 大邱広域市寿城区生活体育会
会長 (2008年～現在)
2005年～現在 大邱広域市警察庁 人権委員会
委員 (現委員長)
2005年～現在 民主平和統一諮問会議 諮問委員 (現)
2005年～現在 (社)自然保護中央会 大邱広域市協議会
副会長 (現)
2007年～09年 肢体障害者協会 後援会 副会長
2009年～現在 国民健康保険公団 寿城支社 諮問委員 (現)
2011年～現在 民族統一 大邱広域市 協議会 副会長 (現)
2004年～現在 大邱寿城警察署 青少年指導委員 (現)
2012年 第93回国体 寿城区運営委員会 副委員長
2012年～現在 常緑フォーラム 大邱副代表 (現)
2012年～現在 CBS運営理事 (現)
2009年～現在 慈仁小学校 総同窓会 副会長 (現)
2011年～12年 嶺南大学校 経営大学院 AMP 総同窓会
常任副会長

【ロータリー歴】

2001年7月12日 大邱イーグルRC 創立会員
2003年～04年 大邱イーグルRC 会長
2005年～06年 RI 第3700地区 幹事
2007年～08年 RI 第3700地区 ガバナー補佐

2009年～10年 RI 第3700地区 ガバナー補佐
2010年～13年 RI 第3700地区 研修リーダー
2013年～14年 RI 第3700地区 ガバナーエレクト

【財団寄附】

高額寄付者 Level II (25,000\$)、PHS、BNF、遺贈友の会
メンバー、個人奨学の人 (1)

【ロータリー授賞】

2003年12月 RI 第3700地区 財団寄与功労賞 (金雨洪総裁)
2004年 4月 RI 第3700地区 地区拡大功労賞 (金雨洪総裁)
2005年 4月 RI 第3700地区 地区拡大功労賞 (都載旭総裁)
2005年11月 RI 第3700地区 功労賞 (南星姫総裁)
2006年 4月 RI 第3700地区 保健・食水・文盲退治寄与賞
(南星姫総裁)
2006年 5月 RI 第3700地区 功労賞 (南星姫総裁)
2008年 5月 RI 第3700地区 功労賞 (張益鉉総裁)
2010年 5月 RI 第3700地区 功労賞 (宋俊起総裁)
2011年 5月 RI 第3700地区 功労賞 (李相喆総裁)
2012年 5月 RI 第3700地区 功労賞 (朴命洙総裁)
2013年 5月 RI 第3700地区 功労賞 (呂成源総裁)

【一般授賞】

2005年10月 大邱地方警察庁長 感謝状
2006年 4月 モンゴル トアイマク政府 勲章
2006年10月 環境部長官 表彰
2008年12月 大邱広域市長 感謝状
2009年12月 大邱広域市長 表彰
2010年12月 誇らしい寿城区民賞 受賞
2011年10月 警察庁長 感謝状
2012年10月 統一部長官 表彰
2012年11月 国民生活体育会長 表彰状
2013年12月 文化体育観光部長官 表彰状



ホストクラブ会長歓迎挨拶

札幌幌南ロータリークラブ会長
舩田 雅彦

国際ロータリー第2510地区、2014-2015年度地区大会ホスト札幌幌南ロータリークラブを代表して、歓迎のご挨拶を申し上げます。

本州方面の記録的な大雨被害など天候不順だった夏が去り、秋の気配も深まった今日このごろであります。本日はRI会長代理松本茂太郎様ご夫妻をお迎えし、北海道知事高橋はるみ様、札幌市長上田文雄様ほか多数のご来賓のご臨席をいただきました。また、姉妹地区であります韓国第3700地区からも多くのロータリアン、ご家族においでいただきました。地区内外からも、ガバナー、パストガバナー、多数のロータリアン、ご家族、青少年の皆様にご参加をいただき、このような盛大な地区大会を開催することができましたことはまことに光栄の至りであります。

私ども札幌幌南ロータリークラブは、今年度創立50周年を迎えます。その間地区大会ホストは、1993-1994年度の留萌ロータリークラブ富山惟夫ガバナーの地区大会をホストさせていただいたのと2000-2001年度の当クラブ遠藤正之ガバナーの地区大会の2回経験させていただき、今大会は14年ぶり3度目のホストとなります。

前回ホストの当時は、会員数も多く地区大会の運営も前例踏襲で進めることで大過なく役割を終え

ることができました。しかし、昨今の会員数の減少傾向をうけて、地区大会の形自体をどのようにすべきかというところから試行錯誤しながら、羽部大仁ガバナーのご指導のもと全会員が一致協力して準備を進めてまいりましたが、何かと不手際や不行届きの点があろうかと思えます。その際には、ロータリーの寛容の精神をもってご容赦いただき、地区大会ホストの責務を果たしてまいりたいと存じますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年度のゲイリーC.K.ホアンRI会長のテーマは「ロータリーに輝きを」であります。私自身は、このテーマの意味を、私たち一人ひとりのロータリアンがロータリー精神に基づいた行動をとることによって、ロータリーが地域社会から評価され、ロータリーに輝きをもたらされるという趣旨だと理解しています。今回の地区大会において、参加ロータリアンの皆様はロータリーへの理解をより一層深め、奉仕と友愛の輪をさらに広げていただくことを心から祈念いたします。

皆様の好意と友情に深い感謝と心からの歓迎を申し上げ、粗辞ではありますが歓迎のことばとさせていただきます。



歓迎の挨拶

実行委員長
田中 賢一

国際ロータリー第2510地区、2014-2015年度地区大会開催にあたり歓迎のご挨拶を申し上げます。

本大会には、国際ロータリー会長代理の国際ロータリー第2710地区パストガバナー松本茂太郎様ご夫妻をお迎えし、またご来賓としてご公務多忙のところ高橋はるみ北海道知事、上田文雄札幌市長の来駕を仰ぎ、さらに大韓民国第3700地区から慈仁河潤守総裁をはじめ多くのロータリアンのご出席をいただき、大会実行委員長として厚くお礼を申し上げます。

地区内外からは、多数のガバナー、パストガバナーのほかインターアクター・ローターアクター、交換留学生、米山奨学生に加え、会員ならびにご家族を含め、総勢約1800名のご参加を戴き心より歓迎申し上げます。

さて、今大会のホストクラブ役を担う事になった札幌南ロータリークラブは1964年、札幌東ロータリークラブにスポンサーになっていただき、今年で創立50周年を迎える事ができました。この節目に羽部大仁ガバナーのもと、地区大会ホストとして皆様を歓迎すべく準備を進めてまいりました。

記念囲碁大会、記念ゴルフ大会では、親睦と友愛の場を提供しスパウsprogram、青少年プログラムなど併催し、地区指導者育成セミナーでは第2830

地区パストガバナー関場慶博氏に「子供達の未来にポリオのない世界を願って」と題して基調講演をお願いし、本会議では、テレビ・映画・舞台に活躍する一方、1998年国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・パレスチナ・タンザニア・東ティモール他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活躍中の紺野美沙子氏を招聘して「今、私たちにできること～自分を見つめて、世界を見つめる」と題する記念講演をお願いしました。

また、懇親会にはアトラクションとして、北海道歌旅座の皆さんを招き、出席の皆さんに楽しい一時を過ごしていただき、親睦の輪が広がればと考えています。

不手際・不行き届きの点あろうかと存じますが、どうぞその節はロータリーの友情と寛容の精神で、お許し願いたく存じます。

今大会が出席の皆様と共に、このロマンの街、札幌で更に友情の輪を広げられ、楽しく実り多い大会になりますことを祈念申し上げ、歓迎のご挨拶いたします。

会長・幹事会

10月4日(土)

会長・幹事会

ルネッサンスサッポロホテル 地下1階ボールルーム

司会：地区代表幹事 田澤 泰明

- 12:00 登録受付開始
- 13:00 点 鐘
国歌斉唱
ロータリーソング 「奉仕の理想」
ソングリーダー 松根壽史男
RI会長代理・ご来賓・役員の紹介
ガバナー 羽部 大仁
- 開会の挨拶 大会実行委員長 田中 賢一
ガバナー挨拶 ガバナー 羽部 大仁
- 13:20 RI会長代理挨拶 RI会長代理 松本茂太郎
- 13:30 協 議
大会決議案上程審議
大会決議委員長 熊澤 隆樹
大会決議案上程承認 ガバナー 羽部 大仁
- 13:40 大会運営について 大会実行委員長 田中 賢一
- 13:45 2013-2014年度決算報告
前年度地区財務委員長 吉田 欣司
2013-2014年度決算監査報告
パストガバナー 細川 好弘
- 13:50 大会運営委員会報告
大会登録委員長報告
大会登録委員長 安孫子建雄
大会信任状委員会報告
大会信任状委員長 細川 好弘
大会選挙管理委員会報告
大会選挙管理委員長 佐々木正丞
- ロータリーの友について
ロータリーの友事務所所長 渡辺 誠二
- 14:05 点 鐘 ガバナー 羽部 大仁
諸事お知らせ 大会SAA 佐野 剛



ガバナー挨拶

ガバナー 羽部 大仁

一言、ご挨拶を申し上げます。本日国際ロータリー ゲイリー C.K.ホエン会長代理として、第2710地区福山ロータリークラブ 松本茂太郎パストガバナー、令夫人洵子さまをお迎えいたしまして、素晴らしいご指導をいただきながら両日にわたり、第2510地区 地区大会を開催できますこと、誠に光栄かつ名誉なことと、今日お集まりの会長、幹事の皆さまと一緒にこの喜びを分かち合いたいと思います。松本茂太郎会長代理、何卒よろしく願いいたします。

あらためて、大会のテーマを設けてはございませんけども、2014年15年度の取り組みの最大時は、人道的な、緊急的な課題であり、ロータリーがこの四半世紀をかけて取り組んでまいりましたポリオのない世界を願って、「END POLIO NOW」それが今回の私たちの願いであります。これは9月の14日、第2510地区、全クラブに呼びかけた、そして実施されたロータリーでございました前後2週間をロータリーウィークといたしまして、クラブあるいはグループで様々な事業、そしてプログラムが開催されました。一緒に活動いただいた多くのロータリアンに心から敬意と感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

ポリオ撲滅にむけて、街頭募金では素晴らしい成果を上げることができました。それ以上に素晴らしいことは、奉仕の理想を実行したことです。まさに、善行が施されたことになると思います。

明日の本会議では、友愛の広場が開設されます。そこに、ロータリーでの活動、写真や動画をポリオプラス委員会、広報委員会などで集めた様々な資料、ブースに展示、放映されることになっております。ぜひご覧いただきたいとお願い申し上げます。

今年度、ゲイリー C.K.ホエン会長のテーマは、「ライトアップ ロータリー」、「ロータリーに輝きを」でございます。1人ひとりのロータリアンが相手を思い遣る心。そしてその心が家庭に、地域社会に、世界中に施される時、ロータリーは世界中を輝かせ、世界中平和に導くことに違いないと確信するものであります。

本日はこれから、地区大会 本会議に提出する審議をお願いをすることになっております。何卒よろしくご審議いただきますようお願いを申し上げます。

最後にこの地区大会のホストクラブをお努めくださった、札幌幌南ロータリークラブの実行委員会、そしてガバナースタッフ、皆さんにはこの1ヶ月ほどは連日夜遅くまで、会合や作業を続けてこられました。ここに、主催者として心から

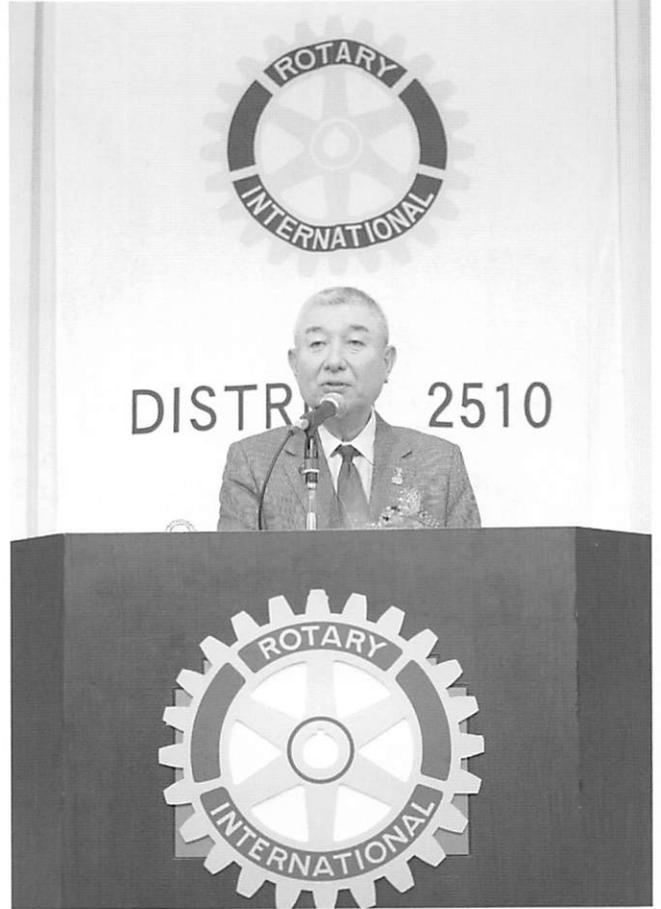


感謝を申し上げます。何卒2日間のロータリーを、そして地区大会を、学び、楽しんでいただきたいと思います。

もう一つお願いをすることがございました。あの、ちょっと忘れておりました。地区の広報委員会からのことですが、広報活動の一環として、9月の6日に、土曜日でしたが、北海道新聞全道版にロータリーの活動に関する一面広告を出ささせていただきました。ご覧になっていただきましたでしょうか。私が一面に載っておりましたが、今回は記事に載っておりまして、誠に僭越でございました。今までに約120万ほどの広告料のご入金をいただいてありがとうございます。まだ入金いただいてないクラブがあると聞いておりますが…何か声が小さくなってしまいました。

気を取り直してまいりたいと思います。ご入金いただいてないクラブには大変申し訳ありませんが、至急、ご入金をいただきたいとお願い申し上げます。と、書いてあります。今回はなるべく原稿をきちんと読むように言われておりますので、そのように読ませていただいておりますが、また再度広報委員会からお願いとお礼の文書を出させていただくことになっておるようでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今日、そして明日の2日間、どうか一つ皆さん、地区大会を楽しんでいただきたいと思います。そして、少し勉強していただきたいと、私も一緒に学んでいきたいと思っております。今日はよろしく願いいたします。





国際ロータリー会長代理挨拶

国際ロータリー会長代理 松本茂太郎

皆さんこんにちは。この度、歴史と伝統のある、第2510地区 地区大会に会長代理として参りました、松本でございます。羽部ガバナーの素晴らしいリーダーシップにより、盛大に開催されますことを誠に喜ばしいことと存知あげております。

只今ご紹介にあずかりました、国際ロータリー第2710地区、広島県と山口県のテリトリーでございますけれども、福山ロータリークラブの松本でございます。2004年、5年のロータリー100周年の時のガバナーをしまして、今日はエイドをさせていただいております遠藤パストガバナーは、同期のガバナーでございます。また、同期で今日は家内がおらんもんで言ってもいいんですけど、悪い同期が2人おります。1人は今理事をしております、北理事でございます。もう一方は、松宮という直前理事でございます。この2人の理事と理事経験者が同期でございます。まだRI研修リーダーをしております藤林という大酒飲みも同期でございます。そういう中で100周年で育っております、セレブレイトロータリー、ロータリーを楽しもうという、全て楽しんできた男でございますから、こういう会長代理というのはおこがましいことでございますけれども、どうも羽部ガバナーが引っ張りましてこういう羽目になってしまいました。

ゲイリー・ホァン会長とはもう本当に昔からの知り合いでございます、この間広島で開催されました平和会議では、ゲイリー・ホァン氏のどういうわけかエイドをさせられたんでございます。こっちから言ったんじゃないやございませぬ。大変でございましたけども、よく知っておりますので、お迎えに行つて広島空港まで送つて行って、どういうわけか広島と福山は新幹線で25分でございますけども、4日間も広島へ泊まったということでございます。夜、飲みには行けず、じつとゲイリー・ホァン会長の面倒をみておりました。それは嘘でございます。



今日これから第1日目の会長・幹事会がはじまります。羽部ガバナーの素晴らしいリーダーシップのもとに、素晴らしい進行をお願いしたいと思います。羽部ガバナーの足を引っ張らないようにどうぞよろしくお願いいたします。

そしてその後、地区指導者研修育成セミナーが開催されます。関場パストガバナーの基調講演、そしてフォーラムと素晴らしいプログラムが始まります。関場パストガバナーも福山へ来られまして、講演をさせていただいております。今日、今もおられませんがほんとにポリオのオーソリティでございますので私も一緒に勉強したいと思います。ポリオのことをガバナーから質問をいただきましたんですけども、たぶん関場パストガバナーが全てお答えになるんじゃないかと確信をしております。私も一緒に勉強していきますので、この2日間どうぞよろしくお願いいたします。挨拶とさせて、どうぞよろしくお願いいたします。

地区指導者育成セミナー

地区指導者育成セミナー

ルネッサンスサッポロホテル 地下1階ボールルーム

司会：地区代表幹事 田澤 泰明

14:00 登録受付開始

14:30 点 鐘 ガバナー 羽部 大仁

ガバナー挨拶 ガバナー 羽部 大仁

14:35 講師紹介 地区研修リーダー 酒井 正人

14:40 基調講演

テーマ「子供達の未来に

ポリオのない世界を願って」

RI第2830地区パストガバナー 関場 慶博

15:40 休 憩

15:50 フォーラム

「世界・地域社会で

良い事を実践しているロータリー」

コーディネーター

地区研修リーダー 酒井 正人

アドバイザー

RI第2830地区パストガバナー 関場 慶博

パネリスト 地区国際奉仕委員長 松原 重俊

地区ポリオプラス委員長 岡崎 芳明

地区社会奉仕委員長 遠藤 浩一

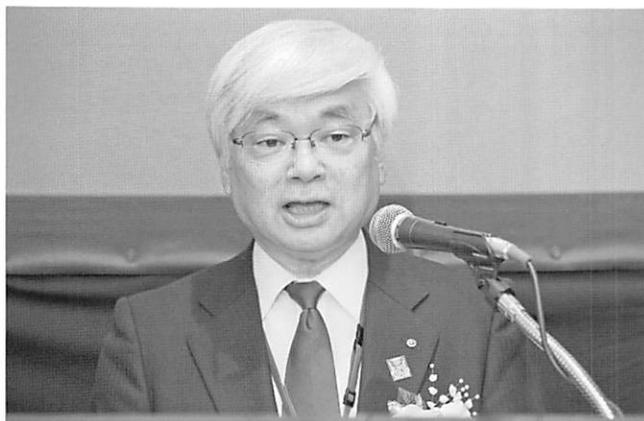
地区青少年奉仕委員長 出村知佳子

地区広報委員長 杉江俊太郎

17:20 謝 辞 ガバナー 羽部 大仁

17:30 点 鐘 ガバナー 羽部 大仁

諸事お知らせ 大会SAA 佐野 剛



講師紹介



地区研修リーダー
酒井 正人

皆さまこんにちは。それでは本日も講演をいただきます
関場先生をご紹介させていただきます。お手元の26ページ
に詳しくは出ておりますが、すべてをご紹介いたしますと先
生のご講演の時間がなくなってしまいそうな経歴でござい
ますので、その中のいくつかをご紹介させていただきます。

先生は1950年1月20日にお生まれになりまして、現在は
弘前アップルロータリークラブの会員でございます。2830
地区の2000年から2001年のガバナーをお努めになりまし
た。現在は医療法人栄現会理事長、せきばクリニックの院長
でございます。たぶん先生のご講演の中でもお話をされる
と思いますがちょっとだけ触れさせていただきます。1976
年に福島県立医科大学をご卒業ののち、1978年から80年
にかけまして奥様とお二人で西アフリカのガーナ国で小児医
療専門家として医療活動をされております。

続きまして先生のロータリー歴をご紹介させていただきます。
1988年弘前ロータリークラブへ入会されました。先
ほどお話いたしましたように、2000-2001年に2830地区の
ガバナーをお務めになっております。2006年から2007年、
ポリオのない世界のための国際奉仕賞を受賞しておりま
す。そして2011年12年に弘前アップルロータリークラブを
設立、特別代表になっております。その間、2001年ガバナー
のときから現在まで、インドへ10回ほど渡りまして、ポリオ
の撲滅のための活動をなさっております。そして今年3月
に、ポリオフリーコンクラーベというのがインドで行われま
して、その席でインドの首相から表彰を受けたということで
ございます。また、先生はたくさんの国際ロータリーの仕事



をされておりました、国際ロータリーのSAとしては7回
国際協議会あるいは国際大会等にご出席になりまして私ども
をエスコートしてくださいました。研修リーダーといたし
ましては6年7年にサンディエゴの研修リーダーをされま
して、当クラブの丸山パストガバナーと私がおその時の教えを
受けたわけでありまして、会長代理はトータル6回お努め
になっておられます。コーディネーター歴も7年間されてお
りまして、まだたくさんご紹介したいことがございますが先
生のお時間をこれ以上とるとかえってご迷惑かと思いま
すので、先生のご紹介は詳しくは、どうぞお手元のプログラム
をご覧くださいと思います。先生、よろしく願いいた
します。

RI第2830地区パストガバナー
関場 慶博

どうも、酒井パストガバナー、大変ご丁寧な紹介をいただきましてありがとうございます。松本国際ロータリー会長代理、そして羽部ガバナー、2510地区のパストガバナーの皆さま、そして親愛なる2510地区のロータリアンの皆さま、あらためましてこんにちは、関場でございます。実は私昨日の夜仕事が終わってから札幌に飛んで参りまして、ホテルに着いたのはもう12時近かったですね。それで今朝酒井パストガバナーと打ち合わせがありまして、朝ご飯一緒に食べながらというお話だったんですが、ちょっと私今声がかすれておりまして、そしたら酒井パストガバナーいわく開口一番、関場さん昨日飲み過ぎましたか？とこう言われましたけれども。だいたい私は酒好きだと知ってるからだと思いますが、飲み過ぎではなくて、昨日は確かにサッポロビールちょっといただきましたけれども缶ビール半分で寝てしまいました。僕はこの通り体は丈夫なのですが、大学時代から空手とか武道をずっとやっています、まず病気をしたことはないんですが、喉だけは小さい頃から、それこそ1歳2歳の頃、クループという病気があるんです、それに喉をやられましてウイルス感染がおきまして呼吸困難になるんです。それで死にそうになって父親も一緒だったもんですから、そのまま大学病院に運ばれてと。それが未だに還暦過ぎても喉だけは弱いのです。だから別にカラオケをしょっちゅうやっているわけでも何でもなくて、風邪をちょっとひくとすぐ喉にきちゃうんですね。それで今日こうやってハスキーな声になって失礼しています。酒井パストガバナーはそういう反応でしたけれども、丸山パストガバナーはですね、関場先生大変ですねって言ってドリンク剤を差し入れてくれまして、この違いは一体何なのかなあと僕思ったりしますけれど。一緒に確かサンディエゴで私の弟子ってことはないですけども、一緒に懇切丁寧に教えた結果がこの違いとなって現れております。どうも失礼いたしました。

ただそのオチがありまして、丸山パストガバナー曰く、ごくといただきましてなんとか元気になったなあと思ったら、関場さんそれ実はですね、下半身用なんですよって言われ、どうなってるのかなあ。やっぱり私のRI研修リーダーとしての教えがまずかったんでしょうか。

と思いながら、先ほど羽部ガバナーから、私と2000-2001年の同期だった私の本当に大好きな遠藤先生のお話ができました。そうなんですわね、このクラブなんですわね。なんか遠藤先生が引き合わせてくれた気がしますわね。本当にとってもやさしい同期だったんですけれども、私より一回りくらい上の先生でしたけれども。本当に面倒見ていただきました。なんか今見られているような気がしますね。

これは、ニューヨーク Yankees の帽子かぶった僕で、隣が羽部ガバナーなのはご存じの通りだと思いますが、これはシドニーの国際大会でお会いしました。実はその前から羽部ガバナーには今日の日を言われていまして、ポリオの話は是非してほしいということを1年以上前から言われてました。ということで僕のスケジュール帳には、この日をしっかりと書き込んでありましたので、本当は今うちでも地区大会やってますけれども、そっちは女房に任せてこの約束は守らなければということでやって参りました。

私の喉の病気は来週あたりになればおそらく治ると思います。ほとんどの感染症はもちろん感染をおこして、例えば肺炎をおこしてその肺炎が原因で死ぬということはありませんけども、ポリオはちょっと違うんですね。ポリオは感染して発病しますと、そして運動神経が破壊されて麻痺がおきますと生涯治りません。同じ感染症なんだけど、そこが大きな違いなんですわね。だから、いったんポリオに感染して発病して足が麻痺してしまうとその人は生涯麻痺状態。あるいは、呼吸筋が麻痺しますと、一生呼吸が自分の力でできなくなる。そういう病気なんですわね。だから、ロータリーはそういう不幸な子どもたちを一人でもなくしたいということで立ち上がったのが1985年のことでした。先ほど羽部ガバナーのお話にありましたけれども、こちらの地区では、羽部ガバナーの強いリーダーシップの元、このようにポリオ撲滅ということでは一般の人々に対しても大きな働きかけをしているということは、全国の、いや世界の注目の的でありました。私これはフェイスブックからいただいてまいりましたけれども、このように皆さんが街頭に立ってポリオということ、我々ロータリアンだけでは無理なんですわね。皆さんの一般市民の方々にも理解していただく。理解していただ

くだけではなくて協力していただく。これが大事なことです。そのことを実践されているこちらの地区のポリオ根絶活動に心より敬意を表する次第でございます。そして羽部ガバナーからいただいたのが、このテーマであります。「子供達の未来にポリオのない世界を願って」ということで1時間話せ、ということをお願いされましたので、その責務を果たしていきたいと思えます。

ちょっと私のお話に入らせてもらいたいですけれども、どうでしょうかね、皆さん。皆さんの人生において、例えば今70歳の人、60歳の人、50歳の人、40歳の人、色々いらっしやると思えますけれども、今の人生を決めた瞬間、あるいは出来事、あるいは何ヶ月かの体験というのがあるんじゃないでしょうかね。私の場合は先ほど酒井パストガバナーが仰ってくださいましたように、この期間アフリカのガーナ共和国というところへ実は女房とあともう一人、10ヶ月の子どもも連れて行きました。それが私の27歳から30歳でありまして、医者になってからすぐなんです。ほとんど臨床体験を少ししたばかりで、アフリカのガーナの子どもたちのために日本の小児科医の協力が必要だということを教授から言われまして、私もまあ、あんまりたいして何も、大学にいても役に立たないかなあと思ひまして手を上げて参加した2年ちょっとの体験が、今日の自分の人生を決めるとは思ひだにしませんでした。

これがガーナの国旗なんです。その下が皆さんご存知だと思いますけれども野口英世の胸像です。野口英世は皆さんご存知だと思いますけれども、福島県の猪苗代湖畔の貧しいところで生まれまして、その後有名なのは火傷をして、でもそれを克服してアメリカに渡ってロックフェラー財団の研究室に入り、細菌学でスピロヘータの純粋培養に成功して世界的な細菌学者になります。この人が福島県出身ということで、私も福島の大学だったものですから、ご縁があってガーナ大学の医学部に招集されたと、こういうわけです。

右の上は、コフィアナン、国連の事務総長だった方ですね。大変聡明な方で、実は私はこの人とは、僕自身がガーナ時代だった時に一緒に遊んでた仲間なんです。

そして、この下がロッセガーナチョコレートというのが。別に私はロッセと縁がないんですけれども、まだあるんですよ、皆さん。是非買って食べてください。おいしいです。このカカオがガーナ産なんです。実は世界一は隣のコートジボワールに奪われたんですが、やはりなんといってもガーナのカカオはおいしいですね。実際ロッセの、ロッセ自体ではないんですけれども、三菱商事の商社が買い付けて、そして実際ガーナから日本に運んで作ってるのがこのガーナチョコレートなんです。未だにうちの家内も娘も、よく買って食べてます。やっぱり懐かしいですね。

これがガーナであります。昔黄金海岸と呼ばれたところなんです。今ではガーナの左隣のシエラレオネとかあの辺でエボラ出血熱が出ていますけれども、幸いガーナはまだ出ていません。日本の大使館の方とかがガーナに避難しているようですね。ガーナというところは大変昔は金が出たんですけども、もう出なくなっちゃいまして、大変貧しい国だったのであります。でも最近ではギニア湾沖に油田が見つかりまして、大変ガーナも好景気になっているようであります。それが証拠に、ロータリーの国際大会に行きますと、ガーナの人たちがたくさん来ています。もちろん私がいた30年前は、ロータリークラブなんてなかったわけですけど、今ではなんと10以上のロータリークラブがガーナにあります。

これが1980年の写真なんです。ちょっと見づらいと思います。セピア色した写真をパソコンに取り込んだのを出したんですけど、ここは一番後ろに見えているのがキリマンジャロなんですけど、ちょっと見づらいですけど。

ケニアであります。タンザニアと国境地帯にガーナから正月の休暇をもらって二週間ほど遊びに行った時の写真です。私も当時、あのようにヒゲが黒かった。今は真っ白になりました。髪の毛もけっこうあったんですけど、これが私の30歳の時の写真です。体型はあんまり変わっていないかもしれませんが。隣がうちの女房で、抱っこされているのが生後10ヶ月でガーナに渡って確かこの時もう3歳近くになっていたと思います。その女の子が今では1児の母親になりました。

ガーナに行きまして何が一番困ったかということ、病気だとか何とかって言う前に水なんです。つまりコップ一杯のこのきれいな水、皆さんの目の前にペットボトルありますけれども、飲めないんです、ないんですよ。つまり、水道というのはあるんですけどもう水道管も古くて断水が日常茶飯事です。ほとんど出ません。たまに出るので出た時に溜めとくんですけど、でも出ても水道管があちこちで破裂しておりましてそれを修復することができない、お金もないし技術者もないということなんで泥がそのまま一軒一軒の家屋で水圧が高くなりますよ、引っ張りますから、だから泥とか草がまじって茶色い水道水が普通です。たまにその中にちっちゃい蛙とかそういうのも入り込むことがあります。一応茶色くで土が入っているんですが、ばい菌で水は煮沸すれば大丈夫なんです。だから熱を通して、濾過を一応病院に居ましたからちょっと濾過して飲むんですが、それでもやっぱり茶色の土が溶けたやつとはれない。うちの女房というのは私よりもずっと心の大きい人間でありまして、あなた何言ってるのよと。そんなのお茶だと思えばいいんじゃないの。麦茶とか烏龍茶だと思って飲みなさいよと言われて。でも最後まで僕はやっぱりなじめませんでした。

た。で、きれいな水というか断水が多いんですけれども、あとはエアコンからつたつた落ちる水を僕は拾い集めてなんとか飲んで、あ、おいしいなという生活を約2年間送ってきたので、日本に帰ってきて水道ひねって水が出てきてきれいで飲めるなんてなんて素晴らしい国なんだろうと本当にそう思いましたね。今だって皆さんペットボトル飲まれて、僕も飲みますけれども、これ1本、こちらホテルのですかね、昨日コンビニで買ったら120円くらいしますよね。あれ500ccでしょ。ということは1リッター240円、ということはガソリンよりも高いんですよ。それを平気でぼこぼこ飲んで、おそらく皆さんこれ全部飲まないで捨てていくでしょう？もったいないなあって僕は未だに水に関しては思います。これは皆さんご存知でしょうけども、水というのは本当にとっても大事なもので、例えば中近東に行くとき無いですよね。今、いわゆる石油がどんどん出ている国だって水はないんですよ。彼らは今何してるかっていうと、海から海水からのプラントでもって水を作る、真水を作るものすごいお金をかけて、いわゆる石油のお金でもってね。彼らはそういうの見越しているわけですよ、石油はいつかは無くなると。石油がなくなったら人は生きてゆけるけど、水は無くなったら生きてゆけない。

ということで、私たちも水の大切さを学ばなくてははいけません。でまた実際我々ロータリーも、あるいは子どもたちも発展途上国でどうして病気になるかという、水なんですよ。例えば私がいたガーナでも、例えば赤痢とか腸チフスとかコレラがたくさんあります。それはなぜかという、きれいな水が飲めないからなんですよ。その辺にある泥水を飲まざるを得ません。まあ、彼らは煮沸とか熱を通す、そういう知恵もなければあるいはそういうお金も無いということで、そのまま飲みます。そうしますと当然そこに赤痢菌がいる。で、感染する。で、治療薬もない。点滴薬もない。で、私が勤めていた病院に運ばれてきた時にはもうすでに死ぬ寸前だったりあるいは死んだまま運ばれてくるという状況でした。もちろんポリオのウイルスもそのところに混じって、ポリオというのは発病していくわけで、このような子どもたちがガーナではもうごろごろいます。本当にちょっと通りを歩きますと、這って歩いている子どもたちがもう10人20人30人とおるんですね。私は日本ではこういうポリオって見たことなかったの、ワクチンの投与やりましたけれども最初わからなかったんですよ。なんでこういう障害が起きているのかなあと。そしたら同僚のガーナ人の医者が、お前これ知らんのかと言われましたね。これがポリオだと言われてびっくりしました。そういうことがやはり僕自身こんな悲惨な病気があるということを27、8歳ではじめて目の当たりにしてですね、自分なりに大変心に衝撃を受け

たのを今だに覚えているわけです。

それで帰ってきました、1988年、この年はやはり自分にとって大きな転換期でした。この年にうちの父親が亡くなるんですけれども、亡くなった父親の葬儀を執り行ってくださったのが弘前ロータリークラブのメンバーのお坊さんでした。それで彼から誘われて弘前ロータリークラブに入ることになりました。ロータリークラブに入ったんですけども、正直行ってあんまり面白くないんですよ。この中で今日お集まりの皆さんは皆熱心でしょうけども、僕なんかその時38歳で入って、昼飯食べに来いと言われて入って、ロータリーの口の字も知らなくて入ったわけです。病院も忙しいし会費だって年間20何万で高いでしょう？そんなことしてるより飲んでた方がいいと思うような時でした、正直言うと。最初の1、2年で辞めようかと思ってたんですよ。その時辞めてたら本当に僕はこうやって皆さんとお会いできないんだから不思議なもんですねえ。辞めようかなと思ってた時にロータリーの友を見たらポリオ根絶に対してロータリーはやっているみたいなことを書いた記事があったんですよ。つまり、うちのクラブではそういうポリオ根絶なんて話は普段の例会では語られることはなかったし、寄付がどうこうという話もなかったんですね。それが1年過ぎてロータリーの友を見てはじめて、ロータリーポリオもやっているんだ、ポリオってガーナであるとき見たああいうやつじゃないかと。そう思ったんです。だから僕はロータリーを続けようと思ったのは、ポリオを国際ロータリーは取り組んでいると、ああすごいなど。あともう一つ青少年交換プログラムがあるんですけども、それは僕自身も大好きなプログラムで。僕はその2つのプログラムがあったんでロータリーを続けていました。後でまたちょっと話しますが、ロータリーの良さというのは皆さんですね、専門店ではなくて百貨店の良さだと思うわけですよ。色んな売り場がありますよね、百貨店へ行くと。遊ぶところもある。まあ今はちょっと様変わりしてますけれども、昔の僕らが行ったデパートというのはそこに親子で遊びに行ってお母さんが買い物して洋服買って、お父さんが靴を買って、子どもがおもちゃを買って、そしてお昼になると4階5階の食堂でオムライスを食べると。そして上の遊ぶところでもって遊園地で遊んで帰ってこれる。つまり、ロータリーも自分の好きなことをやればいいんですよ、と僕は思います。何を、全部やるってプログラムがあってもできない。その中で自分がやれること、自分の好きなこと、これだったら自分がやれそうだなと思うことを一つ、二つ、それで十分なんです。僕だってポリオと青少年交換しはずっとやってこなかったし。ガバナーになってから色々あれこれ財団だなんだって米山だって引っ張られていますけれども、でも僕の心の中にある

のは今もポリオと青少年交換の思いであります。

このように世界に行きますとポリオに感染して歩行障害をおこす人たちがたくさんいますね。1番下の、いえ2列目の右側ですね。フランクリン・ルーズベルト、アメリカ合衆国の大統領ですけど、彼もポリオでした。当時はテレビがあまりなかったから彼は勤まったと思うんですよ。つまり、画像で出ない。ラジオだと。スピーチだと。だからこの写真はとてもめずらしい写真だとされています。つまり彼自身がポリオであるということを公表しなかったし、こういう車椅子の写真というのは2枚くらいしかないそうですね。あとはもうスピーチするときはすでに演台に立っていて、喋って、皆を帰らせてから少しこうびっこをひいて帰ると。あ、びっこって言っちゃだめですね、差別。色々難しいですね。あの乞食というのもだめなんだそうですね。皆さん知っています？乞食っていうのは街頭に立って自分のために献金を募る人、まあ本当かどうかあれですけど、色々難しいですね、最近ね。

というこのようなポリオにかかって歩行障害をおこしている人はたくさんいるわけです。ポリオというのは古くからあるウイルスです。これはエジプト第18王朝ですね。紀元前の2000年頃からの石板ですけど、やはりこの方が真ん中の立ってる方が杖をついて右足が萎えた状態だからポリオだろうと言われてますね。

ポリオというのは人から人への感染であります。そのことをちょっと知っておいていただければと思っております。あとこのポリオについてはファクトシートというのは皆さんのお手元お渡ししてあります。どうぞ後で読んでください。それをそのおさらいだけ、要約だけ。ポリオは主に5歳以下の子どもが感染しますね。200人に1人は回復不能の麻痺に陥り、呼吸器が麻痺した場合は5~10%は死亡するよと。1988年以来世界のポリオは99%減りました。今現在3カ国で野生株が流行しています。ただ大事なのは一人でも感染者がいる限り、さっき言いました人から人への感染ですから、一人でも感染者がいる限り全世界の子どもたちは感染の危険性があると。今もし我々が根絶に失敗すれば、10年以内に20万人のポリオ患者が新しく出ていくだろうと。これが20万40万50万という具合に増えていくわけがあります。そのへんのことは皆さんお手元にお渡ししましたので、後でお読みになってください。

さて、鉄の肺、皆さんご存じだと思うんですけども、要するに呼吸器が麻痺しますと自分で呼吸ができないと筋肉が動きません。そのためにこの鉄の肺っていうのは陰圧をかけましてですね、要するに胸を引っ張ってあげるわけですね。そして外から呼吸をさせるということです。これがないと呼吸筋の麻痺したポリオ患者さんは生きていけないと



いうことですね。これはアメリカですけれども、アメリカでも1916年に約3万人近い患者を出してそのうち8,000人が亡くなっているという大惨事が起きています。未だに2,000人くらいの方は鉄の肺の中に入ったままです。今現在もですよ。生きてらっしゃる方。ダイアン・オデルさんという女の子がいます。この子はですね、3歳まですくすくと育ちました。ところが3歳になってポリオに感染して呼吸筋の麻痺がおきて、この鉄の肺の中に入ることになります。そして彼女は生涯をこの鉄の肺の中で過ごすこととなりますね。ところがこの写真はその下に書いてありますけれども、2007年の2月の14日の写真ですね。ああやって自分の大好きなテレビ番組を見ながらいたわけですけども、残念ながら翌年2008年の5月28日、停電が起きまして、もちろんバックアップもあったんでしょうけどもそれが間に合わなくて亡くなります。彼女は3歳でポリオに感染して61歳まで鉄の肺の中に入って生きてきた女性です。彼女が感染したのはポリオのワクチンがですね、もうちょっとでワクチンができるというときに感染してしまった。ワクチンさえ飲めていたらこういう人生ではなかったらと思うわけですね。要するにパワー・フェイリア・キルズ・アイアン・ランド・レディということで当時大変話題になりました。つまり停電が鉄の肺の女性を殺したということですね。

1985年に私たち国際ロータリーはポリオプラスプログラムというものをこの世に出しました。当時は35万件以上のポリオ発生があった。赤いところが野生株の流行国ですね。ほとんどが真っ赤かですね。その状態で国際ロータリーは世界からポリオをなくすんだということを発表します。そして1988年にその国際ロータリーの呼びかけ、もちろんWHOとも当然連携しながらの話だったんですけども、

1988年にあらためてグローバル・ポリオ・エラディケーション・イニシアチブ、世界ポリオ根絶のまあイニシアチブという枠組みが作られます。これは世界保健総会でもってWHO、ユニセフ、CDC、ロータリーインターナショナルが4つの国際パートナーとしてそれぞれの役割をそれぞれが担ってこの世からポリオを根絶しましょうというのがこのグローバル・ポリオ・エラディケーション・イニシアチブです。これはネット上でも皆さんホームページがありますので是非ご覧になってください。これが基本なんです。だから昨日酒井バスターガバナーとちょっと話してたんですが、よく大変天才的な誤解をされているロータリアンの方がいらっしやいます。ロータリーなんてポリオ根絶というけれども、WHOの尻馬に乗っかっているだけじゃないかと。とかね、いらっしやるんですよ。とんでもない話です。私たちロータリーこそが先鞭をつけた。1979年フィリピンでもそうですね。3-Hプログラムでポリオワクチン大量投与に成功する。それをWHOが見てて、いけそうやなど。そして1985年に国際ロータリーが世界に先駆けてポリオ根絶のためのその他の感染症も一緒に無くしましょうというプラスがくっついて、ポリオプラスプログラムを発表していく。そして1988年に我々ロータリーの提唱を受ける形でこのような4つの国際パートナーががっちりスクラムを組んで、このイニシアチブを結成していくんです。どうか今日お集まりの皆さん、そのような方がいらっしやったらそれはちょうよと、この間、関場が喋ってたよと是非おっしゃってください。我々ロータリーは多に誇りをもっていきたいと思えます。

そして現在ですね、今年の9月23日、私が札幌へ来る前の一番新しいデータですけどこの後もデータあると思うんですけどもまだ実はホームページ見ていませんけど、9月23日のデータがこれです。3つの赤いところ、アフリカの私がいたところの隣のナイジェリアですね、そしてアフガニスタン、パキスタン。ポリオの発生数は今年は201です。これをもうちょっと詳しく見たのがこの図です。ちょっといきなり横文字がたくさん並んでいるので見づらいですけども、これは今年の9月23日のポリオの発生数ですね。左に国が並んでますね、countries、その隣にyear to date 2014で書いてるのはその9月23日までに今年2014年で発症した数です。パキスタンが166、ずらずらとありますね。WPV1と書いてますけども、これは野生株という意味です。つまり、ワクチンからのやつじゃなくて、本当にそのへんにいる野生株による発生だと。ポリオには3つの型があります。ワクチンは3つの型に対応しておりますけれども、今皆さんご覧になってわかる通り、WPV2、V3のところにはゼロですね、空欄になっています。ですから、今ポリオは3つの

型がありますけれども2型3型は根絶されてるんですね。残ってるのが1型だということです。ポリオの中の1型だけなんです。これは後でちょっとワクチンの話に関連するんですけどそれだけ覚えといてください。ですから、ポリオには3つの型がありまして結成型がありまして、それぞれちょっと抗原性が違うんです。そして、ワクチンは3つに対応するように生ワクチンは作られていますけども、しかし2と3型はもうないわけだ。ないんであれば、なぜ生ワクチンをそのまま飲ませてるのかという話もあるんですね。その辺は後でちょっとお話ししましょう。

これは私がガバナーの時ですか、2001年ですね。インド行きました。とにかく自分自身の人生ともオーバーラップさせましてですね、ロータリーに入った意味はポリオ根絶にありましたので、このロータリーの組織というのとはとても良い組織なんですね。まあいいのか悪いのかはちょっと、ガバナーは天皇みたい、まあ天皇でもないな、天皇は政治なんて事しちゃいけないから、えーと、とっても偉いというか、人間が偉いという話じゃなくて、ガバナーがやろうと思えば何でもできるのがロータリーの組織です。羽部さんね、ちょっと言い方悪いかもしれないけど、つまり逆にいうと人間性が問われるわけですよ。あんな馬鹿みたいなことやってと言われるかもしれないし、あるいはこんな素晴らしいリーダーシップといういわば諸刃の剣ですよ。ロータリーとだからよく言うじゃないですか。地区ガバナーって絶対権力持って人事権も予算権もみんな持ってるって。でもね、それは国の組織に当てはめるととてもあってはならない組織ですけども、やはりガバナーになる人というのは僕はそれだけの物を持っている、まあ私以外を除いてです。と思います。やっぱりそれなりの見識があって良識があってリーダーシップがあって常識があって人を思いやれる気持ちがあって愛情がある。そういう人こそがガバナーになるべきであって、だからガバナーの思いひとつで何でもできるんですね。それがいいか悪いかはちょっと別ですよ。ただ僕は、自分がまだこの時50歳でしたけれども、ガバナーになれたのはまあ他にやる人がいなかったからですけども、なれたんだからやりたいことやろうと。人に迷惑かけるとかじゃなくて、自分の思いを遂げて、リーダーシップを持ってやっていこうということで、僕は自分のガバナーのときには青少年交換プログラムをもっと増やしたし、あとはポリオへみんなで行こうよと。ということで、うちの地区のロータリアン、家族、インターアクト、ローターアクト、みんなに声掛けて、30人ほどで行ったのが2001年の1月の21日の日でございます。これがそのときの写真なんですね。これが私は最初にはじめてインドに行ってそれからなんだかんだで、治安の悪い時は2年ほどあったんでそれは除いてほしい毎年出掛けていま

した。あまり皆さんに声掛けると悪いので、一人でこっそり行った時もありましたけれども。

それで、横文字で恐縮なんですけども、インドでなぜポリオ根絶が成功したかということなんです。これはちゃんと戦略にのっとってやったからなんです。一番上見てください。ルーティンOPVって書いてますね、ルーティンOPVのイミナイゼーション。つまり定期接種です。日本でもやっていますね。例えば3ヶ月たったらちゃんとワクチン打ちましょうという定期接種です。で、右の方がPPIって書いてるのがパルスポリオイミナイゼーションって書いてNID/SNIDって書いてます。これは一斉大量投与です。つまりインドでは戸籍とかないスラム街の子どもとか流動していて一体どこにいるかわからない人が多いので、とにかく1年のうち2日間、もう5歳以下の子どもを見つけたら全員に摂取すると。有無を言わず。もうノーエクセプションです。つまり、もう例外なし。捕まえたら、5歳以下だったらワクチン飲め、というか無理矢理、無理矢理ということが強制的にできる、それがPPI、パルスです。NIDとってこれにも酒井パストガバナーが2年間お付き合いしてくださいましたけれども、そういうことを。で私たちは日本チームとしてここ5年ほどまとまって毎年参加してるのがこのNIDってやつです。で左のモップアップ・オペレーションというのは、それでも5歳、全国にです約1億7,000万から1億8,000万の5歳以下の子どもがいるわけですよ。見つけ次第やっていくんですけどそれでも漏れることもあります。そのために今度はモップアップ、もう雑巾かけるようにしてハウス・トゥ・ハウスとも言います。あるいはポート・トゥ・ポートとも言いますが、本当に家ももう軒一軒しらみつぶしに入っていくって、お宅に5歳以下の子どもいないって言っても近所で聞いていや本当はいるよって言うってもう入っていくってですね、やると。これは政府がそういう権限を与えているのでやれるんです。そういう意味ではやはり政治というか政府の力も大きいんです。インドが後で言いますが、なぜずっとできなくて急にここですってゼロになっていったかというのは政府がロータリーのいわゆるアドボカシーにですね、応えてインド政府が力を入れたのが大きい。こういう4つの窓って書いてますが、一番下はサーベランスと言って子どもで麻痺をおこす病気というのはポリオ以外にもたくさんあるんです。だからそれが本当にポリオかどうかというのもちゃんと調べよう。それを4つ戦略としてインドはここ10年くらいずっとやってたんです。その成果があって実はインドでゼロになったと。

でその原型は実は日本にあります。これは丸山先生からもよくお聞きしますが、夕張の方で流行がありまし

たし、私たちの青森県八戸でも1959年1960年にかけて大流行がありました。それから日本全国へと飛び火していきますけれども、あの年でだいたい6,000人くらいの子どもの感染したはずなんです。そのうち2,000人くらいは確か亡くなってると思いますけれども。だから私がちょうど10歳の頃なんです。でこのときに当時の厚生大臣が英断をもって、当時のソ連から日本では許可してない生ワクチンというものを輸入して、投与をしたんです。そのときの話も喋ればまた1時間くらいかかっちゃうんですけども、何が言いたいかというと政治家の決断が子どもたちの命を救ったんです。色々言われたんですよ。結局生ワクチンだから生ってことは生きてるウイルスだろうと。それを子どもに飲ませて発症したらどうするんだ、どう責任とれるんだと。でも時の古井厚生大臣という方は、いんやと。責任は全部俺がとる、ということで生ワクチンを輸入して子どもに投与したら2、3年ですってポリオがなくなっていった。これが今のポリオ根絶の大量一斉投与のヒントになります。日本でできたことで今の現在のポリオ根絶のプログラムの原形があるということです。

で、インドではこのように最初ですね、私が行ったあたりはまだまだあったんですけども、2011年1月13日が最後の症例です。そこから3年間ゼロが続いて、ポリオではついに根絶国になりました。これはもちろん、インドのロータリアンがもうずっと努力してきた、これが一番大きい理由だと僕は思いますけども、それに伴って政府が動き、そして財界が動き、で映画スターとかスポーツマン、いわゆるインドの英雄たちも動いてテレビに出て、ポリオをなくそうというキャンペーンに参加していくわけです。やっぱりそういうのも大きいですよ。だから我々おじさんたちがいくらなんだかんだってしゃべってもAKBがぼっと来てわっと言えば、若い子たちはああそうだよ、ポリオ根絶しなくちゃねと思うでしょう？僕らが100回しゃべるよりも彼女たちが1回しゃべった方がよっぽど効果があると思います。だからそういう人たちの使い道もあると。それが悪いかと僕は思わないですね。そういうAKBの人たちもよく理解していただいで協力してもらおうと。

さてこの人がルクサーさんで、最後の症例ですね。2011年の1月13日に残念ながらポリオになりましたけれども、この子がインドでの最後の症例となりました。

実はこれは今年の3月ですけども、29、30にかけてインドのニューデリーでポリオの根絶を祝う会というのをやりました。ポリオフリーコンクラーベってあの法王を選ぶのがコンクラーベなんだけど、何でコンクラーベなのか僕はよく分からないんですけど、コンクラーベという言葉が使われますね。なんかイギリス的なんじゃないかな。そこに僕も招待

されて行ってまいりました。写真ちょっと見づらいですけどもDKDさんが、ロータリー財団委員長が左から2人目ですね。その隣の小柄な方がインドの首相さんですね。ということで、インドの方々が出て。このようにポリオフリーインドということですよ。

私もスピーチする機会が与えられました。(スピーチの様子) 時間がないので、別に何も英語を話せるということをお願いいたんじゃなくて、私もこのように長年よくお前来てるなということで市長さんからお褒めのことばをいただきました。スピーチしろと言われたことで行ってきたということですよ。やっぱり自分もですね、何というかですね、もちろんインドでなくてナイジェリアも色んなところに行きたいんですけど、ナイジェリアやっぱりちょっと遠いですね、やっぱり休みもそんなとれないし。そう考えるとインドだったんですけども。たまたま仲の良い友達もいましたし、ポリオプラスの委員長さんがヘマントウンチャさんという僕の友人でしたから。そういったことでインドにずっとこだわったということはありません。

さて、ポリオ根絶地域ですが、WHOは世界を6つの地域に分けています。アメリカ地域は1994年にすでに根絶されました。日本を含めた西太平洋地域、これは私共ガバナーエレクトの時になりますけども、2000年ですね。中国を含む西太平洋地域が根絶宣言されました。ヨーロッパでは、2005年。南東アジア、つまりインドが最後まで残っていたものですから、この下の方ですね。インドだとカタイだとカインドネシアとかこういう南東アジアが2014年。今年ですね、宣言がなされました。残るは2つ、とこういうわけです。それは一つは東地中海地域といいます。これはアフガニスタンとパキスタンがあるので、まだだめですね。もう一つはナイジェリアがあるアフリカ地域ですね。ただこれは2018年までに根絶をするという戦略が立てられています。だから我々に残されている時間はそんなに長くはない。

これはポリオ根絶に関する科学的宣言といって、世界のポリオに関連する科学者の宣言です。ポリオ根絶は将来の世代への私たちの世代からの偉大な贈り物となることですよ。世界のすべての人々、組織、政府が協力し合って始めてポリオ根絶という偉業を成し遂げることができるのです。という科学的宣言が出されてこれが今の私たちの原理といいますか、なっています。

私たちの最終目標。先ほど野生ポリオという言葉を使いましたが、ワクチン由来ポリオ、つまり生ワクチンをつかっている限り、生ワクチンというのはウイルスが生きてますから、弱いけれども。それが子どもたちの便に出てそれがまた感染してポリオになるというのをワクチン由来のポリオといいます。ですから私たちの最終目標は野生株、つまりパ

キスタンとか今流行しているポリオだけではなくて、ワクチン由来のポリオもなくさなくてはならないということなんですよ。これは是非覚えていただきたい。それでこれは実は私たちのロードマップですけど英語なのでこれをちょっと日本語に簡単に直しますと、野生のポリオもワクチン由来のポリオも両方なくすにはどうするかという話ですね。そのためには定期接種の強化、2015年末までに不活化ワクチン1回摂取導入。これはご存じの方もいらっしゃると思うんですけど日本でもずっと生ワクチンでした。それが故に生ワクチンからのポリオの発症、あるいは飲んだ子どもの便から二次感染してお父さんが発症する例というのが絶たなかったんですね。それがようやく日本は不活化ワクチン、注射になりました。それを世界にも導入しなくてはならないということなんです。この間ネパールでそれがはじめて試みられて成功しました。これからは生ワクチンと注射ですね、不活化ワクチンを混ぜながらやっていく時となります。そして2015年末までに野生株の、世界からの伝播をなくす。つまり、今残っている3カ国からもゼロにするということです。2015年といったら皆さん。来年ですよ。あとだから1年ちょっとですよ。それまでに、パキスタンもアフガニスタンもナイジェリアもゼロにするという。時は迫っております。そして2016年中頃までに3価ワクチンか2価ワクチンに切り替える。さっきちょっと言いましたけど、世界にも2型も3型もないんですね。だから、1価ワクチンでいいわけです。1型だけで。けども、今ワクチンを作っちゃって在庫もあるもんですから、急に変わるわけにもいかないので、でもそれでも2型は完全になくなってますので、3価ワクチン、つまり1、2、3型ではなくて、1型と3型に効く2価ワクチンへ切り替えていくということですね。そして2018年に地球上からポリオ根絶宣言をします。あと何年ですか、3年ちょっとですね。大丈夫でしょうか、皆さん。

これはちょっと見づらいで恐縮ですけど、お金の問題です。2018年までにこれからいくらかかるかという試算がありまして、55億ドルです。日本円にして、面倒くさいので1ドル100円として5,500億円ですね。だから1年間にだいたい10億ドルですね。1,000億円かかるんですね。この金をみんな例えば自由レートの国だとか、それぞれの企業にお願いしてというか。左の方のプライベートセクター39%で書いてるんですけど、見えないかな、皆さん。ここですね。この今私が赤いところで記しをつけたのがビル・ゲイツ財団ですね。でこのところがロータリーです。ロータリーは10億ドル、1,000億円のうちのだいたい7%を負担しています。だから民間で我々一人ひとりが寄付したお金が世界の1,000億円の7%にということ負担されているということですよ。人に言わせると、えっそんなもんなのかいという

人もいるんだけど、とんでもない話で、全世界の中で7%も負担してるんですからね。自営との国々も含めた中ですよ。このロータリーの貢献というのは私は大きいと思います。

さて、私たちに何ができるかというお話なんです、これは羽部ガバナーの方からおそらく要請がいつてるのではないかなと思うんですが、これはこの間の資料に国際大会でポリオのセッションがあって、そこで明らかにされていますけれども、各クラブ、1,500ドル以上の寄付をしてもらいたい、ということですね。各地区DDFの20%以上をポリオの方に寄付してくれないかと。ロータリー家族および地域の人々にポリオの根絶活動を理解してもらうこともやってもらいたい。こちらの地区で見事に3週間前ですか、やられて素晴らしいと思います。あと世界ポリオデーというのがありまして、10月のもうすぐですね、このときに是非日本のロータリーも色んなイベントをやってくれと。いうことですね。ロータリーだけでなく、一般の人にもポリオというものを理解してもらう、ポリオデー。確かコンテストもありましたね。それぞれイベントをやってそれをビデオかなんかに撮ってそれをRIに送って、そういうコンテストもあると思うので是非参加していただけたらと思います。

さて、ちょっと時間も押し迫ってまいりましたので、2000年にちょっと戻らせていただきますけども、2000年は私がガバナーやった年なんです、私もですね、まあ私以上に先輩の方この場にたくさんいらっしゃるんですけども、38歳でロータリーに入って25、6年経ちました。四半世紀ですかね。僕が入ったのはさっき言ったようにうちの父が亡くなってそのお坊さんが誘ってくださったんですが、もう一人お坊さんがいましてね、弘前ロータリークラブで。怪しげな二人なんです。立って歌ってるのは僕なんです。スコップ三味線、津軽の方には津軽三味線がありますけれども、スコップを使って三味線をやるという特殊なそういう技能があります。これが私の地区幹事である三浦住職さん。この人もお坊さんなんです。このお坊さんという人はどういうわけですかね羽部さんね、こう芸達者な人が多くてね。あ、そうですか？歌がうまいしとって踊りもうまいし、なんというか僕はびっくりするくらいなんです。それで私に、彼は私よりも一回り上なんです、13歳上の方だったんですが妙に気が合いましたね、二人でよく飲んで歩いたりゴルフ行ったりしてたもんですから、私がガバナーになるときにじゃあ俺地区幹事だ、俺が幹事長やるからと。で二人でやろうという調子でございました。それでこれは何かというと、ガバナー事務所の忘年会とか慰労会だったんですよ。そのときにガバナーと地区幹事長は慰労をする方にまわらなくてははいけないんだと。お前がガバナーやれ

てるのは、三浦さんですよ、これ自分でしゃべった、俺地区幹事長はじめガバナー事務所の助けがあってこそお前がガバナーっていばってられるんだから、お前が酒ついで歩いて言われて、歌も歌えて言われてこれがそのときの姿でございます。着物まで着せられて。私はですね、三浦さんと弘前ロータリークラブで出会って、本当にもう13年歳違いましたけども、本当に楽しく過ごすことができました。ですからガバナーになる時は当然俺が地区幹事やる、と。俺以外の誰がやると言われましてですね、その代わりね、俺は何もやらないと。パソコンもわからんと。だからお前パソコン得意なんだからお前全部やれと。だから地区幹事の仕事もお前がやれば俺が地区幹事でやる、と。で彼は何をしたかという、俺はお前を守ってやると。何を守るのかなと思ったら、お前をいじめるようなパストガバナーから俺は身を挺して守ってやると言われましてけども。そういういじめるようなパストガバナーはいらっしゃらないわけですけども。でも地区によっては違うみたいですよ。松本さんいかがでしょうか？まあそういう馬鹿なことは言いましたけれども。とにかくこの三浦住職さんに言われたときですね、私自身このときまだガバナーエレクトって言われたのが49歳でしたから、呼びはじめてまだ10数年でまだ僕にしてみれば多額の借金を抱えてました。ガバナーやりますと病院休んで行かなくちゃいけないと。小さな診療所ですからね、とてもじゃないけど思っただけで迷ってたんです。そのときに彼が俺に言ったのは、お前がやらなきゃ誰がやるんだと。こういう人もですね、お前がじゃあ借金あるからって言って、じゃあ10年後に借金返し終わったらやるかと。まずやんねえだろうと。あげくのはてにですね、借金返し終わってからやったら誰も人ついてこねえぞと。お前に人がついてくるとしたら、借金を背負いながら50でガバナーやると言ったらみんなおそろく地区の連中も頑張ると言ってくれるよと。今やらなきゃ、いつやるんだと。こういう話。皆さんだいたいそのあとは今でしょと出てくるんですけど。ということを彼に言われました。で二人でやろうと言われてですね、彼に説得されてというか清水の舞台から突き落とされてガバナーをやることになったんです。彼はですね、私がガバナー年度2001年終わろうとしたときに大腸がんが見つかりまして、その後2年経って亡くなるんですけども、まだ66歳でした。私、彼とももちろん大変良いお付き合いさせてもらって、彼は私を忘年の友だと言ってくれたんですね。つまり忘年の友というのは歳を離れてても本当に心が友人になれる友を言うんだぞと。覚えとけて言われましてですね、その三浦さんが亡くなる直前に私に言ったのはこういうことでした。

彼は曹洞宗のお坊さんでけっこう偉い方だったんです

ね。ご存じの方もいるかもしれません。彼は僕とつきあいながらこんなことしてましたけれども、最期、もうほんとにですね、彼亡くなったのが2月の12日なんですけど。私もほとんど週に2、3回見舞いに行ってたんですけども、もう1月末頃でしたかね、行った時に、関場っていうからはいって言ったら、俺もうそろそろだめみたいだって言うわけですね。だいたい自分の死に際は俺坊主だしわかるよと。だけでも自分の人生は良かったと。なぜ良かったかと。まずはロータリーだと。ロータリーで色んな人と会えて自分の人生が豊かになり、そして関場と出会えて二人でガバナーと地区幹事長やれたじゃないか。こんないい人生はないぞお前と。こう言われました。俺はそろそろ死ぬから、でもだと。死後の世界をお前信じるかと言うから、いやあって言ったら、ばかやろう、ちゃんとあるんだ、浄土があるんだ。キリスト教でいえば天国だけでもな。という話で俺は先に行って待ってるよと。で彼が言ったのはですね、浄土ではなくて天国ロータリークラブというのを作って待ってるぞというのが彼の最期のことばでしたね。でもね私はね、信じてるんですよ。別に宗教はあんまりあれなんですけど、三浦さんと会えるならばいいなあ。うちの親父と会えるなあいいなあと思って、で天国ロータリークラブっていいなあと思って。ねえ皆さん、死してなおロータリーが続くという素晴らしいのではないかなということで紹介させていただきました。ただ一つ条件があって、途中で退会してしまうと駄目みたいです。最期まで全うしたとこではじめて入会資格があると、こういう事を三浦が申しております。

さて、宮沢賢治ですね、こういうこと言ってますね。世界が全体に幸福にならないうちは個人の幸福はありえない。もちろん私たちはマザーテレサとか色んなあいう素晴らしい方々のそういう献身的な奉仕活動だけできる人間じゃありません。俗世間で生きる人間です。でもオードリー・ヘップバーンが言ったようにね、右の手は自分のため、家族のために使っても、左の手は人のために役立つように使ったらどう？と言ったことば。それを思うんですよ。僕らには家族もあれば従業員もあるし、金も稼がなくちゃいけないし借金も返さなくちゃいけない。だけど、それだけの人生ではないだろうと。少しは人の役に立って生きること、それが大事なんじゃないかなあということ言ってるんだと思うんで。これは僕はロータリーにおけるサービスだと思っています。

これはタタというインドの車の会社があります。デカイんですけど、日本でいえばトヨタみたいなもんですね。もちろん鉄鋼なんかも扱っていますけど、あれがタタの下が会長さんですね。上がタタのナノっていう車なんです。皆さんおそらく関係ないと思ってる、安いです。ええとインド

で買えばそれでも14、5万するのかな？日本じゃちょっと考えられない値段ですね。ほとんど何もないんですよ。ワイパーも1本だし、ミラーもないしということで。もちろんオーディオとかも何にもないんです。でもこれはタタさんが今彼は会長ですけども、日本経済新聞に私の履歴書というのがあって1年くらい前かな、ずっと連載されてたんでご存知の方もいらっしゃるかもしれません。あのナノを彼はなぜ作ったのかという話なんです。彼がムンバイのスラム街を車で走っているときに、1台の小さなバイクに家族5人が乗ってた。雨の降った日に。それも夜。お父さんが乗って、前に子ども1人ともう1人、後ろにはお母さんがいておんぶして。この人たちに雨がしのげて安全に移動できる自動車を作るのが俺の使命じゃないかなと彼は思ってこのナノっていう車を作るんですね。あんまり売れなかったみたいです。ていうのは15万でやっぱりスラムで暮らす人には高すぎるし。でも私はその彼の思っているのはとても素晴らしいなと思って。やっぱり経営者というか職業人というのはそういった思いが常にないとね、やっぱり儲けだけじゃいけないんじゃないかなと。その彼がこう言っているんですよ。もし早く歩きたければ1人で歩きなさいと。でも、遠くまで歩きたければ誰かと一緒にあるきなさいと。私はこれはロータリーのフェロウシップだと思います。みんなと一緒にやろうよと。俺はインドに行けるけど、いけない人は寄付してとか。あるいは励ましの一言でもと。そうやってみんなと一緒に遠くまで行くことがロータリーのフェロウシップだと思います。やはり一度の人生、最高に生きたいと。人生の最高さって何かなあと思うとやはり人の為に少しでも役に立って生きていけることなんだと。そう思えることがやっぱり最高に生きるということじゃないかなあと思うんですね。私はそれはロータリーがそれを可能にしてくれたなあ、まだまだ私ももうちょっと生きると思いますので、これからも続けていきたいと思っておりますけれども、まあ三浦さんとの約束もありますから死ぬまでロータリーは退会しないつもりですが。やはりロータリーというのはやってみて良かったなあと思うのは自分の人生において何かこうね、やはり生きている喜びとか、人生に価値があったなとそう思える人の役に立てるそういったプログラムはたくさんあるし、その中で先ほど言いましたけれども百貨店みたいなものでたくさんありますから、自分のやれる範囲でかまわないので、是非選んでロータリーに積極的に参加していただければ人生は最高に輝けるのではないかと私はそう思っています。

ただ、いい話ばかりしてきましたけれど、2018年までのポリオ根絶に向けて、実は課題はあります。なんとと言っても今のイスラム国をはじめ、中近東の政治不安ですよ。あるい

はまだあるポリオワクチンの誤解です。特にイスラム、ムスリムの人たちにですね、飲むと不妊になるんだ、と。アメリカ帝国主義の陰謀だと。ナイジェリアの実はワクチン投与を阻んでいたのはそういった誤解なんで、誤解というかそういう噂なんです。でもそれが今、溶けてきてナイジェリアではもうゼロに近づきつつあります。あとは先ほどテレビでやりましたけれども米国でも出ましたね、出ましたというかエボラ出血熱。こういうのが出ますとね、ポリオどころじゃなくなっちゃうんですね。やっぱりこれも不安ですね。あと資金不足です。たかが5,500億円なんですけどね、あのイージス艦2つあれば足りるんですけどね。でもねえやっぱりああいう戦争とかね、ああいうステルス爆撃機あるじゃないですか、アメリカの。あれ1機が50億ドルですよ。だからあれ1機あればこのお金出ちゃうんですよ。あの核爆弾詰めて行くやつがあるでしょ、レーダーに捕まらないやつ。それがなんかそれ1機あれば足りちゃうだけだね。こういうのにはなかなかお金は出てこない。

ということで、課題は私はないとは言いません。だから僕はね、私も前から聞かされてきてあと少し、あと少しって本当にいつなんだという話じゃないですか。おそらく今日おいでの皆さんもね、半分の方は、いやもっと多くの方かな。え〜って思ってる方もいると思うんだよね。何でいつまでもローヤリーはポリオやってんだべと、羽部さんが一生懸命やってるからしょうがねえなって方もいるかもしれませんが。確かに事実です、それも。だけど、ですけどですね皆さんね、これですよ。じゃあ、僕らがやらなきゃ誰がやるんだと。僕が三浦さんから言われた言葉を皆さんにお贈りしたい。で、今やらなきゃどうするのってことです。今は最も歴史上ポリオ根絶に最も近づいた時なんです。この時期を逸したらおそらくもう人類はポリオを根絶はできませんね。これは僕は断言して言える。今2018年までに根絶を実現しなければ、我々人類はポリオウイルスに負けたことになります。そして子どもたちがまたポリオに感染してく日がやってまいります。今、みんなで、頑張るしかない。なぜなら、本当にウィー・アー・デス・クロースト・エラディケイト・ポリオ・ナス、人類史上、歴史がはじまって以来今いちばんポリオ根絶に近づいている時だと。ここが踏ん張りどころです、皆さん。みんなで一緒にやっていきたいと思えますね。

さて、錦織圭選手であります。これは何かというと、この間全米オープンでの活躍は皆さんね、ご存じのことだと思いますね。私このときちょうど松江にいたんですよ。錦織選手は松江出身なんです。凄かったんです、松江の盛り上がり。夜中なんですよね、試合が。それで僕衛星かなんかでやってるだろうと旅館のテレビをつけたらWOWOWが独占中

継してて、残念ながらNHKの衛星とか他のテレビで見れなかった。でもやっぱりリアルタイムで聞きたいじゃないですか。だもんで実はネットに入って行って、これはUSオープンのホームページなんです。そしたらラジオ中継やって。もちろん英語なんですけどケイニシコリ、ってやっていて、準決勝で破った時のなんですね。何が言いたいかというと、錦織選手のこのような活躍がありますよね、第2第3の錦織がね、こうやって僕らがワクチンを投与した子どもたちから出ないとも限らないですよ。だからポリオに感染してしまっただけで発症すれば、もうああいうテニスではできません。だけど、ワクチンを投与することでそのポリオの感染から免れれば、もしかしたら第2の錦織がインドから出てくるかもしれない。あるいはもっと豊かなIPS細胞の山中教授のような方が出てくるかもしれない。まあでもあれは頭だけだからいいかもしれないけど運動機能に関してはやはり錦織選手みたいな方が出てくる可能性はあると思うんです。僕はそんな思いを抱きながら、この間錦織選手のプレーを見ていました。僕がこれまで投与してきたインドの子どもたち。やっぱりこの子どもたち、私たちは1985年世界の子どもたちに向けて約束しました。ポリオを根絶すると。なぜならば、皆さんの未来を確かなものにするために。皆さんがより豊かな人生を歩めるように我々ロータリーは世界からポリオを根絶します、と世界に約束しました。その約束を実現する日がもう少しでやってきます。だけど、さっきも言いましたように大変困難な道のりです。それを乗り越えていくためには、私たち、今日集まった皆さんお一人お一人がもう一回ポリオというものを考え直していただいて、寄付するなりあるいは皆さんに理解してもらったり、あるいは来年もまたインドに行きますので酒井さんもおそらく行くと思いますけれども、また行くとかですね。そういうことにつながっていただければ僕は2018年ポリオ根絶宣言は可能だとそのように思っています。

どうも、また、いつの日かロータリーの道でお会いしたいと思えます。ご静聴ありがとうございました。



フォーラム

「世界・地域社会で 良い事を実践しているロータリー」

コーディネーター

地区研修リーダー

酒井 正人

アドバイザー

RI第2830地区バストガバナー

関場 慶博

パネリスト

地区ポリオプラス委員長

岡崎 芳明

地区国際奉仕委員長

松原 重俊

地区社会奉仕委員長

遠藤 浩一

地区青少年奉仕委員長

出村知佳子

地区奉仕プロジェクト委員長

杉江俊太郎

地区広報委員長





《酒井コーディネーター》

皆さま、お疲れのところもうしばらくお付き合いをいただきたいと思います。地区指導者育成セミナー、2つ目のプログラムに入らせていただきます。本日は関場先生の基調講演を受けまして、「世界・地域社会で良い事を実践しているロータリー」このテーマでフォーラムを行って参りたいと思います。パネリストにつきましてはスクリーンに出ておりますが、順次紹介をさせていただきます。地区ポリオプラス委員長、岡崎芳明さん。地区国際奉仕委員長、松原重俊さん。地区社会奉仕委員長、遠藤浩一さん。地区奉仕プロジェクト委員長、出村知佳子さん。地区広報委員長、杉江俊太郎さん。なお、アドバイザーには2830地区関場バスターガバナーにアドバイザーをお願いしております。よろしくお願いいたします。

それでは、私の方から進めさせていただきます。本日はただいま出ておりますパネリストのリストの通り進めさせていただきます。関場先生のお話を受けまして、ポリオプラス委員長である岡崎さんからこの地区で行われておりますポリオに関連するお話を最初にしていただきたいと思っております。お願いします。

《岡崎ポリオプラス委員長》

ただ今ご紹介を賜りました、私地区のポリオプラス委員長

の岡崎でございます。ただ今素晴らしいバスターガバナーの関場先生のお話を聞きまして、この後お話するのが大変辛うございます。一つよろしく願いたします。

まず、ポリオプラス委員会、これは今期私共2510地区ではじめてできた委員会でございます。この委員会、まず活動方針といたしまして、国際ロータリーの最重点項目でありますポリオ撲滅運動に一層の理解を深め、積極的な活動の促進に努め、RI2510地区内や地域社会に対してポリオ撲滅が未来の子どもにとって最重要課題であるということ、これを知らしめていく。ポリオ撲滅に対してグループやクラブが地域社会などとの連携や協力をはかり、募金活動やイベント活動を積極的に行ってもらうことを推奨しサポートしていく。ポリオ撲滅運動を通して、ロータリー活動の公共イメージの向上を図るといふ、この地区内のロータリアンの皆さんにポリオ完全撲滅のためとロータリー活動の認知度を高めることに対してご協力をお願いし、その活動をサポートする委員会でございます。ポリオ委員会、ロータリーデーに向けて3月から毎月1回委員会を開催し、すでにもう8回の委員会を開催いたしております。

まず私共今期に入りましてまず最初にやりましたことは、ポリオ撲滅ポスター5枚、それからポリオ撲滅チラシ100枚、募金用ステッカー9枚を無料配布、まあお金を取るわけにはいきません。無料で各グループに配布いたしまして、その後、ポリオ撲滅支援バッジを地区内各クラブにできれば会員数以上購入願いたいということで会員の皆さまのポリオ撲滅に対する意識を高めていただくと共にポリオ撲滅キャンペーンの際にご利用いただくためにこのバッジを推奨いたしました。結局70クラブの中60クラブよりお申込みがありまして、購入総数は2,410個となったわけでございます。会員数に合わせてご購入をいただいたこともあり、会員数と同じ個数以上ご購入いただいたクラブは60クラブのうち46クラブでございます。その後ポリオ撲滅のぼり、これを150枚制作いたしました。これはやはり70クラブに同じく無料配布いたしまして、35クラブより追加注文64枚来ております。実は在庫が34枚残っております。1枚送料1,700円でございますのでどうぞ皆さまご利用くださいませ。願いたします。会員もバッジなどを利用してですね、募金活動をなさりたい方バッジもでございますからどうぞよろしく願い申し上げます。

さて、実はバッジにおいて実はこのグループで一番たくさん購入していただいたのが手稲ロータリークラブさんでございます。こちらは140個。会員さん35名でございますから会員数の3倍ご購入いただいて。これは発寒連合町内会と合同で河川敷の清掃活動にポリオ撲滅活動の啓蒙と募金を行いポリオ撲滅バッジを活用されたそうです。また、会員



一人あたり一番多くご購入いただいたクラブはどこかと申しますと、実は松前クラブさんなのでございます。松前クラブさん、会員数4名と大変少ないクラブでございますが、40個一人10個ですぬご購入いただきまして、どのようにご使用されたかという、会員の事業所などにポリオ撲滅の必要性和募金のご協力の依頼をされたそうでございます。

そのポリオののぼりを皆さまにお送りした時に、アンケートというのをお配りいたしまして、その結果を発表させていただきます。まず70クラブにお送りして、55クラブより回答がございました。55クラブのうち地域内にポリオ撲滅の必要性についての広報計画はあるかということにつきまして、地域社会との関わりを考えているクラブが50クラブでございます。考えていないクラブが5クラブ。ほとんどのクラブが地域社会との関わりを考えてくださっております。それからポリオ募金に対してどのような計画を立てているかということに対しまして、地域での広報と募金集めを行うというのが49クラブ。また、クラブ内での募金集めを行うというのが42クラブ。これは全て55クラブのうちのことでございます。募金集めはクラブ内とクラブ外両方で行うということが35クラブございました。実はこのアンケートの中で各クラブの予想目標金額というのをお聞きしましたら、55クラブの回答のうち40クラブからこの予想金額が来ております。9月末までの募金予想額は236万。合計額でございます。それから来年6月末、今期の末までは187万5千円ということでございます。これは40クラブのデータでございます。私共の地区は70クラブでございますから、あと30クラブでございます。総計いたしますと、今期で423万5千円ということになります。これは最低限の数字かと思われませんが、実はあと30クラブあるけれども先程、関場バスターガバナーも仰っておられました、1クラブ1,500×70といひますと、10万5千ドル。地区の希望目標額は1ドル106円のロータリーレートで参りますと1,113万円ということでございますから、なかなかこれは目標達成にはきついようでございます。どうぞ、なお一層のご協力をお願い申し上げることであります。

さて、これは募金模様でございますけれども実はご存じの通り、ロータリー活動の認知度を地域に対して広めるために、北海道新聞に羽部ガバナーが大きく載りましてですね、ロータリーの活動の宣伝をいたしております。その際にロータリーデーとして9月14日、第4、5グループが中心となりましたが、札幌市内11か所でポリオの募金キャンペーンが行われたわけでございます。今回の募金総額、これは57万9,337円とまあいうことでございますが、これは募金模様を逐次流しております。これはそれぞれですね、各クラブの

指定寄付として登録されて、すでに振り込まれたというお話でございます。これは各地区の募金の模様でございます。募金箱、シールを差し上げました。胸から募金箱をかけてる方やら、持っていらっしゃる方、ともかく活用してポリオのぼりと共にですね、慣れない募金を皆さんして下さっております。大変ありがとうございました。

また、その後3時からでしたか、パークホテルにて今度は江崎バスターガバナーからのポリオのお話、講演会。それから桂枝光さんの落語。それと、その後6時からにはシャンティさんチャリティジャズコンサート。この午後のパークホテルの講演でこれも23万強のポリオ募金を生み出すことができたわけでございます。ありがとうございました。

また、各クラブさん色々ですね、イベントを考えておられて、今回これはチャリティーコンサートをなさったクラブが4クラブでございます。小樽クラブさん、千歳セントラルさん、七飯ロータリークラブさん、北斗ロータリークラブさん。これは写真を頂戴したところだけの写真になります。小樽ロータリークラブさんとこれは千歳セントラルさんでございますか。それからまた、3クラブがチャリティーゴルフやパークゴルフを開催された。これはパークゴルフの模様です。芦別ロータリーさん、それと後は小樽南、私共のクラブでもチャリティーゴルフもいたしました。しかし最も多かったのは、やはりクラブ地域に密接したお祭りやイベントを利用して、ポリオ撲滅キャンペーンをされたという方が多かった。14クラブがそのようなことをされております。このような形でこれは岩見沢東、栗山さんが、これですね、こちらお祭りに協賛してやったイベントでございます。これはツアー・デー・マーチ、洞爺湖さん、伊達さんとかですね、登別さん、室蘭北さんなどが参加したツアー・デー・マーチというこれは二日間歩こうという運動だそうですね。また、マスコミ等を使ったクラブもあり、ラジオ放送、新聞報道、新聞にチラシを入られたクラブも9クラブほどありました。変わった企画としては、古本市、農作物販売、フリーマーケット、医療や法律の無料相談会、講演会などを企画され



たクラブもごぞいます。

本日は時間がなくて詳しくご報告はできませんが、ともかくクラブ内募金の中ではですね、クラブ外ではこのようなことで地区のイベントを開いておりましたが、クラブ内の募金はどのようなことかという、会食で、または、ポリオバッジを使った基金を集めたクラブが多かったようでごぞいます。これはまだイベントの模様でごぞいます。

今期、ロータリーウィークが設けられ、91%のクラブが今までのようなクラブ内募金ではなく地域に対して、ロータリーの認知度向上とポリオ撲滅の必要性、そのための基金をつることに對して、募金活動の輪を広げてくださったということは今までに無いロータリー活動になかった大きな成果と思われます。

また、基金の大部分が上半期に集中したこともロータリーデーの成果です。今回各クラブの活動報告を拝見いたしますと、ロータリーアクターの皆さんにご協力をいただいたり、新聞、チラシ、ラジオ放送。多かった事例では地域のイベントと合同で広報を行うなど、今までの地域との関係がないとできないことも多く、ロータリーの歴史の底力の垣間見た気がいたします。特に少人数のロータリークラブさんが色々考えて地域を巻き込んでのイベントを行ってくださったことがアンケートを読んだ後の印象に残っております。しかし街頭募金をいたしますと、年配の方々にはポリオのことは理解されても、若い方にはポリオは理解されないということが多かった。また、街頭募金を初めて経験されたロータリアンも多く、人々が避けながら歩いていくことが寂しく思いつつ、最初は恥ずかしく声も出せなかった方が多いようです。しかし、子どもさんが募金をくれたり、お疲れ様と声をかけられたり、この人は無理そうだと思うほどの風貌の方が募金をしてくださると、人は見かけによらないということを再認識されたり、ポリオは知らなくても募金ということで協力してくる人がいたり、最後は不思議な達成感があつたと仰る方もおりました。ただ反面、やはり街頭募金はロータリアンには似つかわしくないというご意見もあり、また、ポリオチラシ内容がもう少し詳しい方が良いというご意見もありました。また、ポリオ撲滅は今年だけではなく、継続が大切だという貴重なご意見も賜っております。委員会も今後の活動の参考にさせていただきたく思うことであります。ともかく、皆さまのご協力によりまして、ポリオ撲滅活動が行われましたことを、本当に心より御礼を申し上げます。

先程関場パストガバナーが仰ったので、これは私から申し上げることでもないんですけども、どうかポリオ撲滅ということあと1%ということでごぞいます。ここ数年でポリオの撲滅ができます。これは、今やらなければですね、もうできない。2013年より18年の5年間、今千円するものが

三千円の値になります。ビル&メリンダ・ゲイツ財団が倍額を寄付してくださるとのこと。千円が三千円になる。今の1%を撲滅しなければ、ポリオ根絶はできないということでごぞいます。

また、最後になりますが、国際ロータリーから世界ポリオデーと、先程、関場パストガバナーも仰っておられましたが、この件につきまして、私ども2510地区は9月14日ロータリーデー開催をいたしましたので、ポリオ撲滅運動にこれは、9月14日を世界ポリオデーの代替とさせていただきます。ただ、各ロータリークラブの皆さまにはそれぞれの判断で、世界ポリオデーをご利用いただき、撲滅基金活動をお願いいたします。

もう一つこれはお詫びでごぞいますが、明日、地区大会の本会議上でポリオブース、ビデオを流します。20か所以上からビデオを頂戴いたしました。ビデオの時間が1時間を超えました。1時間立って見ているのも大変かと思いますが、ブースで流しております。また、写真もたくさん頂戴いたしました。ただこれは、9月24日もしくは一昨日までの方はなんとかいたしました。今日いただいた方は残念ながら載せることが難しゅうございます。頑張っではみますが。ともかく、それとビデオをいただいた方の中に取り込んだ写真、PDFでいただいた方の写真、時間がなくて、何でも5人の委員でやっておりますもんですから、なかなか時間がなくてできません。その辺だけはご容赦いただきたいと思ひます。ともかく、このようなことでポリオの撲滅運動を皆さまご協力いただきましたこと、心から御礼を申し上げ私のお話にかえさせていただきます。ご静聴誠にありがとうございました。

《酒井コーディネーター》

岡崎委員長、ありがとうございます。先程のお話の中で、予定額にまだ達していない、ちょっと難しいかなというお話が出てたかと思いますが、ちょっと私、メモで計算すると700万くらいなんです、足りないの。さっき仰ってなかったように思うんですが。

《岡崎ポリオプラス委員長》

私の中ではですね、これはアンケートの中の金額でごぞいます。アンケートの中の金額で前半が先程申しました230何万で後半が100何万でございますから、その部分だけではまだ、それはクラブからだけの寄付でごぞいます。

《酒井コーディネーター》

具体的にはどのくらい足りなくなると見込まれてるんですか。

《岡崎ポリオプラス委員長》

ええと今ですねあと30クラブからはまだ実は返答もいただいております。その30クラブ分と実はこれロータリー

デーの基金が入ってないクラブもございます。ですから、全く見込めませんがとにかく何とか1,130万に近づいていくようにですね、私共啓蒙していきたいとは思っています。今のところは7,800万はまず超えていくだろうなという気はしておりますが、恐れ入りますが今のデータは何を？

《酒井コーディネーター》

お話の中からちょっとメモし、計算しただけなんですけれども。

《岡崎ポリオプラス委員長》

そうでしたか。最初のところの前半で236万、そして後半で187万ということでございます。これを合計して、423万になるということですね。ですから、今のところ40クラブで423万という予定が出ております。あと30クラブは未定でございます。

《酒井コーディネーター》

では最後に、これからその額を達成するために皆さんにお願いするようなことありましたら一言コメントしていただければ。

《岡崎ポリオプラス委員長》

はい。先程申しましたが、バッジもあります。のぼりもあります。また、世界ポリオデーというものもございます。どうか今年ばかりではございませんが、何せポリオ撲滅のために今やらなければだめです。今年ポリオに特化しているとよく言われますけれども、今年、また来年我々この委員会頑張っただけです。どうぞよろしく一つご協力お願いいたします。

《酒井コーディネーター》

ありがとうございます。それでは、次のお話をいただくんですが、次はお三人の方に一つのグループとして発表していただきたいと思っております。奉仕プロジェクト部門という考え方で進めさせていただきたいと思っております。国際奉仕委員長、社会奉仕委員長、奉仕プロジェクト委員長、その三人にお渡しいたしますので、適宜に配分してお話いただければと思います。よろしくお願いいたします。

《松原国際奉仕委員長》

それでは奉仕プロジェクト部門をはじめさせていただきます。国際、社会、青少年奉仕と順に発表させていただきますが、私たち3部門は奉仕プロジェクトとして一緒に思いを皆さまにお伝えたく、一連の流れとしてまとめて発表させていただきます。そして、その後杉江広報委員長へ引き継ぎたいと思っております。よろしくお願いいたします。

私は地区の国際委員長を務めております砂川クラブの松原と申します。今回このような機会を与えていただきましたこと、まずは感謝をいたします。本日はどうぞよろしくお願いたします。

私たちは、ここにいらっしゃる皆さま、クラブの皆さまと共同で海外での支援事業を行ってきました。今回は、たくさんの方々の支援事業の中から生きるために必要な事業、それと、子どもたちの将来を担う事業の2つに分けてお話をさせていただきます。

紹介する地域の位置関係、皆さまご存知だと思います、バンコクがあり、上にチェンマイがあり、ノンカイがあり、アムナットチェロエン、このような位置関係になっております。バンコクからはけっこう飛行機で2時間ほどかかる距離にあります。

まず、生きるために必要な事業であります。先程開場パストガバナーが申ししておりました、私たちの事業の原点は、10年ほど前にはじめた水事業でした。タイの東北部、北部の一部は貧困層が多く、生活水準が極めて低く、特に農村部の貧困が厳しい現状です。その理由の一つとして、降水量が不安定で、水問題を抱えていることがあります。また、東北部など森林伐採による干ばつや、塩害による農業被害により、農村は十分な収入を得られないのが現状であり、このような現状から私たちは水事業に力を注ぎました。先程塩害と申しましたが、タイ国の地下には岩塩層があり、井戸を掘っても塩水で、飲用だけでなく農業用水としても適しません。生活のための生活水は雨水を利用しているのが現状です。クラブの皆さまのご支援により、ここに「祝完了」と書いてありますけれども、ノンカイ地区72の小学校に浄水装置を設置しました。集落250人とする、1万8千人の命の水になっています。ご支援いただいたクラブの皆さまには、本当に感謝を申し上げます。

これは違う地区、3350地区アムナットチェロエンの浄水装置です。この地域はタイの中で最も貧困の地域と言われている地域の浄水装置です。皆さまスマトラ沖地震、たぶん津波で被害に遭ったこと覚えていらっしゃるかと思います。その時にたくさんの孤児が生まれました。インドネシア、ジョグジャカルタの孤児院に、浄水装置を設置もしております。

続いて、命という部分で見ると、チェックダム事業です。今まで見た平野部のノンカイ地区、アムナットチェロエン地区に浄水装置が必要なのに比べ、山岳地帯のチェンマイでは毎年鉄砲水による死者が出るために、鉄砲水防止のためのチェックダムが必要でした。これは大型のチェックダムですけれども、これを作ることでいわゆるダムとして水をためることができ、鉄砲水を防ぐというだけではなく、農業用水として利用することで生きる手段になることがわかってきました。これがチェックダムです。簡単なものですが、鉄砲水を防ぐには十分なものです。さらに、水を保つ保水という効果もあります。これらのチェックダムは、地元住民だけでなく、タイの軍隊などのボランティアによって作られているも

のです。

皆さん日本で震災があった時、タイの国で洪水があったのはご存知だと思います。日本の車が水に浸かった映像で覚えていらっしゃると思いますけれども、それはアユタヤ地区で、その被害にももちろん地域の病院も大変な被害を受けました。そういう中でこの中核病院に人口呼吸器を贈呈しております。これが人口呼吸器です。

簡単に受診できない、いわゆる交通の手段あるいは貧困などに、子どもたちや地域住民のための移動歯科事業です。これはチェンマイ地区ですけれども、燃料としてのバイオガス事業、このようなこともやっております。

これがタイのトイレですけれども、衛生環境も大切なものと私たちは認識しておりますこれ、皆さんおわかりでしょうか？いわゆる水洗トイレです。タイの便所はすべて水洗トイレです。手で流す水洗トイレです。

実はタイの子どもたち、学校が日本のようにたくさんあるわけではなく、ものすごい長距離を实际歩いて通ってくるという現状があることがわかりまして、子どもたちのための自転車事業というのをやらせていただきました。人数が何分多いために、作文を書いてもらった中で選抜をして自転車に乗る権利を与えていくような形で自転車事業を続けております。

まだまだたくさんあるんですけれども、時間の都合上、生きるために必要な事業ということで見ていただきました。

今までそのような事業をやっていく中で、識字率の問題や教育の問題が浮き彫りになってきました。貧困地域では教育がないために、親が子どもを売ってしまったり、両親に置いていかれたり、あるいはいなくなったり、虐待を受けて保護されたり、犠牲になる子どもたちが増加しています。その子どもたちは生きていくためにストリートチルドレンになったりします。この不幸な連鎖を止めるためには、最終的に教育しかないということを痛感いたしました。それでこれからの事業は、子どもたちの将来を担う事業という形になると思います。

これはインドネシア、ジョグジャカルタのものですけれども、移動図書館の支援事業というのをさせていただきました。インドネシアもタイも同様に本を読む環境にない子どもたちのために、これスマントさんという方なんですけれども、私費を投じて52か所三輪バイクに乗って本を子どもたちのために見る機会を与える、そういう方です。そしてこれは実は自宅なんです。自宅を私設の図書館に改造して、子どもたちや地域住民の方に解放している。本当にそういう方のために支援をさせていただいた経緯があります。実は皆さん、後で出てくるかと思いますがけれども、ロータリーデーに道新に掲載された時の図書館の写真のベースになっている

のが実はこの図書館の写真です。タイの学校には図書館はなく、日本には当たり前にありますけれども、子どもたちの識字率の向上だけでなく、自らの勉強の機会を得ることができます。また、これらの図書館は先生の資質の向上にもつながっていると思います。子どもたちだけでなく、先生も自ら学ぶ機会を増やすことがとても大切だと考えております。

これもノンカイの奨学金事業です。優秀な子、頑張っている子に勉強する環境を整えるという意味で奨学金事業を行っております。タイの学校には、先程親がいなくなってというお話をしましたけれども、100%親のいない学校があったり、6割親のいない学校があったり、そういう子どもたちは学校の先生が面倒を見るという形になっています。そういう中で有効にこの奨学金を利用していただいて、授業を受ける環境を整えられればということではじめています。

実はこれ先程チェックダムという話をしました。それが農業用水になるという話をしましたけれども、実は水を確保できたことで、農作物が作れるようになりました。村にいて、収入が得られるようになりました。ドライフルーツ、染め物、織物にも取り組んでいます。チェックダムは、生きるためだけでなく、子どもたちや地域の皆さまに明るい未来を与えるという結果を生んでいます。もしこのチェックダムがなかったら、この子どもたちはどうしていたかということを考えるとこのチェックダムの有用性がいえると思います。

これもインドネシアのジョグジャカルタですけれども、イモギリの共同の集会所を作らせてもらったことがあります。子どもたちが集まっている写真、何しているかわかりますでしょうか？実はインドネシアといえばパティック、ろうけつ染めで有名なのはご存知だと思います。実はこの地域は、パティックの盛んな地域で、子どもたちがいわゆる練習をしています。これは親からの事業継承することで子どもたちにとっても地域にとっても明るい将来になるのではないのでしょうか。この右の上にあるのが子どもたちが作ったバッグです。下にあるのが親が作った本当に織物になっています。そして今後は、子どもたちが笑顔を忘れず生きてい



けるように、生きる目的や希望をしっかり持ち、ストリートチルドレンに戻らないための技能訓練の教育事業がとても大切であると思います。現在、グローバル補助金を利用し、実施に向けて準備を進めています。後程、出村委員長の方から少しお話があると思います。

さて、今まで見ていただいた事業ですけれども、実はこれは私たちがやっているわけではありません。実はタイのロータリアンとの共同事業です、全て。毎年検証ツアーを実施することで、現地ロータリアンとの友好を深めてきました。継続的な事業の実施は、国を超えた友情を育ててきました。その縁により、日本での大震災の際、放射線測定器や甲状腺検査の車両、キッズキャンプなどの震災支援や奉仕プロジェクトをロータリー財団のマッチング・グラント、地区補助金を利用してタイの皆さんと共同で行って来ています。日本が支援を受ける側になり、築いてきた絆はとても強いものになりました。このような流れの中でタイのロータリアンの皆さまの力添えをいただきながら、キッズキャンプが実施されてきました。

ここで、キッズキャンプについて、遠藤社会奉仕委員長にバトンを渡したいと思います。私の発表は以上です。ありがとうございました。

《遠藤社会奉仕委員長》

引き続きまして、社会奉仕委員長を務めさせていただいております、岩見沢クラブの遠藤と申します。一つよろしくお願ひ申したいと思ひます。

我々奉仕プロジェクトが中心となつてですね、キッズキャンプは実行委員会を作って実行してございます。それぞれの委員会が連携し、活動は各クラブの協力、支援、それによって成り立ってございます。また合わせて活動に交換留学生、ローターアクト、インターアクト、ライラ学友等の参加もお願いしてロータリアンの精神の育成も合わせて行つてるところでございませぬ。各クラブを連携することによってそれぞれの潜在能力を引き出し、統合化することによって活動の広がりを見せてございませぬ。そして、多くの会員が参加し充実した奉仕活動の機会を提供し、共同プログラムの実践を行つてございませぬ。

福島キッズキャンプ、これはですね、放射線被害のため避難を余儀なくされている福島の子もたちを招き、毎年実施をしている内容でございませぬ。今年は松原奉仕委員長を実行委員長として実施をしたところでございませぬ。今年の内容につきまして写真で活動を追つてみたいと思ひます。これが岩見沢の会場となりました、スパ・イン・メープルロッジに到着したところでございませぬ。開会式、羽部ガバナーの挨拶をいただひてございませぬ。交換留学生も参加をいただきまして、その紹介をしてございませぬ。ネイチャーゲーム、

何のことだかわかりませぬか？私もわかりませぬが、森の中で探し物を探すといったゲームでございませぬ。夕食の後、皆さんやつとですね、落ち着いたところで自己紹介を実施してございませぬ。これは特に岩見沢クラブの方にはお世話になりましたけれども、大花火大会ということでございませぬ。これは岩見沢ロータリーのメンバーですけれども、久しぶりの花火にですね、この現代の花火のすごさにちょっと驚いてるところでございませぬ。フィナーレは連続の打ち上げということで準備をしてございませぬが、煙がいっぱい何にも見えていないといった状況でございませぬ。ただ、皆さんの表情を見ていただくとすごいというふうにしていただひければと思ひてございませぬ。次の日は原始人体験ということで摩擦で火をおこすこと、それから竹の棒にパンを巻いて炭火で焼くといったような原始人体験をしました。残念ながら火はおこすことはできませぬでした。これはタイのブーくんも非常に頑張ってございませぬ。この笑顔を見ていただひさい。真ん中の方はロータリアンで今回グループリーダーでございませぬけれども、すっかり馴染んでございませぬ、素晴らしい笑顔というふうにしてございませぬ。帰り道、近所のハスカップ農家に呼ばれまして、ハスカップ狩りをしてございませぬ。これは天体望遠鏡は日中作ったんですが、夜は雲が多くて星を見れなかつたということで、先生が火薬を使わない線香花火作りという機転をきかせていただひきまして作つてございませぬ。これが花火をつけてるところでございませぬ。それで最終日、メープルロッジを出発するところでございませぬ。これからが岩見沢公園で大バーベキュー大会というところでございませぬ。これは羽部ガバナー、素晴らしい笑顔だというふうに思ひませぬけども、見ていただひての通りですね、こちらの方ですが、小樽クラブさんからですね、イカ、ホタテ、ホッキ等たくさん差し入れをいただきまして、すごいメニューになって非常に盛り上がつてございませぬ。どれも素晴らしい笑顔ということでございませぬ。これはお手伝ひいただひた岩見沢クラブの鎌田会長以下役員のメンバーです。普段見ない笑顔が非常にまぶしいという、非常に良い写真にな



ってるかなあというふうに思います。最後は羽部ガバナーから記念のマグカップをもらって家族の感想をいただいたというところでございます。これが全ての家族でございます。最後、閉会の挨拶をいただいて終了したというところでございます。

ここで今回はいつもと違ひまして、福島から子どもたちを呼んだということではなくて、北海道に避難をしている方を親子で招いたということでございます。初めてのことでございます。ただ、これからご説明申し上げますけれども、保護者の声の中からはまだけっこう悲痛なお言葉もありましたんで一部紹介をさせていただきたいと思ひます。

普段は母と娘だけの2人だけの生活なので、どなたかに仕切っただいてリラックスして楽しめることはなかなかありません。そんな中、至れり尽くせりの夢のような時間を過ごさせていただき、幸せでした。新しい出会いをつなげてくださったこと、心からの温かい思い出、キャンプを作っただき、子どもたちが生き生きと参加できるように関わってくださったこと、全てのことありがとうございます。また、お会いしたいです。手伝えることがあったら是非手伝えてください。至れり尽くせりのプログラム、何よりもロータリーの方々のさりげない行動とお言葉に感謝しました。現在雇用促進住宅に居住させてもらっていますが、平成28年3月までは無償で住めますが、その後はまだ決まっております。母子避難で来ている方は福島へ帰るなどの選択を決めなければなりません。同じ居住地で経済的理由により帰る母子もいます。やはり現実には普通ではない生活です。今回のキャンプで自然を満喫し、新鮮な野菜の支援は本当にありがたいものです。我々東北の人々も次のステップへ進まなくてはならないと認識しております。本当にありがとうございました。北海道に自主避難して3年が経ちましたが、はじめて心身共に癒やされました。ずっと突っ走ってきましたが、一息、とつても深い一息がつけました。心から感謝いたします。最後であります、ロータリーの方々は、どの方も紳士で奇麗で品が良く、素敵で感動いたしました。

これは本心だというふうに思ひます。子どもたちはどなたもみんな楽しいと、それとここに来て新たな友達ができたとことで非常に喜びの声をいただいてございますが、今話した通りですね、保護者の話を聞きますと、まだまだ現実には大きな社会問題ではなからうかなというふうに思ひているところでございます。我々ロータリアンがですね、何ができるかということをしつかりと考えていかなきゃならないかなあと思ひてございます。そして私たちはやはりこの大きな大震災を決して忘れてはいけなと、また強く感じたところでもございます。

ロータリーの理念はロータリーの活動は理念や原理を常に検証する必要があります。決して自分たちの論理や形式的になっていないか検証し、継続の可否を検証しなければなりません。

人間は互いに支え合い、生きている存在です。日本人らしく優しく思いやりの心を持って地域の変容や環境に対処する良き聞き手としての存在者として親身になって何ができるか何が必要とされるかと考え行動することが大切ではなからうかなというふうに強く感じたところでございます。

また、クラブ奉仕連携してございますが、一クラブで難ければ近隣クラブとの連携も奉仕活動では必要ではなからうかというふうに考えているところでございます。それと、思ひだけではなく、実行すること。これがロータリーの奉仕活動、良いことではないでしょうかというふうに強く感じたところでございます。私からの説明は以上でございます。

《出村地区青少年奉仕委員長》

続きまして奉仕プロジェクトの中で青少年奉仕委員長を務めさせていただいております、出村知佳子と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。私事なんです、このような育成セミナーなどにはここ4、5年毎年のように違った肩書きで参加をさせていただいております、本当にこの場をお借りして皆さまに日頃の事業への協力のお礼をお伝えできるチャンスを与えていただきましたことに、心より深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。おそらく今年が卒業年度ではないかというふうに思ひておりますので、私の方からはクラブの皆さまへの今までの支援のお礼、そして各委員会の皆さま、そしてガバナー、パストガバナー、エレクトの皆さまに本当に事業にご協力いただいたことへのお礼と、そして青少年奉仕委員長の立場として、奉仕プロジェクトがこうして連携をいたしまして、その連携からロータリーの青少年の皆さんが実際にキッズキャンプのような形で奉仕プロジェクトの事業に参加していただいていることについてお伝えをさせていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

只今遠藤委員長の方からご紹介がありました今回の夏のキャンプですが、ライラセミナーにご参加いただきました学友の方3名、そして青少年交換学生2名、ローターアクトも参加をいただいておりますが、多くの青少年の皆さんも参加をしていただきました。ライラ学友の皆さんのご参加、その姿勢は本当に素晴らしいものでした。実際に避難をされている参加者の皆さんも、本当にその姿勢に励まされたり、実際にロータリーの活動というのはこういった交換学生がいらっしゃったり、ライラ学友がいらっしゃったり、本当に幅広い活動をされているんですねということで実際に参加されている皆さんにもとても喜んでいただくことができまし

た。そこで交換学生ですとかライラ学友などロータリー青少年の皆さんに癒やされている様子の参加者の皆さんの様子がとても印象に残っております。また、オーストラリアからの青少年交換学生2人の参加もとても喜ばれてお友達になれて嬉しかったと参加した奨学生から多くの言葉を聞けたのもとても印象的でした。

このような青少年たちの奉仕事業への参加は、ロータリアン以外の方たちにロータリーを理解していただく大きな、大きな力になるということはこの機会を通して感じることができました。また、先程松原国際奉仕委員長からお話がありましたが、これまでの旧WCSの委員長として経験を積ませていただいたことや、財団委員として東南アジアを中心に水支援事業、衛生支援事業、識字率向上事業に長年関わらせていただきましたおかげで、そこで支援のお手伝いをしたり私たちを迎えてくれる多くの海外のローターアクター、インターアクター、ローテックスの青少年に現地でも出会うことができました。そして志の素晴らしさに触れさせていただくことができました。彼らも同じく活動に参加、実践する中で、ロータリーの心を学び、キラキラと輝く本当に立派なロータリアンの卵たちでした。それらの青少年の姿をみせていただいたおかげで、青少年奉仕の大切さを、さらには奉仕プロジェクトの国際奉仕委員会、社会奉仕委員会、青少年委員会と横の繋がりの大切さと素晴らしさを今おかげで感じさせていただいているところです。

青少年たちは、我々ロータリアンの姿を本当にまっすぐに見ています。我々の奉仕に対する姿勢が本物であれば、彼らはそれを受け入れ、育っていつてくれるでしょうし、そうでなければおそらくその逆になるのではないかというふうに感じています。決してごまかしはきかないというふうに思っています。さらにそのロータリーの姿を青少年たちはその友人たちにも伝えてくれます。そして事業の参加者や対象者の方たちもご自身の体験、ご自身が見て感じてきたことを友人や家族たちに伝えてくれています。私見ではありますが、これは一番強く直接的なメッセージを強く持ったロータリーの大きな広報活動であり、活動を深く理解していただくことにつながっていくのだというふうに感じています。そして、それを友人や家族から聞いた方、一般の方々はどう思うのでしょうか。ああ、ロータリーは素晴らしいことをしているんだ。良い活動をしているんだというイメージがとても強く残っているのではないかというふうに感じています。その良いイメージをお持ちの皆さんが例えばですが先日、北海道新聞の羽部ガバナーが大きく掲載された紙面を見たりしますと、ああ、これが先日〇〇さんが話していたロータリーのことだなということを思い出し、さらに大きく心に焼き付けてくれていることと思いますし、先日のロータ

リーダーの街頭募金を見かけた一般の方は、ああ、これが〇〇さんが感動していたロータリーの活動そしてポリオ撲滅の活動もしているんだというふうに思います。実際に私も街頭に立つお手伝いをさせていただいていましたが、本当に温かくお声をかけてくださる皆さんがたくさんいて、お疲れ様、頑張っってねといった言葉に励まされました。そういった声をかけてくれた方々は、おそらくこういったかたがたではないかなあというふうに感じておりました。

このようにロータリーの奉仕活動が横の結びつきがより強くなり、連携し、大きな意義ある活動になっていけばいくほど、その広報がどんなに大事になっていくかを日々感じさせていただいている毎日です。このように奉仕活動と広報はいつもいつも背中合わせにあることを感じながら、実は現在先程松原委員長からもお話がございましたが、タイの親の居ない子どもたち、様々な悲しい理由でその学校に全国から来ているわけですが、そういった子どもたちに将来生きていく技術を身につけていただき、夢を持って生きていってもらえるようにと、訓練教室を作り、プロのトレーナーを派遣し、高い技術を身につけていってもらえる事業を立案しているところで、実際には洋裁の技術ですとか、お菓子づくり、パンづくり、そういった技術を身につけていただいて、それを実際に製品として成り立つようなレベルまで上げていただいて、手に職をつけて子どもたちは卒業してももちろん行くところがないわけですので、自立していつてもらうお手伝いをするという事業を立案しているところです。この事業には財団委員会はもちろん、VTT委員会や財団学友委員会にもご協力をいただきながら一つの事業をグローバル・グラント事業として申請をさせていただき作り上げているところです。

これに青少年の皆さんに今回の地区大会でも折り鶴を折ってもらい、千羽鶴にして、激励のメッセージとして現地に届け、多くの力で事業をより質が高く、より心のこもったものにしていきたいというふうに思っております。というのも、その子どもたちというのはやはり両親に虐待を受けてそ



こちらの学校に来た子ですとか、ストリートチルドレンとして救助されてそこに来た方になります。ですので、手に職をつける技術をつけることはもちろんですが、生きていく励みといえますか、目標がないと手に職がただけでは人間は生きていけないというふうに思っています。その中でそういったモチベーション事業というか、子どもたちを励ます事業も一緒にやっていかなければこの事業の意味は半減してしまうよねということを現地のロータリアンと話しまして、皆さんの心を是非贈りたい、みんなで応援しているんだよというメッセージを送りたいというふうに思っているのがこのお手元に配られたと思うんですが、千羽鶴の事業であったりメッセージを送る事業を地区の皆さんと、そして家族の皆さんとも何かできたらいいなあというふうに思い、このような形でご案内をさせていただいております。そしてそこにはキーマン的な広報委員会の皆さんにも今回実行委員会に入っております。この広報委員会の皆さんに事業の広報をお願いし、ロータリーの活動の素晴らしさをさらに輝かしいものにしてくださるに違いないと、この広報の新しい風に私共奉仕プロジェクト委員会及び実行委員会は、期待に胸を膨らませています。杉江委員長はじめ、広報委員会の皆さん、未来につながるロータリーに新しい風にさらに輝きを与えていただきますよう、お力を貸していただきますようよろしくお願いいたします。

また、先程お配りした資料なんですけれども、千羽鶴を海外に届けようプロジェクトということで、海を渡り、千羽鶴を届けませんかということで先程当クラブの会長なんですけど、この前、青少年会議の際にも少しご案内をさせていただいて、タイに持って行ってくださいということで二ついただきました。今日もたくさんの皆さんにお声を掛けていただいて、クラブで作りたいんだけど、何センチの大きさがいいんだとかいうご質問もありました。大きさバラバラでもいいかと思っていたんですが、一応一番一般的な100円ショップなんかにも売っている15センチ×15センチというのが一番一般的なものなので、そのよくある普段皆さんがお見かけされている折り紙のサイズで折っていただければ一番ありがたいのかなというふうに思っています。

明日の並行プログラム、青少年プログラムの方でも、青少年の皆さんにもこれを折っていただいて、青少年の皆さんきっと我々よりも折り紙上手だと思うので、たくさん折っていただけるのではないかと期待をしていますが、そちらでも折っていただいて、国際奉仕の検証ツアーが11月の末からございますので、その国際奉仕の皆さん及び羽部ガバナーにそれを届けていただけるようにということで、それまでを目標にしております。明日は奉仕プロジェクト部門でもブースを出しておりますが、そこでも折り紙を置いておりま

す。ロータリーの皆さんに本当はこちらで今お配りしよかなと悩んでいたんですが、中々私自身も鶴の折り方ってどうだったかなとかと思い出せないような部分がありましたので、もし皆さまご家族の皆さん、奥さま、お孫さん、お子さんにもお声をかけていただいて一羽でも二羽でも心を一緒に届けていただければなというふうに思っておりますので、是非ご協力のほどよろしくお願いいたします。

私の方からは、奉仕プロジェクトの最後として、これが広報につながって素晴らしい活動になっているということをお伝えさせていただきました。ご静聴本当にありがとうございました。

〈関場バストガバナー〉

すみません、今の、私はじめて来たんで、千羽鶴の海を渡るプロジェクトというのはごめんなさい、どういうことなんですか、具体的に。どういう目的で。

〈出村地区奉仕プロジェクト委員長〉

すみません、こちらにプリント配るのを忘れていて、たぶんご案内があるとわかりになるかと。今事業を、グローバルを立ち上げている、ロイヤルキングスクールと通称呼んでいるタイノンカイの学校なんですけど、全国の虐待を受けたお子さんですとか親がない孤児の方ですとか、北タイのストリートチルドレンだったお子さんたちなどもそこに集まってきたり王様が支援している学校なんですけど、ここでまず子どもたちに生きていく技術を身につけていただくというプロジェクトをしてるんですが、その子どもたちに激励のメッセージとして千羽鶴を届けたいというふうに思っております。というのも、子ども達は技術だけ、現地のロータリアンと話すとか技術はたぶん身につけていくんですけど、そのやっていこうというモチベーションが同じように大事で、日本のロータリーの私たち皆さんが応援しているんだよというメッセージとしてそれを千羽鶴にして届けたいなあというふうに思っております、ロータリアンの皆さん、ロータリー家族の皆さん、そして青少年の皆さんと共にそれをなんとか千羽鶴三千羽を目標くらいに今考えているんですが、それを現地の子どもたちに届けたい、メッセージとして届けたいというふうに思っています。

〈関場バストガバナー〉

はい、ごめんなさい、よくわかりました。

〈酒井コーディネーター〉

3人の奉仕プロジェクトの皆さま、ありがとうございました。お話の中には生きるために必要な事業、その支援をする、例えば水の事業であるとか、これは先程関場先生もお話されていましたが、我々は水に恵まれててあまり感じないのかもしれませんが、実際に飲み水それに困っているところもたくさんあるわけでありまして。ずっとこの地区では、長い間

時間をかけてWCSという形で支援をしてきました。たくさんそれに関わったクラブの方々も本日ここにお見えだと思います。それを率先して実行して下さったお3人の委員会に感謝を申し上げます。ありがとうございます。そしてまた今回は、新たにキッズキャンプのお話も出てまいりまして、その中では、そこに参加したご家族の感想、とても印象的なものがあります。それを聴いていて、やってよかったなというのを感じるわけでありませぬ。最後に海を渡る千羽鶴を届けようプロジェクトに参加しましょうということなんです、いわゆるその、どこかで聞いた覚えがあるんですが、人間は食うために生きるのか、生きるために食うのか、要するにその辺に最終的にはなるのかと思います。生きていくモチベーション、それをそこで味わってもら。そのために応援するということなのだろうと思います。大変直接食べるためには役に立たないのかもしれませんが、生きるためには大きな力になってくるように思います。どうぞこれからもプロジェクトに関わっている委員会として、あるいは携わるクラブとしてどうぞ今後もお続けをいただきたいと思ひます。

さて、それでは広報委員長、杉江さんよろしくお願ひいたします。

《杉江広報委員長》

本年度地区の広報委員長を務めさせていただいております、小樽ロータリークラブの杉江でございます。紅一点の女性の後で且つ1時間ほど経っておりますので大変皆さまお疲れだと思います。私も、壇上で1時間出番が来るまで待ってて疲れしました。この緊張感をもってこのまま私継続できるかどうか不安ですけれども、頑張らせていただきますと思ひます。

まだこのプロジェクトに映されております、9月の6日の日の北海道新聞、全道版なんですけれども、道新に掲載いたしました。この新聞を見られた方、ちょっと手を挙げていただけますか。はい、ありがとうございます。ほとんどの方が見られたということなんですけれども、昨日の段階でこの新聞を出すための協賛金のいただいたクラブにはお礼の文章とそれからこの新聞、まだいただけていないクラブには、再度お願ひの文章とこの道新を発送をさせていただきます。たぶん皆さま方クラブに帰られると何か地区から届いているぞと思われと思ひますが、まずはこの新聞を見ていただいて、もう一つ前の一番最初にですね、この羽部ガバナーの笑顔を見ていただきたい。是非ロータリーを広めたい、広報したいという強いガバナーの思いがこの表情に表れております。そして次に記事を見ていただきたい。ロータリークラブが社会へ世界へ奉仕する豊かな心というところ、真ん中に書かれておりますけれども、それをテーマに羽部ガバナーが

色々ロータリーについて語られたのが記事になってございます。下段の方、中段から下の方がロータリーウィーク、これロータリーウィークに合わせて出しましたんで、各地のロータリーウィークのPRをさせていただきました。肝心なのは、ちょっと画面が小さくて皆さん字がぼけて見えなかもしれませぬけれども、下の方に我が地区の全てのクラブ名を入れさせていただきます。決して入っていないクラブはございません。そういう意味では協賛金よろしくお願ひしたいと。失礼申し上げます。

それではですね、あまり持ち時間もないので簡単に走らせて。いまロータリーの広報で各4人の委員長もロータリーの広報が必要なんだというお話をいただきましたけれども、なぜロータリーの広報が必要なのかというところを探っていきたく思ひます。今説明がありました色んな事業、素晴らしい事業であります。それから関場先生が冒頭にお話をされたポリオの事業においても、世界中で素晴らしい事業であります。さらには各クラブで色んな素晴らしい事業が実施されていると。そういうことは皆さん十分にご存知だと思ひますが、じゃあこの素晴らしい事業が最近のRIの実施した調査によりますと、ロータリーという名前や言葉は知っているけれども、世界で良いことをしている団体だという認識を持っている方がほとんどいない。非常に情けない状態ですけれども、いうアンケート調査になっております。さらに別の調査では、若い人たちはボランティアをするのに年会費として何十万ものお金を払うことに抵抗感を持っているということで、簡単にいえば、私たちロータリアンが抱えているイメージと、一般の方々のロータリーに対するイメージのギャップが大きい。このギャップを少しでも埋めていくというところの役割が広報ではないでしょうかというところで、やはり広報が大事なんだというふうに言われる所以だというふうに思ひます。

それで、今までのロータリーの広報の考え方で、色々あるんですけども代表的なのをご紹介したいと思ひます。ロータリーが広報に消極的であったのは、ロータリークラブが奉



仕活動を選ぶ場合に、宣伝をその主たる目標としてはならないという1923年の方針声明がしばしばロータリークラブが宣伝や広報活動を極力避けるべきである。というふう解釈されたことが多かったということもあります。それから、職業奉仕を大事にしておりますので、職業奉仕は職業を通じての個人の奉仕でありますので、自慢すべきことではない。それからロータリーの哲学は奥の深いものであり、積極的な広報をしても新会員にも一般の方々にもロータリーを理解するには時間がかかる等々、こんな理由でこんなことを今までの広報はなかなか盛んでなかった理由として挙げられると思います。

それでは、これからの広報をどうすたらいいのかということですが、こういうことがありますという事例を皆さん方にご紹介を申し上げれば一番早いですけれども、今年十年振りに立ち上がった広報委員会でありまして、資料を探しても全くそういう資料がございません。まして先程お見せした新聞を作るので手一杯でしたので、まとめておりません。そういう意味では皆さん方と一緒にこれからロータリーの広報を考えていきたいというふうに思っています。これからの広報の考え方はどうすべきかという基本的な考え方ですが、ロータリーとしてのトータルのイメージ、こういうものをよくしていくために奉仕活動を中心としたロータリー活動が活発に企画・実施されることが大切である。要は広報というのは決して自分たちで事業を興すものではなくて、素晴らしい奉仕活動があってこそ広報ができる。ですからその前に素晴らしい奉仕活動をしましょう。その後で私たちロータリアンと社会の方々とのイメージのギャップ、これを埋めていくために少しでも一般の方々がわかりやすい表現、ロータリー用語を使っても誰も理解をしてくれません。例えばWCSっていったって何ですか、職業奉仕っていったって何ですか。私たちロータリアンが理解できることでも一般の方々には理解できないということを認識した上で、一般の方々がわかりやすい表現で広報ができる。もしくはPRができる。そういうロータリアンになっていく必要があるんじゃないかというふうに考えております。そのためには私たち自身が色々勉強をし、その輪を広げていくということも必要でしょう。そういうことのお手伝いを広報委員会としてやっていきたいというふうに考えておりますので、どうか皆さまの広報活動の活発な活動と広報委員会への協力をお願い申し上げまして、最後にまだ協賛金をいただいているクラブは、よろしく願い申し上げます私の発表にさせていただきます。ありがとうございました。

《酒井コーディネーター》

杉江委員長、ありがとうございました。後程広報のこと私も触れたいと思いますが、皆さんちょっとこれが漏れてたと

か言い足りなかったことあるかもしれませんから一言ずつどうぞ。

《岡崎ポリオプラス委員長》

すみません、ポリオでございますけれども、先程自分の番が終わるとほっとすると物忘れをいたしまして、ポリオ委員からこれは言ってきてくれと言われたことがございました。それは何かと申しますと、実は1クラブ1,500ドルということにしまして、はやり色々小さいクラブと大きいクラブの格差というものがある。これについて色々私共にも意見を言うてくる方もいます。それで、これはあくまでも目標額ということで、小さいクラブさんにとっては、目標額として捉えていただきたい。逆に大きなクラブさんにとってはですね、1,500ドルが集まったからいいというのではなく、小さなクラブの方の分までも、やはり人数の多いクラブさんは少し補助してあげるくらいのつもりでですね、是非地区内通して先程の額1,113万ですか、そういうことを是非お願いしたいと、1,500出したからいいという話をずいぶん聞いたことがあるのですが、そうではなく、力のあるクラブさんは是非それより多く出していただければありがたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○松原国際奉仕委員長 会長・幹事さんがいらっしゃる、とても高い席から大変失礼かもしれません。今ポリオの協賛金のお金ばかりでお金のことで大変申し訳ないですけれども、国際奉仕の事業を見ていただきましたが、やはり支援をしていただくクラブが増えることが私とても大切だというふうに思っております。現在申請いただいたクラブは36クラブになりました。なんとか今年40クラブいけばいいなと思ってたんですけれども、是非ご申請いただいているクラブ、締切にはなっておりますけれども、今からでもどうぞ申請いただけますよう是非高い席からですがよろしく願いをしたいと思います。

《遠藤社会奉仕委員長》

まだまだ全地域避難の地域もございます。まだまだ普通の世界ではないというふうに考えてございますので、私も奉仕プロジェクトもですね、何ができるかということをしつかり考えてこれから取り組んでまいりたいと思いますので、またよろしく願いいたします。

《出村地区奉仕プロジェクト委員長》

今日は本当にありがとうございました。私事ではあるんですが、財団委員の方も務めさせていただいております、こちらは実践部門なんですが、ほとんど全ての活動が財団の事業で行われております。そのもとになるというのは皆さまご存知のように各クラブの皆さまのご寄付のおかげでこのような事業を進めさせていただけるということにお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

《酒井コーディネーター》

杉江委員長ありますか？

《杉江広報委員長》

ロータリーの広報の目的の一つにですね、ロータリーを広く知っていただき、仲間を増やすことというのがあります。ロータリー活動の理解が深まれば、その中には必ず同じ志を持たれる方が現れ、その方たちはきっとロータリーに入りたいと思われることでしょう。これ以上強力な会員増強策はないということもいえると思いますので、是非広報活動をよろしくお願い申し上げます。

《酒井コーディネーター》

ありがとうございます。関場先生、アドバイザーとして。

《関場バストガバナー》

ありがとうございます。私の声ももう限界になったようで。あまり喋らないようにしますけど。本当に素晴らしいプロジェクトが展開されていて本当に感銘を受けました。一つ一つ言いたいこともあるんですが、例えば人工呼吸器のことがありましたね。2台でしたか？でもあれで救われる子どもたちは間違いなくいるわけです。その子どもというのは生涯、あるいは親御さんはロータリー。まあロータリーのことは忘れるかもしれないけれども、日本のどっかの人たちが助けてくれたということを感じていると思うんですね。そういったことはロータリーの一つ一つの素晴らしい仕事だと思います。それで一番大事なのは先程どなたか仰っていたけれども、街頭に立って普段立ったこともない大会社の社長さんが立ってポリオを呼びかけて、終わったあと達成感、満足感を得たという発表がありましたね。あれが僕はとても大事だと思います。ロータリーの一番の強みは、多様性だと思いますね。色々な人が集まって色々な奉仕活動がある。だから今やれることを今できる人がやればいいんです。やれない人は無理なくていい。今出せる人が出してあげればいい。先程1クラブ1,500ドル。例えば人数5人のクラブだったら大変ですよ。けど、どっかのクラブが自分たちは1,500じゃなくて会員多いから3,000出すとかね。色々あると思う。それこそがまさにロータリーの強みだと思います。それと広報に関して言えば、日本人はどうしても広報イコール宣伝とか、そういう考えがあるので、広報って英語でいえばpublic relationsつまり一般の人々ときちんと理解し合うということでありますから、自分たちがやっていることをそのままお伝えする、あるいは色々な人を巻き込んで我々のことを知ってもらうということは新しい仲間を得るという意味でも大事なことでありますので、先程広報の委員長が仰ったことは素晴らしいことであります。ということで私自身はポリオのことしか知らないんですが、この地区では羽部ガバナーの立派なリーダーシップのもと素

晴らしい奉仕プロジェクトが展開されている。最後に一つだけお話ししますけど、本田宗一郎さんが理念なき行動は凶器であるが、行動なき理念は無価値であると仰っています。だから私たちロータリーってのはまさに奉仕を実践していく、だけでも同時にみんなで色々なことを時としては反省しながらこれはロータリーの理念に合っているだろうかということもたまには考えましょう。その両輪相まってこそ、我々ロータリーの今後の発展が望めるんだろうと思っています。以上でございます。

《酒井コーディネーター》

関場先生ありがとうございました。お話を通してお話しますと、北海道の夕張で大夕張ですね、上の方で1960年にポリオが発生して、患者数が1,602人、死亡者が127人という我々の身近なところにもポリオがあったということをもう一度再認識して、できる限りこれからも我々教育をしていかなければならないんだということの一つまとめとしてお話をさせていただきます。次に、タイのお話も出ておりました。私タイに出村さんに誘われて行った時の話であります。この向こうの新聞に取り上げていただいたんですね。真ん中に写っている女性、この人は横田順子さんと言いまして、チェンマイの日本総領事なんです。この方がいわゆるゲストとしてここに出席しているんじゃないかと、私に言ったのは、私はあなたの来ない時に、水事業だとかそういったものに関わって一緒にダムを作ったり物を運んだりしたんですよと言われました。そのことも覚えておいてほしい。ついでもですけど、日本国もやっているから忘れないでねと言われました。しっかりしてるなあとさすがに思いました。これはタイの軍隊の中に作ったバイオガスの施設でしたので、ここに軍人が写っています。そういうところでもこういう事業がありまして、新聞でも我々のやったことを取り上げていただいています。やれば必ずそれは報いられるんだろうと思います。

ちょっと急ぎ足でいきます。決議23の34、大好きな方も多いと思います。その中の第6項のC項にこう書いております。ロータリークラブが奉仕活動を選ぶ場合には、宣伝をその主たる目的としてはならないが、ロータリーの影響力を拡大する一つの方法としては、クラブが立派に遂行した有益的な事業については正しい広報が行われるべきであると。ここまで読まないで頭だけで読みますと、さっきの言ったことになってしまいうんですね。後ろの方にこう書いてました。Fの項には、ロータリークラブはその全ての活動において、宣伝者として優れた働きをし、多大の功績を納めています。要するに、奉仕事業すなわちそれ自体が広報であるとも言っているわけでありまして。我々は決して広報しないのではなくて、しなければならないということを決議23の34に

もしっかり書いているんだということをもう一度見直していただきたいと思います。どうぞ最後まで決議23の34をお読みいただきたいと思います。

次のこれは、ロータリーの戦略計画の絵であります。これも数年前と変わってます。人道的奉仕の重点増加、要するに奉仕事業をすればそれ即ち下の方にあります公共イメージの向上と認知度の向上につながるものである。即ちそれイコールクラブの強化にもつながってくる、会員増強になる。広報委員長が先程仰っていましたが、まさにその通りだと思います。ロータリーが掲げております戦略計画そのものだと思いますのでどうぞクラブが奉仕をし、広報活動することによってクラブのイメージの向上につながれば必ずやクラブの発展につながっていくものを私も信じます。どうぞ皆さん頑張ってくださいっていただきたいと思います。

それからこれは一つの分析でありますけれども、なぜ商品が売れないかという分析であります。ブランド力が弱いから、要するに一つは他社の製品に負けているからということがあります。これは他の団体に負けているからという意味になるのかもしれませんが。もう一つは、伝え方が悪いからだということになるわけです。広報の活動のしかただと思います。いわゆるコマースのやり方が悪いとか、メディアに一貫性がないとか、そもそも広報に出ないから。まあこのへんがロータリーが大きいかもしれませんが。決してブランド力がないわけじゃありません。その露出のしかたに問題がある、反復しなければ忘れ去られるわけであります。一度広報したからそれでいいのではなくて、ことあるたびにロータリーが良いことをしているということを伝える必要があるのだらうと思います。

私の一つ経験したことをお話しして、私の締め言葉といたします。関場先生にお供をして二度ほどインドへ参りました。帰る時はいつもばらばらなんですけれども、行き同じ飛行機になるんですが、飛行場でEND POLIO NOWという帽子を被って飛行場に参りました。そうしましたら、ポリオ撲滅のために来たのかい？どこから来たの？日本からですよと応えたら、ありがとうございますと答えました。ロータリーを知ってるんです。いかにインドのロータリーはインドの方にロータリーを理解してもらうための行動をしてきたかということがそこに現れてると思います。私とっても嬉しくなりました、そのままずっと被って出国ブースまで行きました。そしたら同じこと言われました。ロータリーで来てるんだね、ポリオ撲滅のために来てくれたんだね、ありがとうございますと言われました。私すごく良い気持ちで通過しようとしたらちょっと待てと言われました。君職業は何かと。歯科医だ。ちょっと沈黙がありまして、仕事したかって聞かれました。実は先生ご存知の通りほとんどの方が観光ビザで入ってるんです。これは困ったなと一瞬思ひまして、いや、私が見ただけだと。本当にそうかと、そうだと。うーん、じゃあ行っていい。どうぞお気を付けてインドに行ってらっしゃっていただきたいと思います。インドの方々にはインドのロータリアンはインドの方々には理解してもらうための行動を一生懸命してきました。我々もこの広報を通じて我々の地区にロータリーを理解してもらう運動を続けていく必要が今回の中にあつたのかなあともうかがうところがありました。本日はお疲れのところ、長い時間お付き合いをいただきましてありがとうございます。最後にどうぞパネリストの皆さんに拍手をお願いしたいと思います。そして最後にお付き合いをいただきました皆さんに、壇上から拍手をしたいと思います。ありがとうございます。

RI 会長代理歓迎晩餐会

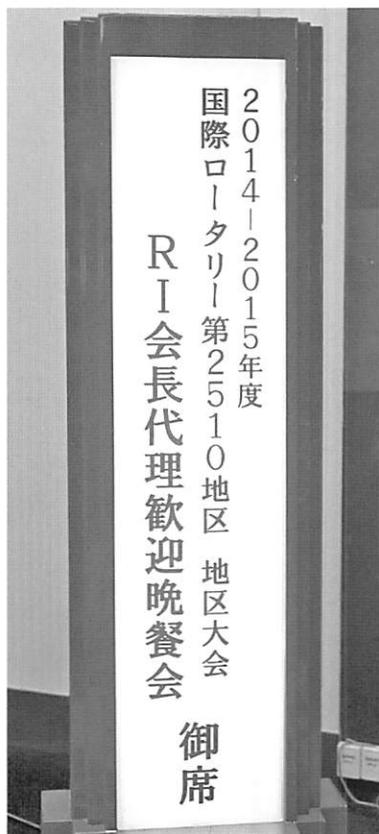
10月4日(土)

RI 会長代理歓迎晩餐会

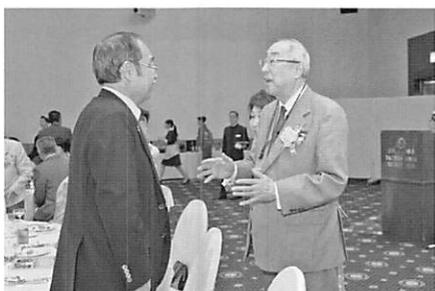
ルネッサンスサッポロホテル 地下1階ボールルーム

RI会長代理歓迎晩餐会は大会初日10月4日夕刻よりルネッサンスサッポロホテル地下1階ボールルームにて開催されました。大韓民国、日本の順で国歌斉唱後、ご来賓紹介・地区役員紹介、そして羽部大仁ガバナーの歓迎の挨拶では、韓国の皆さまへ向けて韓国語でも挨拶をいたしました。それに応じて松本茂太郎RI会長代理よりご挨拶をいただきました。最後に河潤守RI第3700地区総裁からご挨拶を賜り、続いて嵯峨義輝ガバナーエレクトの乾杯で開演となりました。

美しい生演奏の調べの中、予定の2時間は瞬く間に過ぎる感を与えるほど懇親を深め、友情の輪が広がりました。たのしいひとときももうそろそろお時間。ここで翌日の記念講演会の講師をお務めいただきます紺野美沙子さんからご挨拶をいただきました。田中賢一大会実行委員長の閉会挨拶の後、最後は恒例の会場いっぱい大きな輪をつくり、「手に手つないで」を全員で大合唱しました。海野英爾大会実行副委員長による閉会の言葉で散会となりましたが、最後まで名残惜しい様子が印象的な感動的な一夜でした。







本 会 議

10月5日(日)

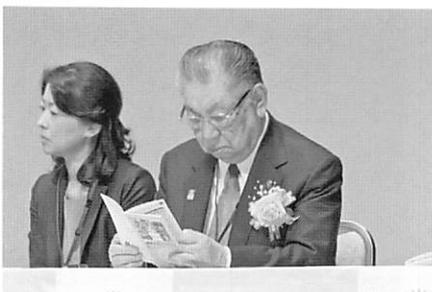
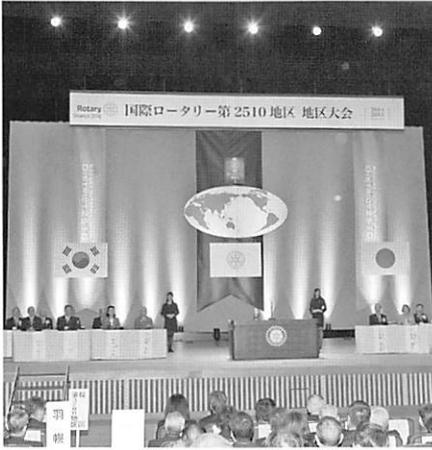
本 会 議

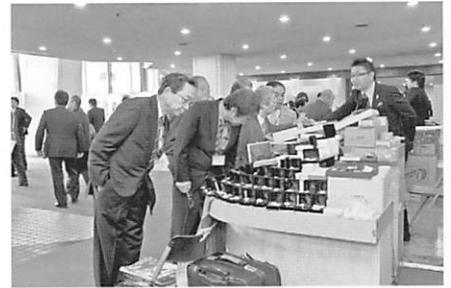
ニトリ文化ホール 大ホール

司会：原口 康洋
増田 佳織

8:30	登録受付開始		
9:00	開会の言葉	大会実行委員長	田中 賢一
	点 鐘	ガバナー	羽部 大仁
	国歌斉唱		
	ロータリーソング「我等の生業」		
		ソングリーダー	松根壽史男
	物故者追悼		
	歓迎の言葉	ホストクラブ会長	舩田 雅彦
	RI会長代理・ご来賓・役員の紹介		
		ガバナー	羽部 大仁
	ガバナー挨拶	ガバナー	羽部 大仁
	RI会長代理挨拶	RI会長代理	松本茂太郎
9:30	来賓祝辞	北海道知事	高橋はるみ
		札幌市長	上田 文雄
9:45	RI第3700地区総裁挨拶		
		第3700地区総裁	河 潤守
9:50	特別参加者の紹介		
9:55	参加クラブ紹介		
10:45	RI現況報告	RI会長代理	松本茂太郎
11:05	地区現況報告	ガバナー	羽部 大仁
11:15	大会決議案上程	大会決議委員長	熊澤 隆樹
	・大会決議採択	ガバナー	羽部 大仁
	・2013-2014年度決算報告		
		前年度地区財務委員長	吉田 欣司
	・2013-2014年度決算監査報告		
		バストガバナー	細川 好弘
	・大会登録委員会報告		
		大会登録委員長	安孫子建雄
	・大会信任状委員会報告		
		大会信任状委員長	細川 好弘
	・大会選挙管理委員会報告		
		大会選挙管理委員長	佐々木正丞
11:45	諸事お知らせ	大会SAA	佐野 剛
11:50	昼 食		

13:00	よねやま親善大使から		
		よねやま親善大使	尤 銘煌
13:20	表 彰	ガバナー	羽部 大仁
14:00	直前ガバナー記念品贈呈	ガバナー	羽部 大仁
14:05	記念講演		
	講師紹介		
	「今、私たちにできること		
	～自分を見つめて、世界を見つめる」		
		UNDP親善大使・女優・エッセイスト	紺野美沙子
15:25	謝 辞	ガバナー	羽部 大仁
15:30	ガバナーエレクト紹介		
		ガバナー	羽部 大仁
	ガバナーエレクト挨拶		
		ガバナーエレクト	嵯峨 義輝
	ガバナーノミニ紹介		
		ガバナー	羽部 大仁
	ガバナーノミニ挨拶		
		ガバナーノミニ	武部 實
	次期ホストクラブ紹介		
		ガバナー	羽部 大仁
	次期ホストクラブ挨拶		
		岩見沢RC会長	鎌田 誠
16:00	RI会長代理所感	RI会長代理	松本茂太郎
	お礼の言葉	ガバナー	羽部 大仁
	RI会長代理へ記念品贈呈	ガバナー	羽部 大仁
	閉会の言葉	大会実行副委員長	海野 英爾
16:30	点 鐘	ガバナー	羽部 大仁
	諸事お知らせ	大会SAA	佐野 剛







ガバナー挨拶

ガバナー 羽部 大仁

改めまして、おはようございます。今日は藻岩の山々に紅葉を迎える北の街札幌にようこそおいでくださいました。心からご歓迎を申し上げます。この地区大会には、国際ロータリー ゲイリー C.K.ホァン会長代理として、国際ロータリー 第2710地区松本茂太郎パストガバナー、令夫人松本洵子様をお迎えいたしまして、ありがたいご指導をいただきながら2日間の地区大会を開催できますことは、誠に光栄かつ名誉なことであると今日お集まりの皆さんと一緒に喜びを分かち合いたいと思います。ありがとうございます。

素晴らしいガバナーを多く輩出しております我が第2510地区のガバナーを努めることは、誠に身の引き締まる思いでございます。この地区大会を立派にさせていただきますことが、私共の責務だと考えております。

新年度7月8日から9月29日までに45クラブを訪問させていただきました。どちらに参りましても、会員数の大小に関わらず、創意工夫して素晴らしいクラブ運営をされていることを目の当たりにいたしまして戻って参りました。お世話になったクラブ会長、幹事さん、会員皆さまにこの場をお借りして心から敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。残り25クラブの会長、幹事さん、会員の皆さん、もうちょっと待ってください。すぐにお邪魔させていただきます。

今年度国際ロータリーのテーマは「ライトアップロータリー」、「ロータリーに輝きを」とあります。このRIテーマを推進する事を地区の1番の目標に掲げております。公式訪問中いつもお話した事ですが、一人でろうそくを灯しても、そう明るくなりません。120万の会員が皆でろうそくを灯しましたら世界中を輝かせる事ができると思います。まさに一燈照隅、万燈照国であります。伝教大師の山家学生式にある「一隅を照らす此れ即ち国宝なり」を思い出します。最澄はこの中に「悪事を己に向かえ好事を他に与え、己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」とロータリアンが今日まで綿々と伝えてきた相手を思い遣る心こそ頂芽の奉仕と共通するものであると考えております。また、最澄は若者の育成こそ急務であると願い、延暦寺を創建したのであります。ここに多くの菩薩僧が生まれました。鎌倉時代になると大きな花を咲かせる事となります。比叡山に学んだ法然上人は浄土宗、親鸞上人は浄土真宗、一遍上人は時宗を、栄西禅師は臨済宗を、道元禅師は曹洞宗を、日蓮上人は日蓮宗をお開きになっております。どうか会場にお越しになられたロータリアンと家族の皆さんと共に、地域社会に根ざした奉仕活



動を続けて参りたいと思いますし、合わせてロータリーに輝きを放っていただきたいと念願をするところであります。

さて、1905年シカゴにポール・ハリスが3人の仲間とロータリークラブの会合を持ってから、来年2月23日で110周年を迎えます。ロータリーは少しづつ変化してきたと言われております。最近では、クラブリーダーシッププラン、また財団では未来の夢計画が昨年から実動に入っております。補助金の申請が前倒しになり、年度が複数年にまたがり各クラブには忙しい思いをさせております。世界中に良い事をしようと声を掛け合い、地区でも多くの事業が進められております。関係の委員会、本当にお世話になっております。地区はクラブをサポートする事が重要な役割と考えております。何卒気軽に声を掛けていただきたいとお願いを申し上げます。詳細は、後程の地区現況報告で申し上げたいと思います。

今年度は人道的な課題の一つで、ロータリーが四半世紀をかけて取り組んできた「END POLIO NOW」、「子どもたち



の未来にポリオのない世界を願って」を大会のシンボルテーマといたしまして、今日は第2830地区関場パストガバナーのご来道をいただきまして昨日は基調講演をいただきました。誠に示唆に富んだ素晴らしいお話を聞かせていただきました。関場先生は、世界中に出向きポリオワクチンの投与を続けられてこられました、その事に深甚なる感謝と敬意を表したいと思います。その後、フォーラムを開催いたしました。酒井研修リーダーのもとに、5人の地区委員長さんがパネリストになって世界、地域社会で良い事を実践しよう、実践しているロータリーという事でディスカッションを実施いたしました。お聞きいただいた方にはきっと感動をいただいたに違いないと思います。

また午後からは皆さん楽しみにしている紺野美沙子さんの記念講演もあります。どうぞ今日お集まりいただいている皆様方が、会員がそして友好と交流を深める、そういう大会であると同時にロータリーを学ぶ、そんなご縁となっただけでしたらこれに優る幸せはございません。ロータリーを学び、楽しんでいただければ幸甚であります。ご静聴ありがとうございました。



ガバナー挨拶

ガバナー 羽部 大仁

改めまして、おはようございます。今日は藻岩の山々に紅葉を迎える北の街札幌にようこそおいでくださいました。心からご歓迎を申し上げます。この地区大会には、国際ロータリー ゲイリー C.K.ホアン会長代理として、国際ロータリー第2710地区松本茂太郎バストガバナー、令夫人松本洵子様をお迎えいたしまして、ありがたいご指導をいただきながら2日間の地区大会を開催できますことは、誠に光栄かつ名誉なことであると今日お集まりの皆さんと一緒に喜びを分かち合いたいと思います。ありがとうございます。

素晴らしいガバナーを多く輩出しております我が第2510地区のガバナーを努めることは、誠に身の引き締まる思いでございます。この地区大会を立派にさせていただきますことが、私共の責務だと考えております。

新年度7月8日から9月29日までに45クラブを訪問させていただきました。どちらに参りましても、会員数の大小に関わらず、創意工夫して素晴らしいクラブ運営をされていることを目の当たりにいたしまして戻って参りました。お世話になったクラブ会長、幹事さん、会員皆さまにこの場をお借りして心から敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございます。残り25クラブの会長、幹事さん、会員の皆さん、もうちょっと待ってください。すぐにお邪魔させていただきます。

今年度国際ロータリーのテーマは「ライトアップロータリー」、「ロータリーに輝きを」であります。このRIテーマを推進する事を地区の1番の目標に掲げております。公式訪問中いつもお話した事ですが、一人でろうそくを灯しても、そう明るくなりません。120万の会員が皆でろうそくを灯しましたら世界中を輝かせる事ができると思います。まさに一燈照隅、万燈照国であります。伝教大師の山家学生式にある「一隅を照らす此れ即ち国宝なり」を思い出します。最澄はこの中に「悪事を己に向かえ好事を他に与え、己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」とロータリアンが今日まで綿々と伝えてきた相手を思い遣る心こそ頂芽の奉仕と共通するものであると考えております。また、最澄は若者の育成こそ急務であると願い、延暦寺を創建したのであります。ここに多くの菩薩僧が生まれました。鎌倉時代になると大きな花を咲かせる事となります。比叡山に学んだ法然上人は浄土宗、親鸞上人は浄土真宗、一遍上人は時宗を、栄西禅師は臨済宗を、道元禅師は曹洞宗を、日蓮上人は日蓮宗をお開きになっております。どうか会場にお越しになられたロータリアンと家族の皆さんと共に、地域社会に根ざした奉仕活



動を続けて参りたいと思いますし、合わせてロータリーに輝きを放っていただきたいと念願をしております。

さて、1905年シカゴにポール・ハリスが3人の仲間とロータリークラブの会合を持ってから、来年2月23日で110周年を迎えます。ロータリーは少しずつ変化してきたと言われております。最近では、クラブリーダーシッププラン、また財団では未来の夢計画が昨年から実動に入っております。補助金の申請が前倒しになり、年度が複数年にまたがり各クラブには忙しい思いをさせております。世界中に良い事をしようと声を掛け合い、地区でも多くの事業が進められております。関係の委員会、本当にお世話になっております。地区はクラブをサポートする事が重要な役割と考えております。何卒気軽に声を掛けていただきたいとお願いを申し上げます。詳細は、後程の地区現況報告で申し上げたいと思います。

今年度は人道的な課題の一つで、ロータリーが四半世紀をかけて取り組んできた「END POLIO NOW」、「子どもたち



の未来にポリオのない世界を願って」を大会のシンボルテーマといたしまして、今日は第2830地区関場バスターガバナーのご来道をいただきまして昨日は基調講演をいただきました。誠に示唆に富んだ素晴らしいお話を聞かせていただきました。関場先生は、世界中に出向きポリオワクチンの投与を続けられてこられました、その事に深甚なる感謝と敬意を表したいと思います。その後、フォーラムを開催いたしました。酒井研修リーダーのもとに、5人の地区委員長さんがパネリストになって世界、地域社会で良い事を実践しよう、実践しているロータリーという事でディスカッションを実施いたしました。お聞きいただいた方にはきっと感動をいただいたに違いないと思います。

また午後からは皆さん楽しみにしている紺野美沙子さんの記念講演もあります。どうぞ今日お集まりいただいている皆様方が、会員がそして友好と交流を深める、そういう大会であると同時にロータリーを学ぶ、そんなご縁となっただけでしたらこれに優る幸せはございません。ロータリーを学び、楽しんでいただければ幸甚であります。ご静聴ありがとうございました。



RI会長代理挨拶

国際ロータリー会長代理 松本茂太郎

皆さん、おはようございます。この度、歴史と伝統に輝きます国際ロータリー第2510地区の地区大会が羽部ガバナーの素晴らしいリーダーシップのもと、先ほどお帰りになりましたけれども高橋北海道知事様、そしてその他のご来賓の皆様方、そしてまたパストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの皆さま方、またロータリアンとその家族の皆さま方が参加され、盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。この栄えある地区大会に国際ロータリー ゲイリー C.K.ホーン会長とコリーナ夫人の代理としまして派遣をされ、RI会長代理として訪問できます事を、誠に光栄に存じております。責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。只今ご紹介いただきました第2710地区、福山ロータリークラブの松本と家内の洵子でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。

羽部ガバナーの卓越した執権と指導力によってロータリーの行動は楽しくしなければならぬとの考えのもと、クラブを楽しく、地区を楽しくするためにロータリーの魅力のPRを努めておられます。また、貴地区が初期に計画されたそれぞれの目標が達成されますよう期待をしております。

申すまでもなく、地区大会はロータリアン相互の親睦と研鑽の場であります。この地区大会が参加者の皆さまにとって旧交を深められ、楽しい友人を作られる絶好の機会となるようお願いを申し上げます。



最後になりましたけど、このような立派な地区大会を計画され、準備をされました田中大会実行委員長をはじめ大会幹事、そしてホストクラブの札幌幌南ロータリークラブの舩田会長様、そして会員の皆様方に感謝申し上げ、甚だ簡単ではございますけれどもご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



RI現況報告

国際ロータリー会長代理 松本茂太郎

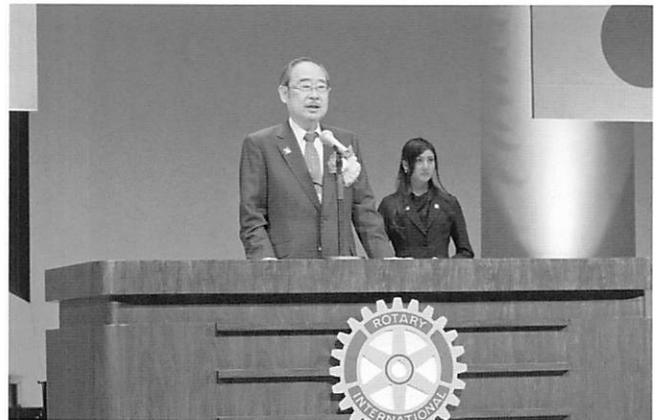
楽しいクラブ紹介でございました。私の地区に帰りまして、あのようにしておきたいと思えます。地区の事を皆さん2710地区というところはあまりご存知ないと思えますけれども、テリトリーは広島県と山口県でございまして。3千4～500名の会員を持っております。72クラブでございまして。今日私が会長代理で来ると言いましたら福山から二人来ております。私のドジをチェックして帰る予定でございまして。帰りましてクラブで多額のスマイルを出せと言われるんじゃないかと思っておりますけれども。まあそれはさておき、羽部ガバナーから地区大会の資料をこれぐらいいただきました。ご丁寧に去年の月信までいただきました。目を通しておかないと怒られると思ひまして読んだんですけども、地区紙をいただきました。1994年富山ガバナー様の時に私の父が会長代理としてこの地区へ来ております。その時の役職は国際ロータリーの理事で財務長をしておりました。今94歳でございまして、朝8時にはお抱え運転手に来てまして、8時半から始まる会社へ8時10分くらいに着いて秘書と運転手を早出・残業させてますが私には運転手をつけていただいております。だから今日ロータリーで来ると言ったら、どこで遊んどってもわからんからいつでもロータリーをダシにして遊びに行っております。親子2代で会長代理をさせていただきますことを誠に光栄に存じております。父の理事の時の同期の理事は、会長をなされたウィルキンソン、カナダのウィルキンソンさんが同期の理事でございまして。私の家にも来られましたし、私の時のガバナーは100周年の…誰だったかな、ど忘れした、その方も家に来られております。

それはさておき、現況報告ということでさせていただきます。羽部ガバナーの公式訪問は70クラブのうち45クラブもようお済みになっておりますし、PETSや地区協議会などでRI会長のテーマなど皆さんよくお聞きのことと思ひます。ご存じのことと思ひますし、また月信でガバナーの方針とかRIの情報、クラブの紹介、新入会員も写真入りで掲載をされています。素晴らしい月信だと思っております。

RI会長代理の仕事ですので少し会長の思いをお話させていただきます。ゲイリー C.K.ホーン会長とコーナ夫人とは私はもう数年来の付き合いでございまして、冗談話で自分は会長をすると、5年か6年前でしたか、会長をする、その時お前理事になれとか言われまして、そういうことはないでしょうと言ったら本当に会長になられておりました。びっくりして「Congratulations！」と言ったんですけども、お前何で理事になってないんかいとまた怒られましたけども。それはさておき、最近では羽部ガバナーもご出席されましたけど、広島で行われました世界平和会議ヒロシマの時ゲイリー C.K.ホーン会長が来られておまして、その時私と家内でエイドをさせていただきました。そういう関係でございまして。本当に良く存知あげております。

今年度ゲイリー C.K.ホーン会長はライトアップロータリー、「ロータリーに輝きを」という力強いテーマを提唱されております。そしてまた、ロータリーを実践して皆に豊かな人生をと言われております。ロータリアンは超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い自立を掲げるためにはロータリーファミリーを拡大していくことが必要です。新しいアプローチとアイデアを持って会員増強に取り組みなければなりません。さらに、ポリオを数年以内に撲滅させ、ポリオのない世界が実現した際には、世界中の人たちと喜びを分かち合ひましょうと言われております。

昨年羽部ガバナーが出席されておりましたサンディエゴで開催された国際協議会におきまして、ゲイリー C.K.ホーン会長は次のように話されております。本年度、ロータリー年度はロータリー創立100周年です。さらに上を目指したいと考えております。会員増強はロータリーにとって若い人々や女性を迎え入れることの重要性について話し合ひます。ロータリアン皆自分の配偶者をロータリーに誘うべきです。そして活気あるクラブを築くために私たちが率先する必要があります。そのためには新入会員を迎え入れることからはじめようではありませんかとも言われております。ゲイリー・ホーン会長は120万人の会員を2015年までに130万人の会員を目指すと言われております。ということは、今年は10万人の増強の目標だと思ひます。羽部ガバナーは地区の戦略計画の重点課題で衛星クラブやEクラブの創立を



検討されていますし、この地区の会員増強101名とされております。素晴らしいことだと思います。この地区は7月31日現在で2,650人、39名の会員が増加しております。益々の会員増強を頑張ってくださいますことをお願い申し上げます。

私の同期のガバナーで奥さまが同じクラブのロータリーの会長をされた方もおられますし、またもう一方の奥さまは新クラブを作られたガバナーの奥さまもおられます。実を言いますと私も去年の7月の会員増強月間の時に、私は父と同じロータリークラブに入っているんですけども42歳の息子をまた福山ロータリークラブへ引っ張り込みまして、親子3代で同じクラブへ在籍しております。去年の12月号のロータリーの友に足して201歳だったかな、親子3代ロータリーという文章が載っておりますのでまたご興味の方はお読みいただきたいと思います。

私のクラブでは過去同時に親子会員が3組おりました。福山ロータリークラブは親子や兄弟の入会を勧誘します。さすがに夫婦ではおられませんけども、昨年福山ロータリークラブが作りました福山ロータリーEクラブ2710というEクラブに2人奥さまが入会されております。衛星クラブのことはできたばかりでよくわかりませんが、昨日羽部ガバナーにメールが入ったのをコピーして渡してありますので、羽部ガバナーから教わっていただきたいと思います。私も帰ってまた勉強したいと思います。

地区の戦略計画が出ましたのでここで少しロータリーの戦略計画についてお話しします。ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していく為、将来への指針となるのがロータリーの戦略計画です。この戦略計画はアンケート調査、フォーカスグループ、座談会形式の調査でございますけれども、委員会会合を通じて集められた会員の意見をもとに形作られたロータリーがこれからも目標に向けて前進し続けるために、戦略計画はロータリアンの願いや希望を取り入れることが進化していくものです。ロータリーの戦略計画は3つの戦略優先項目が掲げられ、その下に16の目標を定めています。ロータリーが将来強く活気ある組織であり続けるためには、これらの優先項目と目標を指針としております。

まず第1は、クラブのサポートと強化でございます。これはすべての刷新性と柔軟性を育てることにあります。様々な奉仕活動への参加を奨励することです。会員基盤の多様性を奨励することです。会員の勧誘と維持を改善することです。リーダーを育成することです。ダイナミックな心、クラブを結成することです。クラブと地区における戦略計画の立案を奨励することがクラブのサポートと強化です。

第2は、人道的奉仕の重点と増加です。ポリオを撲滅する

こと。青少年や若きリーダーの支援、およびロータリーの6つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を求めること。他団体との協力や繋がりを深めること。地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを目指すことが人道的奉仕の重点と増加です。

第3は、公共イメージと認知度の向上です。イメージとブランド意識を調和させること。行動を主体とした奉仕を推進すること。中核的価値観を推進すること。職業奉仕を強調すること。ネットワークづくりの機会、並びにクラブ独自の活動について広報するようクラブに奨励することが公共イメージと認知度の向上です。

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。そして私たちの価値観は組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画において重要視される要素です。親睦と国際理解は生涯にわたる友情を育みます。理論と高潔性、約束を守り抜きます。そして様々な多様性の考えを繋ぎます。となっております。

またRI会長はロータリーを輝かせる方法は数多くあります。ロータリーは何かを地域社会の人々に知ってもらうようロータリーデーの開催をしてくださいと提唱されています。そしてローターアクトやインターアクトに参加してもらい、ロータリーの新世代の若者たちが入会してくれるよう彼らを導いてくださいと言われております。

この地区はこの間新聞を送っていただきましたけれども、9月14日に開催された前後一週間をロータリーウィークとされ、ポリオプラスのチャリティコンサート、街頭募金、地域新聞への広報など素晴らしい活動をされ成果をあげておられます。昨日のフォーラムで10月24日にポリオデーがありますけれども、そのロータリーデーの9月14日と一緒にしماすと言われておりました。ポリオのことがたくさん新聞にも書かれておりました。また2510地区にはローターアクトクラブが5クラブ、インターアクトクラブが7クラブとたくさんありますので、一緒にロータリー活動をよろしくお願いをいたします。

また、RI会長は、ロータリー財団のためにイニシアチブをとることも必要です。そのためにはまず自分で寄付をすることからはじめてみましょう。ロータリー財団は私たちのロータリー財団です。ロータリー会員は財団を利用できますが、そのためには会員が財団を支援する必要があります。と言われております。私は今第3ゾーン担当のRRFCロータリー財団地域コーディネーターをしております。どういふ訳か理事の任期が2年なのにこのコーディネーターは3年でございます。今年が最後の年でございますけれども、第1ゾーンには第2770地区の浦和ロータリークラブの岩淵さ

ん。第2ゾーンは第2760地区小牧ロータリークラブ、こないだここで講演されたんじゃないかと思えますけれども、江崎さんでございます。次の財団セミナーは11月25日、そして26日にメジャードナーご参会が東京で開催をされます。

皆さんすでに財団のことはよくご存じと思いますが、少しロータリー財団についてお話をしたいと思います。ロータリー財団には6つの重点分野があります。平和と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展の6つの重点分野でございます。そして皆さまのお陰で世界はより良い世界となります。ポール・ハリスはロータリーが私たちにとって何を意味するかにせよ、世界はその業績によってロータリーを知るのです。世界で良いことをしよう。ロータリーはこの理念をもとに始まりました。そしてこの理念を実現するためにロータリー財団が生まれました。ロータリー財団の理念を形にできるのは皆さまのおかげです。ロータリー財団があるのも皆さまのおかげです。もうすでに地区補助金の制度が前年度から変わって戸惑っておられるクラブもたくさんおられるんじゃないかと思えます。羽部ガバナー、私のエイドをしていただきます遠藤財団委員長、そして財団委員の方々がよくご存知でございますので、難しい方は一度ご相談していただきたいと思えます。

ロータリー財団はロータリアンの皆さまのご支援と尽力のもと、1世紀近くにわたり世界で良いことと言ってきました。財団ではプログラムが主に寄付によって運営されています。運営費は長年にわたる投資の収益によって運営されます。寄付をしていただきますと税制上の優遇措置がありますので、ご協力をお願いをいたしたいと思えます。皆さんよくご存じだと思いますけども、財団はロータリーを前進させるエンジンです。そしてロータリー寄付財団の使命は教育の推進、きれいな水の提供、平和の構築、母子の健康の支援、地元経済の支援、疾病予防のための補助金を通じてロータリー財団の使命を果たすことは多大な力を注いでおります。

2014年15年ジョン・ケニーロータリー財団管理委員長は財団の目標に5つのことを決めておられます。第1の目標は、地球上からポリオを撲滅することです。第2の目標は、寄付を通じてロータリーの慈善事業を支援することです。第3の目標は、持続可能な成果をもたらす教育的人道プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの発展を確実なものとするです。第4の目標は、平和と紛争解決のための人材を育成するロータリー平和センタープログラムの推進と広報を通じて、親善と平和を育むことです。第5の目標は、ロータリーに輝きをもたらす活動を世界中に実施できるよう財団の未来の責任が私たちの手にかかっており

ます。それを強調することです。それらを皆さんで支えていきたいと思います。この地区では今回エイドをしていただいております遠藤先生がロータリー財団委員長をされておりますので、委員長のリーダーシップのもとで素晴らしいロータリー財団活動をお願いをいたしたいと思えます。

ロータリー財団の長期的戦略というのがあるんですけども、これはもう皆さんどこかでお読みになっておりますので省かせていただきたいと思えます。

ガバナーからロータリー財団の寄付が減ったというレポートをいただいております。寄付の一つにポール・ハリス・ソサエティという寄付の方法があります。私もガバナーが終わったくらいからあったんですけども2013年の7月1日からロータリー財団の公式認証プログラムとして採択をされております。毎年千ドルづつを年次寄付、ポリオプラス、財団が承認した補助金プログラムのいずれかへ寄付することです。私と家内もRI研修リーダーの時、もう少し前ですかね、田中作治元RI会長が強引にサインをしろと言われてましてサインをしております。毎年、女房と私と千ドルづつ寄付をしています。ちょっと飲み代を削れば払えるんかなあと考えております。これを各クラブの財団委員長、今日の表彰の中にも新規となっておりますけども、このポール・ハリス・ソサエティに一回入会されますと黙って千ドルづつ毎月いきますので、財団の寄付の増加にはクラブの財団委員長の方々がこれが楽でございますので皆さんをお願いをしていただきたいと思えます。私も2710地区でポール・ハリス・ソサエティのコーディネーターをやっております。先ほど言いましたように、税制上の優遇措置がありますので、ご協力をお願いをいたします。

よく財団セミナーでロータリーの運営とか寄付をしたお金はどうなっているのかとよく聞かれますけれども、年度末に各クラブに国際ロータリー及びロータリー財団の年次報告書という冊子が各クラブに送られてきます。それを一読していただけたら過去の1年の報告がわかると思えます。そしてまた、ロータリー財団のことは毎月財団室から各地区へメールで配信されます財団室ニュースというのがあります。すべてのことがわかりやすく、そのニュースから各項目の資料へインターネットから入っていただけますのでご利用していただきたいと思えます。

私の地区ではRRSCをしましたから地区に送られたのを各クラブへ配信してもらっております。そしてまた私のクラブでは、それを例会の時に各テーブルに配布して回覧をしております。もちろん米山親善獎学会から配信されるハイライトよねやまも同じように回覧をしております。またロータリーの友でございます。皆さん隠れたベストセラーと

言われるんですけど皆さん机に置いてあまり開かれないんじゃないかと思えますけども、エヴァンストン便りというのが中にあります。そのすみの方にジョン・ケニーロータリー財団管理委員長の思いとして毎月掲載されていますのでお読みいただきたいと思えます。月信やロータリーの友など色々な書物やインターネットでお手元に情報が入ってきますので、暇を作られてロータリーの勉強をお願いをいたしたいと思えます。

ポリオの撲滅のことは先ほどロータリーのことでも新聞なんかで載ってこの地区はちゃんとされております。

終わりにになりましたけども、今年度ゲイリー C.K.ホアン会長はライトアップロータリー「ロータリーに輝きを」という心強いテーマを提唱されております。そしてまた、ロータリーを実践して皆豊かな人生をととも言われております。皆さままで実践され素晴らしいロータリー活動をお願いいたしまして、終わらせていただきます。ご静聴どうもありがとうございました。

地区現況報告

ガバナー 羽部 大仁

松本RI会長代理、ありがとうございました。これからは地区の現況報告を少しお話したいと思います。ただお話していると眠くなるという話もありましたので、もっと眠くなるかもしれませんけども少し写真やパワーポイントを使ってお話したいと思いますのでご覧いただきたいと思います。

これから始めたいと思います。私は見えないので、ちゃんと黒子の方が操作してもらうことになっておりますのでよろしくをお願いします。

はじめに、地区のクラブ数と会員数について報告をさせていただきます。クラブ数は、昨年札幌セントラルロータリークラブが国際ロータリークラブを残念なことでございますけれども退会されたために今70クラブとなっております。現在会員数は2,590名、今季76名の増加でございます。そのうち女性会員は116名でございます。今年度ゲイリー C. K. ホアン国際ロータリー会長はロータリーファミリーを通じて会員増強をというふうに仰っております、10万人の増強を目指している、先ほどRI会長代理の方からもお話をいただいたとおりであります。我が2510地区の増強計画は101名であります。是非身近な人に声をかけていただきたいと思っております。

この間あるクラブに参りまして、女性会員、特に奥さんの入会いかがでしょうかと申しましたら、お一人だけ手を挙げられました。その方は奥さんの方はロータリーにとっても理解があるそうであります。どうかひとつ奥さまの入会も考えていただきたいと思って、大概この質問をいたしましたら誰も手を挙げられないクラブが多ございましたが、どうかひとつ女性のおられないクラブにも一人でも多く女性を迎えていただきたいと。女性が入ると変わります。まず、男性会員のネクタイが派手になります。やっぱりお洒落になります。とてもいいことがあるというふうに思います。よろしくお話ししたいと思っております。

続いて、ロータリーデーについて少しお話をしたいと思います。おかげさまで9月の14日は好天に恵まれて、札幌の第4第5グループが中心になりまして各クラブにお世話をいただいて大変素晴らしいロータリーデーが実施されました。また、全部の2510地区の70クラブがそれぞれクラブであるいはグループで素晴らしい活動をなさっていただきました。この席をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。

人道的な緊急性の高い、それはまさにロータリーが四半世紀をかけて取り組んできたポリオ撲滅の運動だったと思



ます。それを今回は年取の高いロータリアンまでが街頭にお立ちいただきまして、皆さんに声をかけて募金を呼びかけてくださいました。本当に素晴らしいことだったと思います。その日は会場をパークホテルに移しまして、ロータリーの第2ゾーンのロータリーのコーディネーターであります江崎柳節先生の基調講演、これもまた大変勉強になりました。その後、ロータリー寄席を桂枝光さんという上方の落語家の方に。これでございます。お話していただきました。この枝光さんの小咄の中で、昔はむかつくと申しますと胃と決まっていたものでございますが、最近は腸がむかつく。わかりますか？ ちょうむかつくというはなしでございます。皆笑っておりました。それから第3部のチャリティージャズコンサートであります、席数が少なく大変すぐにいっぱいになってしまったようでありますが、参加いただいた皆さんには大変ありがとうございました。このシャンティさんのコンサートの中でシャンティさんがポリオについてお話をしたことが大変印象的ございましたし、大変美しい方だったと今に思っております。

4番目の、次の国際奉仕についてご報告させていただきます。識字率の向上、ウォーター・プロジェクトの事業、疾病予防に関する事業、グローバルグラント事業を通して、これはタイの、あるいはタイへの事業もですね、大変多く実施されているところであります。

続いて、ロータリーの財団、国際親善奨学生、および職業研修チームの現状について少しお話をしたいと思います。国際親善奨学生はインド、ドイツ、イタリアの3名を予定しております。グローバルグラントに職業研修チーム、VTTを抱き合わせた事業としてタイの孤児の子どもたちの学校に子どもたちが将来生計をたてるために技術訓練の教室、技能訓練の実施の事業を企画、いま現在準備中でございます。

続いてよねやま奨学生の現況をお知らせいたします。留学生は現在17名であります。国別では、韓国が7名、中国が4名、ベトナムが2名、イタリアが1名、マレーシアが1名、台湾が1名、インドが1名であります。学校別の状況で

ございますが、北海道大学が圧倒的に多くて9名、小樽商科大学が2名、室蘭工業大学が1名、酪農大学が1名、北翔大学が1名、札幌市立大学が1名、函館大学が1名、苫小牧駒澤大学が1名。ぜひ今後も米山に多くのご支援をお願いいたします。

青少年交換事業の現況をお伝えいたします。本年度の受入学生と派遣学生はご覧の通りでございます。受入が6名、派遣が5名であります。

インターアクトとローターアクトクラブについてお話をいたします。インターアクトクラブは現在、7クラブを提唱しています。インターアクトの年齢区分が、昔は14歳でありましたが、それは12歳に引き下げられました。これによって、中学校でインターアクトクラブを提唱することが可能になりました。どうか一つ中学校にですね、インターアクトクラブを作っていただければいかがでしょうか。よろしくをお願いいたします。ぜひご検討くださいませ。ローターアクトクラブは現在5クラブが活動をしています。今日の地区大会でも多数の参加をいただき、またお手伝いを願っております。私共の札幌幌南ロータリークラブにも、ローターアクトクラブがありまして、ローターアクトクラブの卒業生、30歳まででございますか、その卒業生がいま4人クラブのメンバーになって活躍していただいています。どうかひとつ皆さん、ローターアクトクラブも以前は地区に15はあったのですが、だんだん減って参りましたのでそろそろまたご検討をお願いしたいと思います。

次に、各種寄付金についてご説明いたします。これは驚いたことでありましたので皆さんにご紹介したいと思います。先日千歳ロータリークラブの公式訪問に参りましたら、10名の会員の皆さまがその日にポール・ハリス・ソサエティに入会をされました。私からバッジを付けてほしいということで皆さんにつけると時間がかかりますので会長さんに代表してつけさせていただきました。どうか一つよろしくをお願いしたいと思います。先ほど松本RI会長さんからお話をいただいた通りでございます。ロータリー財団に関する寄付は、昨年度に比べ、ポリオプラスが9月末で多くなっております。この表にはあらわれていませんが先日のロータリーデーで100万近くの浄財をいただいております。1万ドルほど増えていることとなります。誠に感謝を申し上げます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会に関する寄付は、普通寄付と特別寄付がございまして、合計で422万6,500円でありました。多額のご寄付に感謝を申し上げます。まだ年度が終わっておりませんので、引き続き宜しくお願いいたします。今年度の目標は、普通寄付一人4,000円、特別寄付一人12,000円、月額千円づつということになります。ご協力お

願いたします。

重ねて、ロータリーカードについてでございますが、お持ちになっている方ちょっと手を挙げてもらいませんか？ありがとうございます。私は実は持ってないんです。他にカードがあるもんですからね、でも早く申し込んでロータリーカードを持ちなさいと言われておりますので今月中に持とうと思います。娘の許可が得られれば持ちたいと思っております。それからこのロータリーカードをお持ちの会員の方はですね、何かお買い物などをされますとその都度その数パーセントがですね、コンマ数パーセントかもしれませんが財団の方に逐次送金されることになっているというシステムでございます。よろしくをお願いいたします。

最後に、東日本大震災への支援についてご報告させていただきたいと思います。この3年間続けてきたキッズキャンプも今回6回目になりました。今までは福島から子どもたちを迎えて実施いたしました。今年7月30日から8月1日までの3日間2泊3日で岩見沢市で開催をさせていただきました。そのときの模様です。上の写真は開会式で私が話している時の写真であります。わかりますか？これを見てとっても子ども達が喜んでいまして。それ以上に喜んでるのがロータリアンでした。それから閉会式の写真があれば良いのですが閉会式の前にバーベキューのパーティーがありましてそれにも私は参加いたしました。そしたら口の悪いロータリアンが傍に寄ってきてですね、ガバナーは美味しいところにはいるねとこう言っております。そういうところだけではないんでございますけれども、たまたま居た訳でございますが。小樽からは海の幸がたくさん届きましたし、それから滝川の方からはジギスカンも届けていただきました。重ねて、岩見沢ロータリークラブの皆さんが本当に連日大変なサポートをしていただいて素晴らしいキッズキャンプになったと喜んでおります。

この写真が最後でしょうか。もう一つありまして先ほどもちょっとご紹介いたしましたけれど第3490地区台湾のロータリークラブと地区とですね、今年度友情交換のプログラムを我が2510地区と試行させていただきたいと思っております。実施は1月の10日頃から一週間、まあ6日間ですか、こちらからの派遣は3月頃お彼岸前くらいを考えております。地区内のクラブあるいは会員の皆さんに大変お世話になることと思っておりますけれども、意のあるところをお汲み取りいただきましてご協力をこの席をお借りいたしましてお願い申し上げます。

地区の現況の報告についてお話させていただきました。ありがとうございました。

大会決議案上程

大会決議委員長 熊澤 隆樹

只今より、昨日の会長・幹事会で審議・承認されました地区大会決議案について上程いたしますので採択についてご審議をお願いいたします。第1号議案より第12号議案まで説明いたします。プログラムの16ページをお開きください。

【決議第1号】

『国際ロータリーのテーマを推進する件』

ゲイリー C.K.ホァン国際ロータリー会長は、本年度のテーマとして「ロータリーに輝きを」を示されました。

我々第2510地区のロータリアンは、このテーマをよく理解し積極的に推進して、ロータリーの奉仕活動に最大限の努力を傾けることを決議いたします。

【決議第2号】

『ゲイリー C.K.ホァン国際ロータリー会長並びに

松本茂太郎国際ロータリー会長代理ご夫妻に感謝する件』

2014-2015年度の国際ロータリー第2510地区・地区大会を札幌市で開催するにあたり、ゲイリー C.K.ホァン国際ロータリー会長は、会長代理として松本茂太郎パストガバナーを派遣されました。

同氏は令夫人洵子様と共に本大会にご臨席下さり、ゲイリー C.K.ホァン国際ロータリー会長のメッセージを伝えられ、さらに国際ロータリーの現状についてのご講話と共に格調高い所感を表明され、大会参加者に多大な感銘を与えられて、本大会を成功へと導かれました。

本大会は、ゲイリー C.K.ホァン国際ロータリー会長に心からの謝意を表すると共に松本茂太郎国際ロータリー会長代理ご夫妻に記念品を贈り、感謝と敬意を表することを決議いたします。

【決議第3号】

『2013-2014年度の地区資金収支報告並びに監査報告を採択する件』

2013-2014年度の地区資金収支報告並びに監査報告は別紙の通りであります。

本大会は国際ロータリー細則第15条第6節第4項の規定に則り、正式に採択することを決議いたします。

【決議第4号】

『国際ロータリー第2510地区直前ガバナー安孫子建雄氏に



感謝する件』

2013-2014年度地区ガバナー安孫子建雄氏は、ロン D.バートン国際ロータリー会長が示された「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」のテーマを、地区内ロータリアンの理解に努められ、ご在任中は、当地区のロータリーのリーダーとしてその卓越した手腕を発揮し、ロータリーに対する情熱を持って激務を見事に果たされました。

よって本大会は同氏の功績をたたえ、深甚なる謝意を表することを決議いたします。

【決議第5号】

『会員増強と退会防止及びクラブ拡大を推進する件』

当地区のロータリアンは、ゲイリー C.K.ホァン国際ロータリー会長が本年度の強調事項として掲げられた新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組み、現会員を維持し、クラブ拡大を一層推進することを決議いたします。

【決議第6号】

『ロータリーの広報を推進する件』

当地区のロータリアンは、ゲイリー C.K.ホァン国際ロータリー会長が本年度の強調事項として掲げられたロータリーリーダーを開催し、地域社会でのロータリーの存在を高めるために、ロータリーの広報を一層推進することを決議いたします。

【決議第7号】

『ロータリー財団の寄付増進に協力する件』

国際ロータリーのロータリー財団はロータリー活動の大きな柱の一つであります。

当地区の全てのロータリアンは国際理解、友好、親善、人道的援助の願いを込めて、ロータリー財団の寄付増進に協力することを決議いたします。

【決議第8号】

「(公財)ロータリー米山記念奨学会の寄付増進に協力する件」

(公財)ロータリー米山記念奨学会は日本のロータリー活動の大きな柱の一つであります。

当地区の全てのロータリアンは国際理解、友好、親善の願いを込めて、(公財)ロータリー米山記念奨学会への寄付増進に協力することを決議いたします。

【決議第9号】

「サンパウロ国際ロータリー大会への参加を推進する件」

2015年6月6日～9日にブラジル・サンパウロにおいて開催される国際大会に、当地区会員並びにご家族の積極的な参加を推進することを決議いたします。

【決議第10号】

「2017-2019年度国際ロータリー第1ゾーンの理事指名委員候補者を指名する件」

2017-2019年度国際ロータリー理事指名委員の当地区クラブ選出の指名委員として、塚原房樹パストガバナーを選出することを決議いたします。

【決議第11号】

「次期地区大会開催に関する件」

2015-2016年度国際ロータリー第2510地区・地区大会は岩見沢ロータリークラブをホストクラブとして岩見沢市において開催することを決議いたします。

【決議第12号】

「地区大会ホストクラブに感謝する件」

2014-2015年度国際ロータリー第2510地区・地区大会がルネッサンスサッポロホテル、ニトリ文化ホール、ロイトン札幌において開催され、多くの成果を収めつつあることは、札幌幌南ロータリークラブの周到なる準備と会員・ご家族のご協力の賜であります。

よって本大会はここに深甚なる謝意を表することを決議いたします。

以上、決議1号から決議12号まで上程いたしますのでガバナーよろしくご採択についてご審議ください。お願いいたします。

大会決議採択

ガバナー 羽部 大仁

2014-15年度の地区大会決議案上程について承認をいただくこととなります。只今上程されました退会決議案についてご意見などございましたらお出しいただければと思いますがいかがでございましょう。

ありがとうございます。もしよろしければこの案で決定させていただきたいと思いますが拍手でご賛意を。(拍手)まことにありがとうございます。以上のように決定させていただきます。

前年度決算報告

前年度地区財務委員長 吉田 欣司

2013年から2014年度地区財務委員長を務めました、江別ロータリークラブの吉田でございます。2013-2014年度の地区資金決算報告を申し上げます。詳しくはお手元のプログラム64ページから70ページに記載の、地区資金収支決算書及びその注記をご覧いただきたいと思います。

まず一般地区資金より申し上げます。収入におきましては、会員数が予定数より減少となり、会員負担金は127万9,800円の減となりました。また、RI助成金は円高により予算額より37万9,252円増となりました。ガバナー月信購買料におきましては、予算より大幅な減少となりましたが、前期繰越金におきまして、98万8,061円多い1,992万4,368円となっておりますので、総収入では、5,247万5,252円となりました。一方、支出につきまして、負担金、会議費、ガバナー事務所費におきましてそれぞれ経費節減につとめ、予算額より296万6,039円の減で支出合計額が5,247万5,252円となり、次期繰越金は2,197万4,091円となりました。なお旅費におきましては、ガバナー会が3回開催されたため、支出超過しました。それから全国ガバナーエレクト会議は東京で開催されましたが、前後に開催されたセミナー出席のために、支出超過しました。以上が一般地区資金の決算内容でございます。

次に、特別地区資金について申し上げます。収入では、会員数の減少から、会員負担金収入が74万6,550円の減で前期繰越金をあわせて総収入は、2,961万7,188円となっております。一方支出につきましては、経費等の節減により事業費では、74万8,894円の支出減となっておりますが、地区大会で登録減となり134万4,366円の超過となりましたが、江別クラブで補填いたしました。支出合計は1,600万9,106円となりましたので、次期繰越金は1,360万8,082円となりました。以上が特別地区資金の決算でございます。

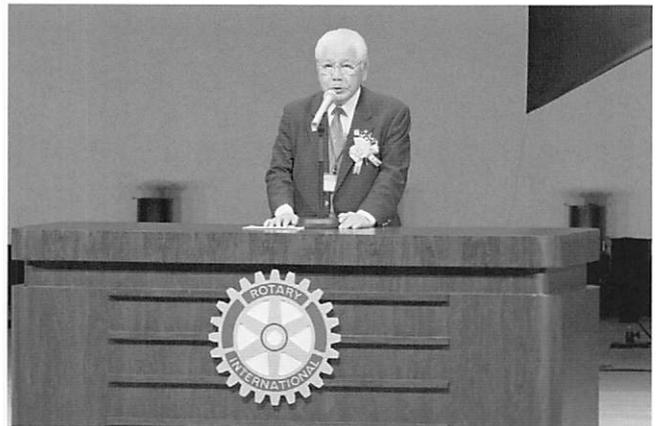
役員各位及び会員の皆さま方には、絶大なご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます、決算報告といたします。



前年度決算監査報告

パストガバナー 細川 好弘

それでは決算監査報告を申し上げます。安孫子建雄直前ガバナーより提出されました、2510地区、2013-2014年度の地区資金決算について、先に吉田欣司前年度地区財務委員長よりご説明がありましたが、監査いたしましたところ、適正に処理されていることを確認をし、正確であることを認め、監査報告といたします。ありがとうございました。



大会登録委員会報告

大会登録委員長 安孫子 建雄

大会登録委員長の安孫子でございます。今大会の登録の状況を申し上げます。今大会は非常に多くの登録をいただきまして総数1,838名となりました。内訳を申し上げます。ご来賓の皆さま5名。韓国3700地区から31名。地区外の会員10名、さらにご家族様6名。地区内会員1,570名、ご家族様86名。札幌インナーホイルクラブ20名。青少年交換学生及び青少年交換学友あわせて8名。インターアクター及び顧問の先生を含めまして57名。ローターアクター25名。米山奨学生14名。ロータリー財団学友3名。苫小牧北RCC3名。となっており、合計1,838名でございます。以上、ご報告申し上げます。



大会信任状委員会報告

大会信任状委員長 細川 好弘

大会信任状委員会からご報告を申し上げます。本大会に各クラブより、選挙人の信任状の提出をさせていただきました。これを国際ロータリー細則第15条第5節第1項に基づき、慎重審議をいたしました結果、提出されました信任状の選挙人はいずれも皆適格であることが確認をされました。当地区のクラブ数は70クラブ、4月1日時点での会員数は2,497名、これが最新の確定会員数でございます。さらに、先ほど申し上げました信任状提出の選挙の数は、106名ございました。以上のことが確定をいたしましたので、ご報告を申し上げます。



大会選挙管理委員会報告

大会選挙管理委員長 佐々木正丞

大会選挙管理委員会からご報告を申し上げます。当地区の2015年度から2016年度のガバナーエレクトには、岩見沢ロータリークラブの嵯峨義輝君が決定しております。2016年度から2017年度のガバナーノミニには、札幌南ロータリークラブの武部實君が決定しております。2017年度から2018年度のガバナーノミニにつきましては、現在ガバナー月信を通じて12月1日必着で候補者の推薦を依頼しております。以上、選挙管理委員会からご報告申し上げます。





よねやま親善大使から

よねやま親善大使
ユウ ミンホアン
尤 銘煌
(台湾/津島RC)

プロフィール

ロータリー米山記念奨学会では2012年、事業創設60周年を記念して、日本国内で活躍する優秀な米山学友を表彰する「優秀米山学友賞」を創設し、80人を超える応募者の中から2人の受賞者が選ばれました。尤 銘煌さんには2015年6月までの2年間、「よねやま親善大使」を委嘱し、ロータリー内外で米山記念奨学事業のPRにご協力いただいています。

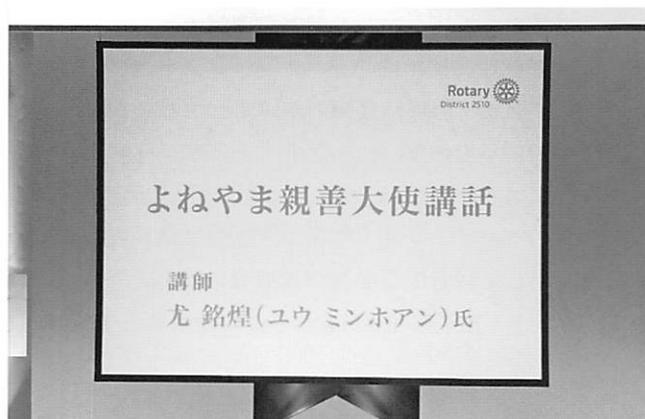
【略 歴】

愛知学院大学博士課程修了。2003-04年度米山奨学生。現在、山形大学基盤教育院教授。

同大学で学ぶ外国人留学生へ日本語・日本文化を教え、国際社会で活躍する人材を育成している。また、第2800地区(山形県)米山学友会会長として、市民との交流を図る「多文化交流コンサート」を毎年開催している。

皆さん、こんにちは。只今ご紹介にあずかりました米山親善大使のユウです。まず、元米山奨学生として皆さんから多大なご支援とご協力をいただいたことをこの場を借りて心より感謝いたします。どうもありがとうございます。今日は自己紹介をかねて、私現在活動、および親善大使としての抱負について皆さんにご報告したいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

まずこの写真をご覧ください。この右側の写真は6年前父が亡くなった時に形見分けをしていた時私が見つけた写真です。左側は10年前の私の写真です。まったく同じです。非常に驚きました。実は父は戦時中日本の教育を受けて、大の親日家です。私も父の強い影響を受けて28年前、ひらがなすらできなかった、私は日本にやって来ました。日本語学校を経て大学進学して、そして大学院はアメリカで勉強しましたが博士課程について再び日本に戻ってきました。博士課程修了前に、日本に戻るかそれとも台湾に帰るか非常に悩みました。日本のしゃぶしゃぶを食べたいですが、台湾の屋台料理も食べたいです。日本にはたくさん日本の友達がありますが、台湾には両親、姉弟もいます。胃が痛いくらい悩みました。悩んだ結果、日本に残って世界各国からの留学生に日本語および日本文化に関する知識を授けて、そして国



際社会でも活躍できるような人材の育成を頑張っていこうと考えて、日本に残ることに決心しました。そして日本と台湾に限らず、日本と世界各国の国際交流、架け橋にもなるように頑張っていこう、ということも決まりました。現在は世界中から留学生、および日本人の学生にも日本語、日本文化に関する知識を教えています。そして日本と台湾に限らず、日本と世界各国の文化交流の架け橋にも頑張っております。卒業した元留学生が世界各国で活躍しております。大学着任してから今ちょうど11年になりましたが、これは2ヶ月前にブルネイとマレーシアの留学生が国へ帰る前に挨拶しに来た写真です。そして私が担当している日本文化の授業では、毎学期、十数カ国、約30名の留学生が私の授業を受講しております。なるべくいろんな日本文化を体験してもらっています。山形から世界へ日本文化を発信しております。これは着付けの授業。留学生たちが一番好きな授業です。そしてけん玉の授業。私今日は道具を持ってきてないんですが、私も実は2段の免許を持っています。そして茶道の授業。座禅の授業、朝6時から、非常に厳しいけれどもみんな非常に楽しんでます。生け花、和菓子作りの授業。また、それ以外に必ず温泉に連れていきます。

またこれは昨年安倍首相ご夫婦がモンゴルへ訪問した時私の教え子、後ろから左2番目の女性ですね、ホロさんが通訳を担当しています。実は彼女もまた米山奨学生です。そうして5、6年前教えた元留学生は、今現在韓国の日本大使館に勤めております。特に今、日韓関係は非常に困難な時期で、彼女は日韓関係のために一生懸命頑張っております。それ以外にフィンランドの日本大使館にも教え子が通訳の仕事をしております。また、中国、ミャンマー、アフリカなど色々な国で大学の教員になった教え子もたくさんいます。

これは5年前私が山形県で留学生のスピーチコンテストを設立した第1回コンテストの写真です。スピーチコンテストに参加して賞をもらって、その賞によって、卒業して就職には非常に役に立ったという留学生からの手紙はよくもらいました。

これは2ヶ月前、私は山形大学の女子バスケットボールチームを引率して台湾の高雄、国際交流親善試合に行った時の写真です。私は小さいじゃなくて、この中国の選手が非常に大きいです。実はバスケットボールチームを連れて台湾に行くのは連続5年間7回、山形大学のチームだけでなく日本の代表チームも1回連れて行きました。現在の日本のナショナルチームのキャプテン、大神雄子のお父さんは非常に親交を持っています。

そして6年前、私が設立した山形米山学友会。僕は初代会長として今でも色々な活動を行っております。学友及び現役の奨学生、そしてロータリアンと一緒に色々な活動を行っ



て親睦をはかっております。これは2ヶ月前に温泉懇親会。パストガバナーと現役のガバナーも多数参加してきてます。山形学友会は会員が非常に少ないですが、一生懸命頑張っているつもりですが。そして山形米山学友会の一つ大きなイベントといたしまして、4年前から連続して学友の主催で多文化交流コンサートを主催しております。来年度5年目、ちょうど山形県のガバナー、池田ガバナーがフラダンスを踊る予定ですが、もし皆さん山形にいらっしゃったら是非参加しにいらっしゃってください。

またコンサートのために、5、6年前から留学生に日本の芸、南京玉すだれ、伝統芸を勉強させています。今まで色々な国の留学生がこれを南京玉すだれの芸を勉強してですね海外へ、国へ戻って色々な場面で役に立ちました。この真ん中の男ですね、イギリスのヤジェクさんという人ですが、昨年度、ロンドンでスカイプの面接を通してですね、その一芸、南京玉すだれの芸で日本の大手石川島重工業、IHIに採用されました。この南京玉すだれの芸で採用されました。最近では南京玉すだれだけでなく、皿まわしも教えております。ちょっと今日時間の関係で私は皿回しの道具は持ってきてないんですが、他の国際交流について大学では海外の姉妹協定校との協定ですね、十数大学と携わってきました。そして日本人の学生の海外派遣の審査委員も長年努めてきました。

米山親善大使としてこの1年間の活動を振り返ってみると、今まで広島、愛知、岐阜、東京、山形県内など色々なところへ米山奨学の授業をアピールしてきました。来月も岩手と長崎の地区大会へ行く予定ですが、そこで感じたことは、ロータリアンの強い絆関係がしみじみ感じられております。そしてロータリアンが国際交流、世界平和及び国際親善に対する期待が非常に高い、そういうことも理解できました。また、ロータリアンが米山記念奨学会に大変関心を持っていることもよく感じました。

印象に残った出会いといたしまして、2ヶ月前ですね、米山親善大使のコウを通しまして、山形県の高畠ロータリーク

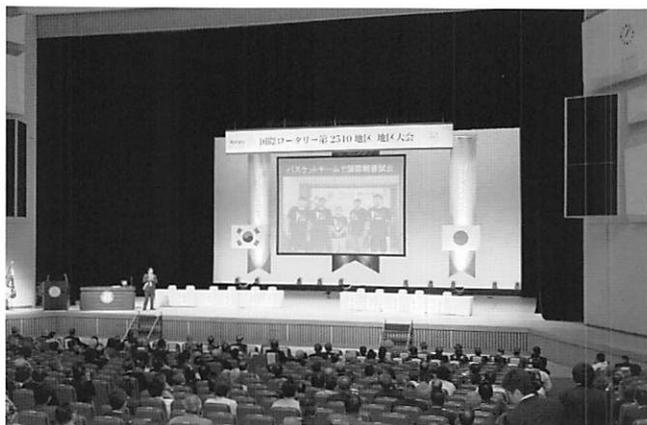
ラブの会長から講演依頼されました。講演を行って終わってから、私は留学生35名くらいを連れてその高島町の隣の町、川西町というところで1泊2日地元の交流を行って来ました。その前に留学生を受け入れるホストファミリーがたまたま台風が来て5軒が受け入れることができなくなりました。急遽高島町ロータリークラブの会長に依頼して、5軒のホストファミリーを見つけていただきました。本当に助かりました。ロータリアンと知り合うことによって人脈が非常に広がりました。

もう一つ、私が学友会が主催した山形から世界へ多文化交流コンサートを4年間続いてやってきましたが、毎年地元のメディアとか新聞がかなり報道されましたが、今年は何と全国放送の東京テレビ番組「Youは何しに日本へ」密着取材という依頼が来ました。この2年間オランダの元教え子がこのコンサートのためにわざわざオランダからやってきました。空港でスカウトされた。是非密着取材、オランダの学生及びコンサート取材したいという依頼が来ました。私もびっくりしまして、これで全国放送を通して僕も有名人になれるんじゃないか、と期待を非常に込めましたが、3日間3人で密着取材来ました。3日間だから寝る時間も入れると全部で72時間。私も一緒について回りましたが、実際放送したのはたった2分間です。その2分間を皆さんにこれからご覧にいきます。ではどうぞお願いします。(映像放映) どうもありがとうございます。これは72時間で撮った映像です。

これ最後、これの写真をご覧になってください。これ非常にハンサムな写真でしょう。これは僕の30年前の写真です。実は30年前徴兵の関係で台湾の小さな離島で2年間、厳しい訓練を受けました。当時徴兵の目的は、中国の兵士、つまり若者をですね、台湾に来ないように防ぐために厳しい訓練を受けました。当時は台湾と中国の関係は非常に敵対関係なので、お互いに首狩りスパイを送り込みました。毎回首狩りスパイを見つけた夜では警備が非常に怖かったです。今30年経ちました。非常に皮肉にも私の現在の主な仕



事は中学の留学生の面倒を見ていることです。中国へ行って中国の学生にどうぞ日本へ勉強しに来てください。だから訓練の経験を通して世界平和の大事さがしみじみと感じられております。今後とも米山親善大使を通して、ロータリアンの精神である国際理解、国際親善及び世界平和をもっと多くのロータリアンの、そして一般企業、市民にも強くアピールしていきたいと考えております。よく考えてみると15年前2度目日本に来た時、家族を持ちながらの勉強生活は非常に大変だった。皆さんロータリアンのお陰で皆さんの寄付によって成り立った米山記念奨学会のおかげで、あとカウンセラーたちの精神的なサポートで、色んな困難を乗り越えてきました。もし皆さんのご協力、お手伝いがなかったら、私はもしかしたら博士号を取得することもできない、今のよう日本に大学で教員になって、世界各国の留学生に私の世代に世界の平和、まだ日本文化の大事さを伝えることもできないでしょう。これからは米山事業、そして米山奨学生のご支援、ご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。どうもご静聴ありがとうございます。





基調講演

演題「今、私たちにできること」 ～自分を見つめて、世界を見つめる～

UNDP親善大使 女優・エッセイスト
紺野美沙子

プロフィール

1980年、NHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」（原作・谷崎潤一郎）では三女・雪子役を好演。

テレビ・映画・舞台に活躍する一方、1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・パレスチナ・タンザニア・東ティモール他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。

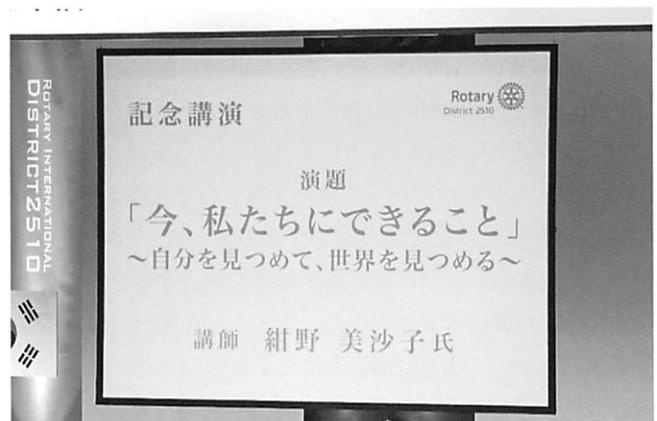
国連開発計画（UNDP）親善大使としての活動。

著書に、親善大使として訪れた国や人々について綴った「ラララ親善大使」（小学館刊）がある。2010年秋から、「紺野美沙子の朗読座」を主宰。

音楽や影絵や映像など、様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスや、ドラマリーディングを定期的に続けている。

皆さん、こんにちは。紺野美沙子です。昨夜はこの国際ロータリー第2510地区、地区大会の皆さまによる晩餐会がございました、そちらにもお招きいただきました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。この地区大会は北海道を西と東に二つに分けて行われる西側のとても大きな大会だというふうにお聞きいたしました。ところがですね、昨日私のお隣に座っていらした方は、釧路からいらしたと仰っていましたし、他にも青森県の弘前からとか色んなところからそれこそお隣の韓国からとかたくさんの方がいらしていて、本当に規模の大きな大会なんだなというふうに思いました。最後にその晩餐会出席の皆さんと一緒に「手に手つないで」というロータリーソングをご一緒に歌わせていただいたんですが、やはり学生、大学を卒業するとなかなか肩を組んだり手を繋いだりという、そういう機会もなかなかなくなりますので、いいものだなあというふうに思いました。こんなふうに身近な人と手を繋いでその輪がどんどん広がっていけばそれが平和につながるんだなというふうにあらためて感じた夜になりました。本当にありがとうございます。

今日は記念講演ということで、少々緊張しております。でも会場にこんなにたくさんの方のロータリアンの皆さんがお集



まりになって皆さまの心にちょっとでも響くように努めたいと思いますのでよろしく願いいたします。(拍手) 恐れ入ります。

さて、昨日ご出席の方にはちらっと申し上げたんですけれども、実は私の母、昭和3年生まれで今年86になりますが、昭和3年生まれの母が北海道の余市の生まれで、その後小学校に入るまで函館で過ごしました。今週からはじまったNHK朝のテレビ小説「マッサン」の第1回目を見ましたら、なんと余市から。あら、ご覧になりましたか？はじまって、なんかとても嬉しく思いました。私の母方の菩提寺、祖先代々のお墓が函館山の中腹にございまして、私も何度もお墓参りに行っているんですけれども、私事で恐縮ですが、結婚を機に夫のほうのお墓に入るのかなあとと思いますが、最近では別墓宣言といって、旦那とは同じお墓に入りたいくないというふうに考えていらっしゃる奥さまも非常に多いと聞いております。私はこのまま順調に添い遂げれば夫の方の岐阜県にお墓があるんですけれどもそちらに入ることになるのかなあと思いますが、もしかして、この先何が起るかわかりませんのでそのときは皆さんのお近く、北海道の地に永遠の眠りにつくことになると思いますのでそちらもよろしく願いいたします。

そんなわけで母が北海道ということで、幼い時から北国の味にとっても馴染んでおります。特に魚卵が好きでして、たらことか筋子とか、いくらあまり食卓にのぼりませんでしたけれども。小さい時にはよく鯉の煮付けとか、鯉にこう卵が入っているとやったーなんて思って、大変それが好物でございました。この時期になると、無性に食べたくなるのがかす汁です。うちの母が作るのは鮭のアラとじゃがいもとあと、その時冷蔵庫に残っている野菜などを入れて酒粕で煮るんですけれども、子どもの頃はあまり美味しくないなあと、大人はなんであんなお酒くさいのが好きなのかなあと思っていたんですけれども、大人になるとあの味が無性に食べたくなるんですね。母はもう最近作ってくれないので、これからは私が継承して作っていかうかなとっております。

その鮭で思い出す出来事が一つございます。すみませんね、よもやま話ばかりで。ちゃんと本題に入りますので。10年くらい前にNHKで「そして歌は誕生した」という名曲誕生の秘話をご紹介する番組がありまして、ナレーションを田村たかひろさんというもう亡くなられましたが、大ベテランの役者さんがナレーションをなさっていて、私は長い事その案内役を務めさせていただいておりました。10年くらい前に「知床旅情」という歌の誕生秘話を紹介するというので、北海道の羅臼に参りました。ちょうど夜明けのシーンを撮影するというので、東の方はとても夜明けが早いですよ。3時くらいからスタンバイしてたかなあ、あの羅臼の海



岸で、まだイカ釣り漁船の灯りが遠くに見えてとても綺麗な、そんな海岸で日が昇るのを待っていました。その後に、夜明けとともに撮影が終わって、じゃせっかくだから市場に行こうかということで、近くの市場に参りました。そしたらその市場で漁師さんが、紺野さん、今日はね、鮭児があがったよ、鮭児があがったから見においで。ケイジがあがった、おまわりさんがあがったのかな。ケイジって何？って聞きましたら、非常に高級ななかなか網にかからない鮭だということで、その鮭児、見せていただきましたらエラのところにブランドのバッジが付けられていました。すぐバッジがつくほどの高級な魚なんだなと思って、一度じっくり食べてみたいと思うんですがなかなかチャンスがありません。送ってくださいと言っている訳ではないんですけども、そのバッジを付けているのは北海道では鮭児かロータリアンの皆さんかという、まあそういうことなんですけれども。(拍手) 恐れ入ります。

何が言いたいかといいますと、私がこんな高いところから申し上げるまでもないんですが、森と海はつながっていて、森や海でおいしい自然の恵みをいただけるのも、その自然を保護する皆さまあってこそだと思いますので、是非色々なご活動があると思いますが、北海道の自然の恵みをこれから長く生かすというそういう活動も、ロータリアンの皆さんに是非お願いしたいなというふうに思います。

今日は「今、私たちにできること～自分を見つめて、世界を見つめる」という16年前に任命されました、UNDPという国連機関の親善大使の話をしていただこうと思うんですが、その前に私の本業であります女優業のこともちらっとお話ししたいと思います。私、今年で仕事を始めて35年になります。35年という何歳からやってるんですかって聞かれてしまうとすぐ年齢がばれてしまうので、まあ一応役の頃からという3歳からということに、本当は違うんですけども、今年35年になります。それで将来お芝居をする人になりたいなあと考えたきっかけというのが、小学校5年生の時のクラブ活動だったんですね。私は神奈川県の小学校に通

っていたんですが、子どもの時から音読をすることが好きで、国語の教科書だけではなくってイソップ童話とかグリム童話とか日本むかし話とか、他のも算数や社会や色んな教科書でもいいんですが、音読をすることがとても好きでした。ですから小学校5年生でクラブ活動が始まった時に迷わず演劇クラブに入りまして、ちょうどその年に神奈川県には青少年演劇コンクールという大きな演劇の大会がありまして、それに出演することが決まっていたんですね。それで森隲外の山椒大夫、安寿と厨子王という題名で、安寿と厨子王という劇に参加することが決まっていたんですが、そのオーディションというんですかね、それで安寿の役をいただきました。コンクールに向けてとても厳しい練習が始まりました。その時演劇クラブの顧問をしていらした先生が、私の恩師にあたる先生なんですが、どんな先生かと言いますと、とても演劇を愛しておられて、非常に厳しいご指導をなさる先生でした。イメージ的には、ヘレン・ケラーを育てた奇跡の人に出てくるアニー・サリバン先生のような本当に厳しくてそんな台詞が言えないんだったら、あなたもう今日は帰りなさい、とか役を他の方に変わって頂きましょう、とか。もう小学生の子どもが言われたら思わず泣き出してしまいそうな厳しさ。優しさの中にある厳しさだったんですが、でも、そういった熱心なご指導を乗り越えて迎えた晴れの日、コンクールの日というのは子ども心にも、みんなで力を合わせて何もないところから一つの作品を作り上げるという連帯感と達成感に包まれて、ああ、将来お芝居をする人になれたらいいなって小学校5年生の時に思いました。でも、なぜそういう気持ちになれたかという、やはり本気でご指導してください先生がいらしたということだと思うんですね。本気の大人によって子どもは変わる。その先生は本当に演劇というものが好きでいいものを作りたいという熱意のもとに、厳しい中にも私たちをひっぱる力というものがあったからこそ、その達成感、連帯感を感じられたのだなというふうに思います。それはたぶん皆さん今日いらしているお一人お一人、小学校中学校高校大学の時に運動部だったり例えば文化祭だったり、色んな催しの時、普段のクラブ活動、お稽古事などでご経験があると思います。でも、そういった野球でも合唱隊でも何でもいいんですけれども、そういった世界でそのチームを引っ張る、まとめる、そのリーダーシップのある非常に熱意と志のある指導者に会えるか会えないかということでそのまわりの若い人たちの気持ちというのはとても大きく変わるんだなというふうに今振り返ってみてあらためて思います。本気の大人に出会うことで、私たち一人ひとりが行動する背中を見せるということで今はわからなくても、大人になった時にあああの時あの人は本気で熱意を持ってこういったことにあたっていたんだなというこ

とがわかる日が必ず来るというふうに思います。私も今大学1年生になる息子が一人おります。言葉で言ってもなかなか親のいうことというのは素直には聞けないみたいで、色々こうアドバイスしたいなあと思うんですけども、すぐ「うぜーな」とか言われちゃって、なかなか聞いてもらえません。でも、もう何も言わなくてもとりあえずたいしたことない背中だけでも見ててくれればいいなあという思いで今は活動しております。ロータリアンの皆さんも、それぞれの地区で活動なさっていると思いますが、昨日いただいたお正月の対談記事の切り抜きにロータリーの理念が書いてあったんですけども、それぞれの方がそれぞれの職業、職業の力を生かして社会に貢献することがロータリーの基本だというふうに書かれておられて、まさにその通りだなというふうに思いました。

それです、女優生活35年というふうに申し上げましたけれども、この仕事をしていて良かったなあと思うこと、たくさんあります。もともと小学校5年生の時に演劇クラブに入って、将来なれたらいいなあという自分が好きな仕事に就くことができ、その仕事をまあ細々とではありますが30年以上も続けることができ本当にありがたく幸せなことだなあというふうに思っております。良かったなあと思うことは、私が演じる、出演する舞台なり映画なり、テレビドラマ、まあ最近あんまり出ていませんけども、そういった役を通じて様々な時代の色々な女性の人生を疑似体験することができるというのがとても面白いなあと思います。役を通じて戦国時代に生きることもできますし、普段私生活では絶対言えないような、ちょっと悪女の台詞で男性を誘惑するみたいな台詞も言うことができますし。最近舞台に限りですけども、とても年齢より若い役をまだ演じることができるというのもかなり無理がありますけどもね、振り袖着たりとか、そういうこともごくたまにありまして、それも楽しいなあというふうに思います。でも、一番嬉しいなあというふうに思うのは、舞台、最近舞台の仕事が多いんですけども、こんなふうに忙しい中客席にいらしていただいたお客様から、今日はお芝居を観てとても良かったですよとか、心が温かくなりましたとか、明日からまた元気をいただきましたとか、そういうご感想をいただいた時、とてもやって良かったなあというふうに思いますし、もっともっと喜んでいただけるように頑張らなくちゃなあというふうに思います。自分が関わったことで、喜んでくださる方がいるということは、私自身の大きな力になりますし、だからこそ頑張れるんだなというふうにいつも思います。2011年の3月11日、東日本大震災の後、北海道には奥尻島の地震という大きな災害もありました。その中で、たぶん皆さんもそれぞれに色々なことをお考えになったと思います。私は3月11日の

震災の後、ずっとテレビの前で報道を見ておまして、まあいざという時私のような仕事は何の役にも立たないんだなというような無力感にも襲われていましたけれども、そんな中で、私たち人間にとって本当の豊かさとは何だろうか、とか。幸せって何だろう、というふうに改めて考えさせられました。皆さんはいかがでしょうか？もちろん私たちが生きていく中でお金も大切です、便利な物も、贅沢な物も、美味しい物もいっぱい合った方がいい。それは世界中誰もが思うことかもしれません。だけれども、物やお金も大切だけれども、その他にもっと大切なもの。例えば、自分が心穏やかに居られる場所があるということや、自分が誰かに必要とされる役割があるということ。それはとても大事なことだなあというふうに私は思いました。自分が心穏やかに居られる場所があるということ、それから自分が必要とされるということ。それがとても大事なのだなというふうに思いました。私にとっては仕事で今日もそうですけれども、記念講演に紺野さんは是非来てください、そういうオファーを受けるということ、とてもありがたいなあというふうに思います。たくさん他にも女優さんとかいわゆる文化人と呼ばれるような人、頭のいい人、奇麗な人、ナイスバディな人、山のようにいる中で本当にお声がけいただいて光栄だなあというふうに思いますし、仕事だけではなくて、例えば家庭の中でお料理を作って喜んでくれる存在がある、そういうことも、自分を必要としてくれる家族がいるということ、本当にありがたいなあというふうに思いますし、それから今日皆さんにご紹介する親善大使として途上国などを訪れた時に私自身が何をしたら、何ができるというわけでもないんですけど、その途上国に伺ったということで歓迎して下さる方がいるということ、本当にありがたいなあというふうに思います。自分の居場所、役割があるということに感謝の気持ちを持ちつつこれからも仕事をしていきたいと思ったり、皆さんも皆さんそれぞれの地区、地域で皆さんにしかできないということがあると思ったりするので、是非そんなことも考えながらこれからご紹介する親善大使としての活動の写真をご覧いただきたいと思ったりします。お願いします。

では、女優生活35年というふうに申し上げましたけれども、この国連開発計画、UNDPというんですが、このお役目をいただいて今年で16年目になります。どうして私が親善大使をしているのかといいますと、これは正直に申しまして、私自身にもよくわかりません。ご縁があったということだと思のですが、今から16年前の1998年の秋。ニューヨークに本部がありますUNDP国連開発機構の本部から私の事務所に連絡がございまして、今度日本からも親善大使を任命することになったので、是非ご就任いただきたいということでした。そのとき私はUNDPという国連機関があるとい

うことも知りませんでしたし、ましてやどのような活動をしている機関なのかということも全く存じませんでした。簡単にご紹介しますと、UNDPというのは、皆さんどなたもご存知だと思いますが、黒柳徹子さん、徹子の部屋で年齢はいくつになったのかよく存じませんが、いつまでも変わらぬ雰囲気、とっておしゃべりが上手な黒柳徹子さんがもう30年以上ユニセフ、国連児童基金というところの親善大使を務めていらっしゃいます。皆さんよくご存じのユニセフやそれから世界遺産の選定をするユネスコ、それから緒方貞子さんが以前代表を務めていらした国連難民高等弁務官事務所という国連機関、皆さんご存知だと思います。このUNDPというのは、ユニセフやユネスコ、国連難民高等弁務官事務所と同じ国連機関の一つです。でも、ユニセフだったら支援の対象は子どもたち、世界中の厳しい状況下に置かれている子どもたち。ユネスコでしたら文化的、教育的な部分での支援、それから国連難民高等弁務官事務所でしたら、対象は難民。と非常にイメージが湧きやすいと思います。でもUNDPの活動というのは非常に多岐に渡っているんで、色んな活動をしているので、何をやってるところですか、というふうに聞かれても私も一言ではお答えしづらい部分がございます。ここに色々書いてありますけれども、UNDPの重点活動分野、危機予防と復興、民主的ガバナンス、エネルギーと環境、貧困削減、HIVエイズ。たぶんこの会場を出られる頃には記憶の彼方になっていると思います。UNDPが行っている活動、開発援助というんですが、一言でいうと、皆さんも色んなご支援をなさっていると思いますが、例えばカンボジアという日本と同じアジアの国、発展途上の国があります。そのカンボジアという国を国として他の国際機関、国連など、それから他の国々やNPOなどの支援を受けずに、国としてその国が自立するまでの総合的な国づくり、人づくりを行っているのが国連開発計画です。一つの国が自立するというためには、民主的ガバナンスというふうにありますけれども、その国の政治の仕組み、憲法であったり法律であったり司法制度であったり選挙制度であったり、それから自治体を支える病院だったり消防だったり教育システムだったり、そういったものがきちっとなされていなくてはならないということでそういう国の根本的なものに対する支援を行っています。具体的には例えば東ティモールのようなアジアでできたてほやほやの国、2002年に独立をしましたけれども、そのような国でも選挙制度を作るお手伝いとか、あと途上国各国で司法制度を作るお手伝いをしたりとか、憲法や法律を作るお手伝いなどをしています。国として自立するまでに、人づくりも必要です。特に最近力を入れているのがジェンダー、女性の問題です。国によっては男女の格差があって、女性であることを理由に教育が受けられな

ったりとか、満足な仕事に就くことができないということがあります。そういった女性のための識字訓練、自分の国の生まれた言葉を読み書きする訓練から、あと職業訓練、それから貧しい女性たちのためにマイクロクレジットというんですけれども、無担保でお金を貸し付けて、そのお金を元手にして仕事を作ってもらおうというような支援もおこなっています。国づくり、人づくりのための開発援助を行っている機関なのですが、私はUNDPが行っている開発援助というのは子育てに似ているなあというふうに思います。活動の内容は非常に地味で成果が出るまでにとっても忍耐がいることです。でも何よりも大切な仕事。子育てというのも子どもが生まれて自立するまでには長い時間がかかります。多くの人が関わって、手助けが必要です。でも、何よりも大切な事。UNDPは世界の今177の国や地域で途上国の自立のために様々なプロジェクトを行っています。もしもちょっとでも興味を持ってくださる方がいらっしゃいましたら、UNDPのホームページも是非ご覧になってみてください。そこにわかりやすい説明が記載されておりますし、私が今まで親善大使として訪問した国々の短い動画などもYouTubeでも見ることができます。よろしくお願いたします。

今UNDPの親善大使の方、10人いらっしゃいます。1番右下のコニー・ブリトンさんという方は今年親善大使になられた方です。そうそうたる方たちの中になぜか私は一番の古株になってしまいました。親善大使というのはどういう役割をするのかといいますと、皆さんそれぞれの立場でできることをUNDPが一番の目的、最優先課題にしている世界中の貧困撲滅のために活動をしています。写真をご覧になっておわかりのように、ジダン選手やロナウド選手、ドログバ選手。ドログバ選手は今年のサッカーのワールドカップで日本はコートジボワールとあたりましたけれども、後半戦でこのドログバさんが出てきたとたんに逆転されて負けてしまって、非常に悔しい思いをいたしました。下の段のイケル・カシージャスさんというのはやはりワールドカップに出場されたスペインのイケメンゴールキーパーの方です。マルタ・ピエイラ・ダ・シルバさんというのは女子サッカーの選手の方だそうです。私はまだお目にかかったことないんですけれども。このようにサッカー選手の方が多くいんですが、サッカーのスター選手の方がUNDPでどんな活動をしているかといいますと、アゲインスト・ボバティといまして、貧困との戦い、貧困との戦いとサッカーとの戦いをかけているのかもしれませんが、1年に1度、世界中のサッカーのスター選手の方を集めまして、貧困撲滅を目的にしたチャリティの試合を行っています。毎回開催地が違うんですけれども、そこでスター選手の方が集まってサッカーの試合をして、その時得られた収益金を世界中の貧困撲滅の



ために使っているということだそうです。そして、テニスのマリア・シャラポワ選手。私はまだお目にかかったことないんですが、シャラポワさんをご家族が1986年旧ソビエトで起こったチェルノブイリ原発事故の影響を受けられたそうなんです。それでシャラポワさんのご家族はベラルーシというところに住んでいたんですが、その原発事故のためにシベリアに引っ越しを余儀なくされたというふうになっています。そのためにシャラポワさんはテニスの賞金の一部を今も後遺症に苦しむ人々や原発事故に対する啓蒙活動のために寄付をなさっているそうです。

そして私なんですけれども、先ほども申しましたように、16年前に突然任命を受けました。何で私かという思いは今でもあるんですけれども、この当時UNDPの総裁を務めていらしたスベスさんというイギリス人の方から、紺野さんよりも若い人たちに国と国の協力、助け合い、国際協力の大切さを伝えてほしいというふうに言われました。最初にそのお話をいただいた時は、親善大使というと黒柳徹子さんやそれから晩年ユニセフの親善大使として活躍されたオードリー・ヘップバーンさんのように社会的地位を極められた方が社会への恩返しのような形で活動する名誉職なのかなという風に思っておりましたので、私はまだ若いし経験もないし、とても無理ですというふうに申し上げたんですけれども、より若い人に伝えてほしいというふうに言われましたので、だったら少しでもお役に立てるかなというふうに思ってお引き受けしました。そのお引き受けした一つの理由の中に、中学生の時の体験があったんですね。私が中学生の時にカトリック系のミッションスクールに通っていたんですけれども、当時はまだボランティアという言葉はなくて、奉仕活動という時間がありました。授業が終わった後にいわゆる課外授業ですね、授業が終わった後に有志の生徒たちが集まって、学校の近くにある老人施設に行くんですけれども、まあ中学生ですから何ができるというわけでもなくて、その施設のお掃除をしたり、お年寄りの話し相手をするというだけなんです。でも何回か通ううちに、私たちが同うのを楽

しみに待っていてくださる方がいらして、その時に中学生で何もできないと思っていても、こうしてお話相手になるだけで喜んでくださる方がいるというのはとても新鮮な驚きでした。そういったことがありましたので、もう本当にこんな私で何かお役に立てるならという思いで16年前も今も活動をしています。ただ、365日ずっと活動しているわけではもちろんございませんで、本業が大切です、自分の時間や家族との時間も大切です。友達と会う時間も大切。色々な時間がある中で、ほんの一部をこういった活動にあてている。私も皆さんも誰もが皆限られた時間を生きている。その限られた時間の中で時間をどのように使うかというのは、日本では、色々なお仕事でとられる時間もありますけれども、自分が自由に使える時間というのもたくさんあるわけです。その自由な時間の一部をみんなのために使う。見知らぬ誰かのために使う。そういった仲間が増えることで、大きな力になるのかなというふうに思っています。私の人生の時間の中の一部ではありますけれども、この親善大使としての活動に使って、国際協力に対する関心を持ってくださる方たちの裾野を少しでも広げる役割ができればいいなという風に思っております。ちなみに、国連の親善大使、他にもユニセフの親善大使や色々な機関の親善大使の方がいらっしゃいますが、取り決めて報酬は1年に1ドルということになっております。私は16ドルたまったことになるんですけども、あくまでも名目上として実際にはいただいておりません。今10人の親善大使の方がそれぞれの立場でできる活動をなさっています。でも、こういったスポーツ選手や皇室の方ならではの活動というのもありますし、一番大切な事はやはりそれぞれの皆さんがそれぞれの地域で自分らしくできる活動を細く長くでもいいから継続するということが一番大切ではないかなというふうに私は思っています。

今、頭の中が真っ白になりましたので、次に行きたいと思えます。そうそう、思い出しました。最近こういうことが多いんですね。2階から1階に行って何しに1階に行ったのかわからない。昨日も飛行機の搭乗口67って書いてあったから、10分15分前くらいに67番ゲートに着いたら、それは67便で搭乗ゲートは57番だったんですね。それが羽田の57番と67番で隅から隅まで離れていて、ものすごい勢いで走ったんですけども、最後の搭乗者になってしまって、もう本当に。よく飛行場で札幌行きの方へ、札幌行きの方へってスチュワーデスさんが困ったように探してますよね。なんでもっと余裕もって行かないのかなあって思ったんですけども、自分がまさかその最後の搭乗者になるとは初めての経験で、やはり自分が実際にその立場になってはじめてわかることってあるんだなあというふうに思います。なかなか当人の気持ちになる、私なんかよく母に言われるのは、あな

たも年取ったらわかるわよって言われてもやっぱりなかなかわからないけれどもたぶんその時になると見えることわかることが色々あるんだなあというふうに思います。ただ、わからないかもしれないけど困っている人や厳しい状況下に置かれる人たちに想像力を持って思いやりの気持ちを持つ、寄り添っていくことが大事なんだなあ、昨日最後の搭乗者になってあらためて思いました。また忘れちゃったじゃない。それぞれの立場でできることが大切と。忘れちゃったから次にいきますごめんなさい。

それで、数年に一度UNDPが支援をしています途上国に参りまして、その時に見たこと感じたことを多くの方に伝えるというUNDPの活動に対して理解を持っていただくという私宣伝係を担っております。ということで、突然任命を受けて1998年の秋、翌年の1999年、初めて親善大使としてカンボジアを訪問いたしました。その翌年には非常に今混迷を極めていますパレスチナ、その翌年には、ヒマラヤの麓の国、ブータン王国、西アフリカのガーナ、今世紀最初の独立国東ティモール。ベトナム、モンゴル、東アフリカのタンザニア、そして皆さんがご活動なさっているポリオ根絶のための最後の国の一つ、パキスタンにも参りました。パキスタンには4年前2010年に参りました。ビンラディンさんが攻撃をされたのが翌年の2011年ですから、そのビンラディンが潜伏しているパキスタンにも行って参りました。そして2011年からは国内での活動を中心にいたしまして、東日本大震災の被災地などにも度々伺っています。ではせっかくの機会ですので駆け足にはなりますけれども、訪問した国々で特に印象に残ったことをご紹介差し上げたいと思います。

カンボジアはたぶんいらしたことがある方たくさんいらっしゃると思います。アンコールワットという世界遺産があって、首都プノンペン、そしてアンコールワットのあるシェムリアップという二大都市が大変今発展しております。2007年8月ですから7年前にも2回伺いましたのでとても思い出のある国です。カンボジアといえば地雷の問題もそうなんです、私が一番心に残ったのはやはり子どもたち



の問題です。これは最初に訪問した時の写真なんですけれども、ご覧のように小学校、プノンペンから3時間くらい奥に入ったプレイビシア村というところの小学校ですけれども、椅子も机も教科書もなく、みんな隣の教室との壁もなく、地べたに座って勉強していました。ただ現在はカンボジアに学校を建てようということでだいぶ民間、公的なものから色々援助の手が入りまして、立派な小学校があちこちに建設されています。ただ、この時に衝撃を受けたのは、小学校1年生のクラスと6年生のクラスの生徒数の違いなんです。小学校1年生は130、40人いるんですけれども、6年生の教室に行ってみると30人くらいしかいなかった。どうしてなんだろうと現地の先生に伺いましたら、経済的な貧しさが原因で小学校にさえ通えない子どもたちが多数いるという現実でした。例えば姉弟の数が多い、小学校に入るくらいの年齢になると、下の妹や弟の面倒を見なくてはいけないので、そのために学校に行けなかったりとか、あと家の女の子だったら家事を手伝わなければいけない、農作業を手伝わなくてはいけない、家畜の世話をみなくてはいけないということで仕事のために学校に来られなかったりとか。あとは途上国の場合、カンボジアだけではなくてアフリカやアジアの他の地域もそうですけれども、貧しい農村地帯の、子どもと女性の仕事というのは、日々の生活のために水を汲んだりとか、薪を拾う、それが生きていくために大切な仕事なんです。ですから1日何度も水を汲みに行かなくてはならない。薪を拾いに行かなくてはならないということで、そのために小学校にさえ行けないという現実がまだまだあります。

2000年にニューヨークで世界ミレニアム会議という世界中の国家元首の方が集まって2015年までに達成しようということでミレニアム開発目標という国際社会の目標数値が定められていて、その中に、2015年までに世界中の全ての子どもたちが、貧富の差に関わらず最低でも初等教育を受けられるようにしようという目標を掲げました。その途上国の努力もあって、その当時1億人以上いた初等教育に通えない子どもたち、今は6千万人以下、5,700万人くらいに減っているそうです。半分以下になりつつあるということだと思います。その貧しさ故に初等教育も受けられない子どもたち、そしてその子どもたちがどれだけ小学校に行きたいと思っているかということをお私は日本の子どもたちに是非知って欲しいというふうに思います。生まれてくる国や場所を選ぶことができない、それは誰もがそうです。でも、たまたま生まれた場所が違うだけで世界の現実というのは激しい格差がある。それも現実目に向けなければいけないことだけれども、日本の子どもたちにきちっと小学校中学校で勉強できるということはどれほど恵まれているか、それからその勉強ができる環境にあるからこそ、しなくてはならないこ

と、出来ることがあるんだということを伝えていけたらなあと思います。

それからこれは7年前に行った写真なんですけれども、ベトナム国境近くにコンボンチャム州メモル村というプノンペンから車で5時間くらい入ってこんな所に人は住んでいるんだろうかというような赤い大地を抜けて、胡椒畑を抜けて、ベトナム国境近くの小さな村にたどり着いたんですけれども、そこで外務省、ODAが行っている草の根無償という本当に小規模の援助があるんですけれども、昨日もロータリーの方で井戸を作ったというお話をちゃんと伺いましたけれども、これは私が見てきたのはカンボジアのメモル村というところにODAで建設された井戸です。このときにODAも今色々問題になっていて、どんどんどんどん予算も削られていますけれども、これは日本ならではの支援だなあというふうにとっても心動かされたんですね。それはどういうことかということ、ただ井戸を作って寄付をするということではなくて、とてもちよっと単価は高いかもしれないけれども、3年間雨が降らなくても枯渇しないような非常に性能の高い井戸を作っているということ、それとともに、母国語、自分の国の言葉を読んだり書いたりできない、字が読めない人たちもたくさんいらっしゃいますので、そういった方たちのために井戸を作ったJICAの皆さんがちゃんと絵本みたいにしてこの井戸の使い方というのをきちんと住民の皆さんに説明してるんですね。例えば井戸の傍では牛は洗わないとか、洗濯はしないとか、井戸のそばをトイレ代わりにしないとか、そういう衛生管理に関わることをきちんと絵と文で説明している。それとともに万が一井戸が壊れた時に、この井戸を修理・修繕できる技術者の方も2人養成しているということが、日本ならではのきめ細やかさだなあというふうに変な関心いたしました。でも生活の中に安心・安全な水がある、日本では湯水のごとくという言葉もあるように、当たり前前のことかもしれませんが、その貴重さと自然災害が起きた時などに感じますけれども、でも本当に安心・安全な水が近くにある、生活の場所にあるということが、これほどまでに住民の皆さんに希望を与えるんだなということを目の当たりにいたしました。

そしてこれはカンボジアで一番大きなトンレサップ湖という湖で、水上生活をする人たちの生活の場所です。こういった舟の中で暮らしている子どもたち、この舟の中で生活をしている子どもたちが通う小学校というのが湖の中に建っていて、大変驚きました。

そしてパレスチナではこういった機会でもなければパレスチナなど行く機会がなかったと思いますけれども、パレスチナのガザ地域とヨルダン川西岸という二つの地域に分かれているんですけれども、そのジェリコ、エリコとも言い

ますけれどもそこに日本の無償資金協力で建てられた病院があって、その病院に行った時に院長さんが、私はもう無理かもしれないけれども、自分の子どもたちには安心して安全な、ごく平凡でいいから普通の暮らしをさせたい、というふうに言われたことがとても印象的でした。毎日同じような生活をしているとつい忘れてしまいがちですけれども、平凡な一日のありがたさというのはこういった紛争の中にある場所に行った時もしみじみ感じます。

そして、ブータン王国なんですけど、このブータンで一番考えたことは、先ほども申し上げましたけれども、私たちにあって幸せとは、豊かさとは何かということなんです。数年前に美しいブータンの国王ご夫妻が来日なさいました。ご記憶の方も多いと思います。ブータンというのはその当時から大変話題になりましたが、グロス・ナショナル・ハピネス、GNHと言うんですが、国民総生産ではなくてGNPではなくて、GNH、グロス・ナショナル・ハピネスという指標を国王陛下自らが提唱なさっている国なんです。グロス・ナショナル・ハピネスって何かというと、国民一人ひとりの心の中の幸せを大事にしていこうということだそうなんです。経済発展ももちろん大切だけれども、経済発展だけではなくて、その経済発展を急ぐばかりに今まで先祖が大切にしてきた土地、自然環境を壊したり、文化や伝統を無くしたのでは何もならないと。他のアジアの国々のように急いで開発する必要はない。ブータンという国は、一人ひとりの心の中の豊かさを大切にしていこうという自然環境やチベット仏教に基づいた信仰や伝統、文化を大切にしていこうということで、確かに経済的には数値としては豊かではないかもしれませんが、ロータリーの皆さん、もしも機会がございましたら、是非ブータン王国訪ねてみてください。とても品格のある美しい国です。よく世界死ぬまで行きたいなとかという本がありますけれども、私ブータン王国お薦めします。ブータンに行くと、本当に懐かしい日本の桃源郷のような風景が広がっています。私たち人間にとって本当に幸せ、豊かさというのは、他と比べることなく自分の中の幸



せに対する物差しを大切にしていこうかなあというふうに思います。物とかお金も大事だけれども、でも自分の中でこれが一番と思ったものを大切にしていこうかなあというふうに思います。

さて、そろそろ皆さまお疲れが出ていませんか？大丈夫ですか？あとちょっとだけ話をさせてください。

このガーナは私にとって初めて訪問した国です。ガーナも本当に色んなことがあったんですけど、これはクイーンマザーとって、今世界中約70億人の人間がいて、そのうち12億人、6人に1人の人が1日1.25米ドル以下で暮らしています。その貧困の人たちが最も集中するのがアフリカ大陸のサハラ砂漠よりも南の国の人たちです。このガーナは比較的アフリカの中では経済的に恵まれている国なんですけど、やはり、HIVエイズの問題がございまして、エイズによって親をなくす子どもたち、孤児の子どもたちが増えているということで、このクイーンマザーと呼ばれるお母さんたち、もうまさにロータリアンの奥さま方みたいな方たちなんですけれども、地域の婦人会の皆さまが相談して自分たちの住む地域で孤児たちが増えている、何とかしなくちゃいけないということで、首長さんの号令のもと一致団結してこのクイーンマザーと呼ばれる婦人会の皆さんがよっしゃということで一家庭あたり6人の子どもたちをひきとって、自分の子どもと同じように里親になって生活をしているという様子を目の当たりにして。こういったことはなかなかできないことですし、私一人預かかって言っても無理だと思うんですけど、こういった助け合いの精神、支え合いの精神、私たち日本人も持っていたはずなのにどんどんなくなっていくものを遠くアフリカ大陸のガーナの小さな村であらためて教えてもらいました。本当に頭が下がる思いです。こういった孤児たちのためにも、何か自分らしくできることは何かないかなあというふうに思います。

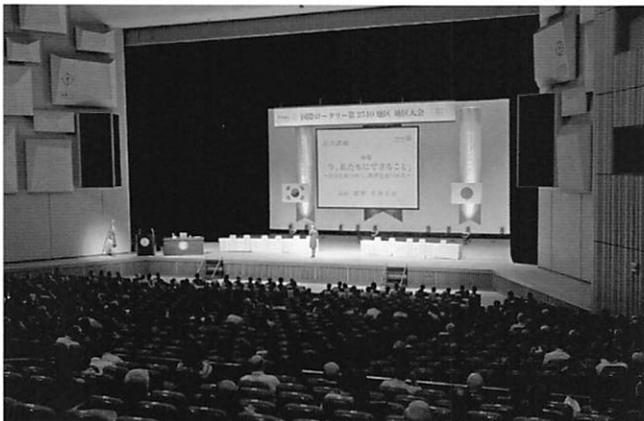
本当に時間がなくなってしまって最後に一つだけお話ししたいんですけど、どんどん送っちゃいますね。4年前にパキスタンに参りました。非常に治安が良くないということで、空港に着いた時からずーっと自動小銃を持った警察官の方が24時間警護についてくださいました。びっくりしたのは、外国人が泊まるホテルがあるんですけど、そのホテルの中庭にも警備の方がいて、私がちょっとロビーに行こうかなあと思ってかちゃっとドアを開けたらその私のドアの前にも警備の方が居てくださったんですけど、なぜかという、外国人が泊まるホテルがテロの標的になるんだそうですね。それでちょっと緊張感のある一週間の滞在でした。そこで私が特に印象に残ったのは、アフガニスタンとの国境地域、非常に治安が悪くてタリバンの拠点だとか言われていますが、パキスタンの北西部に行きました。その時の

この写真は地域の青年会議所みたいな感じですね。皆さんもたぶんうん年前には青年会議所の活動もなさったと思いますけれども、そのパキスタンの青年会議所の若い方たちの写真なんですけれども。彼らがいって手を挙げて仰ったのが、僕たちはアルカイダでもタリバンでもありません。ごくごく普通にパキスタンの未来、より良い未来を作りたいと思ってこんな活動をしています。ただ、パキスタンというところやっばりどうしてもこう危険な目で外国から見られてしまう。決してそうじゃないんだって。本当にそういうのはごく一部で、大部分の人たちは真面目にパキスタンの未来を考えている人たちです。それをぜひ伝えてほしいというふうに言われました。

ポリオのことはあまり私詳しくないんですけども、3カ国だけなんですってね。まだポリオが残っているのは。私も実際に先ほどの北西部で、小学校に行ったんですけども、そこで小児麻痺の子どもたちにも会いました。でもポリオのワクチンを全ての子どもたちに届けたいということでも、例えばワクチンを乗せた車が攻撃されるということが起こっているそうなんです。というの、そういったワクチンを届けるという本当に子どもたちを救いたいという思いが、もしかしたらそれはスパイの活動かもしれないというふうに誤解されるということで、そういう標的になるというふうにも聞いています。ですからどんなことをするにも、やはり基本となる部分に平和、その国の安定がなくてはその先にどんどん積み上げていかれないものだなということであらためて感じます。だけれども、ロータリーの皆さんの理念もそうだと思いますけれども、私たちの一つ一つの活動がいつかは世界の平穏、平和につながるということを信じて、活動していくしかないんだなあというふうに思います。

ではこれで会場を明るくしていただきたいと思います。長時間本当にありがとうございました。16年間親善大使の活動をしておりまして思うことというのは、国際協力というのも、例えば被災地の支援も、それから電車やバスの中でお年寄りやお身体が不自由な方に席を譲るといことも、皆同

じであるということです。どういうことかということ、自分以外の第三者、見知らぬ人に対して感心を持つ思いやりの気持ちを持つということが第一歩だからです。ですから、ご関心のある方は国際協力でもいいし、地域での活動でもいいし、被災地支援でもいいし、自分の限られた時間の中の一部を誰かのために使う、みんなのために使う。そういった仲間を増やしていくということが大切ですし、ロータリーは小さな灯火を増やして大きな輝きをというスローガンを掲げられているというふうに昨日の案内で読みましたけれども、それが輝きでもいいし、自分も笑顔でいてまわりの笑顔を増やしていくということでもいいと思いますし、手をつなぐ輪を大きくしていくということでもいいと思います。皆さんそれぞれが、それぞれの立場でできることを長く続けていくということでこれからも共にご縁を大切に頑張ってもらいましょう。今日はどうもありがとうございました。





ガバナーエレクト挨拶

ガバナーエレクト
嵯峨 義輝
 (岩見沢RC)



《経歴》

生年月日：1948年9月23日生

職業分類：測量

嵯峨測量設計株式会社 代表取締役

【学歴】

1972年 日本大学商学部卒業

【職歴】

1982年 嵯峨測量設計株式会社代表取締役就任
 現在に至る

【ロータリー歴】

1989年1月 岩見沢ロータリークラブ入会
 2005～06年度 会長
 2009～10年度 地区ガバナー補佐（第3グループ担当）

ロータリー財団メジャードナー
 米山功労者マルチプル（4回）

【公職歴】

1994～09年 岩見沢市市民憲章推進委員長
 1998～09年 全国市民憲章推進協議会 理事
 2003～08年 岩見沢市教育委員長

ガバナーエレクトを拝命いたしております、岩見沢ロータリークラブ嵯峨でございます。昨年ノミニーとして江別の地でこの場に立たせていただいた時には、かなりリラックスして喋れたんですけども、やはり本年は違います。不安とプレッシャーで押しつぶされそうになりながら、今必死に耐えながらこの場に立っております。まだまだ先と思っておりましたガバナー年度ももうすぐそこに来ております。今月の20日には次年度ガバナー補佐の皆さまのご指名を締め切って、ご指名をさせていただく、そんな時期にもう来てしまいました。不安いっぱいでありましたけれども、おかげさまでPETSをはじめ、色んな研修の場を与えられております。その場で色々学んでまいりました、この1年ちょっとの間。

例えば、今回のポリオであります。ポリオはロータリーが本当に中心となってやっている。わかっておりましたけれども、もっともっとそれ以上にロータリーがなければWHOも全米疾病センターも動かなかった。きっかけはロータリーなんだということも学んでまいりました。

例えば、米山奨学生であります。本日のユウさんのお話も、先月東京で聴いてまいりました。何人かの奨学生OBがいらっしゃいました。モンゴルにいる奨学生OBです。日本に来てこんなふうに6334で

やらなければ学力は上がらないんだ。モンゴルは高校は2年間だそうです。日本と同じような制度で高校を作りその後中学を作りその後中高一貫の学校を作りました。今モンゴルで一番難関校になっているそうです。その学校から東大に毎年何人も入るんだそうです。そんな人たちがたくさん全国に奨学生OBがいます。そして、母国と日本との架け橋になってくれております。

例えば、東日本大震災。復興支援であります。去年まで毎年全国のロータリアン、減り続けてまいりました。ところが、あの3県は増えているんです。私と同期のエレクトの方が福島第一原発で大変被害を受けた南相馬市から出てまいります。そのエレクトに聞きました。どうしてそんなにロータリーが増えるの、ロータリーの支援に皆が感謝してるからだというんです。なぜロータリーの支援に感謝するのかというと、本当に必要なものがロータリーから支援されるからだとそのエレクト仲間が仰っていました。自己満足の支援じゃない。それを聞いた時に思い出した話があります。

震災直後、当然どこのクラブもどの地区も支援に走りました。我が2510地区のあるクラブが当然支援しようと思って被災地のロータリークラブに連絡をとりました。今、お金なんてもらってもしょうがない。食料はどんどん来てるけど一箇所にとまってそれを運べない。運行手段が何にもないんだよ。道路はがれきだらけで車は動かない。欲しいのは自転車なんだよ。それを聞いたロータリアンは必死になってトラックいっぱい山盛りの自転車を持って0泊2日で被災地のロータリーに届けました。これがロータリーの支援であり、だからロータリーに感謝し、福島も宮城も、皆、他の地区会員が減っている時に増えてきたんです。そんな我々が誇りにできるような話を是非公式訪問の中で我々の仲間はこんなことやってるよ、みんなもやるうじゃないか。それが私の一つの仕事なのかな

とこんなふうに思っております。

また、先程紺野美沙子さんの講演にありました、本気の大人がたくさんいることもこの1年数ヶ月でわかりました。素晴らしい我々の先輩パストガバナーがいらっしゃいます。本気の大人の方からお話を聞きました、またお話もさせていただきました。生涯を通じて本当の友人がロータリーでできたよというのは何人からも聞きました。ロータリーの理念が俺の人生の道しるべなんだよと仰ってくれた宮城のパストガバナーもいらっしゃいました。こんな素晴らしいロータリーに何で退会者が出るんだろというのがだんだん疑問として沸いてまいりました。

かくゆう私も30年ほど前、入会数年目だったんですが、退会の意思を固めたことがあります。そのときにやはりクラブメンバーの友人が待てよと止めてくれました。で、今日ありますが、本当に続けて良かったと思っております。ロータリーの良さを各クラブに伝え回るのがガバナーの使命かなとそんな思いでいっぱいあります。地区の使命はクラブのためにある。私はそう思います。是非クラブの皆さまから地区にどのようなことをご要望いただけるのか、いっぱい出していただきたいと思えます。必死になって一生懸命になって地区委員会の皆さん、スタッフの皆さんと共に各クラブ支援を邁進致したい。そんな思いでいっぱいあります。

是非とも皆さまのご協力をいただきながら、来年7月、無事に着任できるように心がけながら精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ガバナーノミニー挨拶

ガバナーノミニー
武部 實



《経歴》

生年月日：1943年11月12日生

職業分類：建築設計

日本都市設計株式会社 相談役 一級建築士

【学歴】

1966年（昭和41年）3月 東洋大学工学部建築学科卒業

【職歴】

1966年4月～1972年3月

東洋大学工学部建築学科助手

1969年1月 日本都市設計株式会社 代表取締役就任

2007年7月 日本都市設計株式会社 相談役就任

現在に至る

【ロータリー歴】

1984年1月 札幌南ロータリークラブ入会

1990～91年度 クラブ幹事

1997～98年度 地区社会奉仕委員会委員

1998～99年度 地区職業奉仕委員会委員

2005～06年度 クラブ会長

2012～13年度 地区ガバナー補佐（第5グループ担当）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（2回）

米山功労者マルチプル（3回）

米山功労法人（日本都市設計株式会社）

ただ今ご紹介をいただきました、札幌南ロータリークラブに所属しております武部實でございます。私は入会して30年になりますが、ロータリーについては深い知識がありませんでした。多少褒めてやってもいいかなあと思うのは、入会以来30年、今日この地区大会で100%の表彰をいただいたことくらいだと思います。

2年前、細川パストガバナーのもと、ガバナー補佐を務めさせていただいた時、多少ロータリーを学んだのかなあと思います。それはどんなに人数の少ないクラブであっても地域、街のために一生懸命努力しているロータリアンの苦勞を知ったからであります。今ロータリーを取り巻く環境は大変厳しいものがあります。この2510地区はかつて4千名を超えるロータリアンがおりました。現在は2,500前後の会員数であります。このことを考えますと、この地区の活性化を考えると、地区の組織の在り方についても見直さなければならぬのではないかなあという気もいたします。このことについては、多くのロータリアンの助言をいただきながら研究していきたいと思っております。会員増強につきましては、今一度各地域、各クラブの方々がその地域を見直し、よく見つけ直して、与えるという活動ではなくて地域の方々と共に活動していくということによって、地域の方々の理解を深めることが会

員増強に繋がるのではないかと考えております。

札幌南ロータリークラブは来年60周年を迎えます。札幌南ロータリークラブの伝統的精神は和やか、和む、優しさ、思いやりなどを感じさせる、和やぎ（なごやぎ）であります。私はこの和やぎの精神でガバナーノミネーを務めていきたいと考えております。

先程、最上階が私どものメンバーの席だったんですけれども、誰もいなくてあれっ、どきっとしたんです。そちらの方にたくさんの仲間がまだ残っていただきました。私は十分に札幌南ロータリークラブの会員に支えられております。しかし、この地区の皆さんのご協力なくしてガバナーノミネーは務まるものではありません。どうか心強い支援をいただき、皆さん方とともにロータリーの発展に尽くしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。ありがとうございました。



次期地区大会開催地 ホストクラブ会長挨拶

岩見沢ロータリークラブ会長
鎌田 誠

皆さん、こんにちは。ただ今ご紹介いただきました、嵯峨義輝ガバナーエレクトが所属いたします岩見沢ロータリークラブ会長の鎌田でございます。次期開催地ホストクラブを代表いたしまして、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

今大会は羽部ガバナーを中心に「ロータリーに輝きを」のテーマに沿って、このように盛大に開催され、多くの成果をあげられましたことを心からお喜び申し上げます。また、札幌南ロータリークラブの皆さまには、心温まる大会運営をしていただき、思い出に残る大会となりました。本当にありがとうございました。さらに、先程の記念講演では、国連の親善大使紺野美沙子氏から途上国の現状のお話を聞き、改めて、国際奉仕活動の必要性を再認識したところでございます。

さて、次期開催地岩見沢市は、石狩平野の中央に位置して、豪雪地帯で有名ですが、その影響か肥沃の大地となり、米、麦、玉ねぎなど多くの農産物が豊かに実る穀倉地帯となっております。また北海道でも最大級のバラ園と遊園地を持ちます広大な敷地の岩見沢公園、かつて車、トヨタのプリウスとデザインを争いましたグッドデザイン賞日本一に輝きました岩見沢駅舎、秋には10メートルの櫓を組み世界の白と杵で餅をつきます迫力満点の百餅祭りが開催されます。あまり広く知られて

おりませんが、岩見沢市民はこうしたことに誇りを持つ街であります。

岩見沢ロータリークラブ60周年記念式典を終え、新たな一歩を歩み出しました。

次年度の大会は親子クラブであります栗沢ロータリークラブ、そして岩見沢東ロータリークラブと一緒に、さらに大屋均実行委員長を先頭に地区大会実行委員会のメンバーが一体となって皆さんのお越しをお待ちしております。このような、札幌のような大きな会場はございませんですが、地区大会を通してロータリーの友情とそして親睦がさらに育めますように、皆さんが喜んでいただける大会を目指しております。どうか多くの方のご来場をお待ちしております。次回は岩見沢でお会いしましょう。今日はありがとうございました。

RI会長代理所感

国際ロータリー会長代理 松本 茂太郎

皆さま方、二日間の地区大会、本当にご苦勞様でございます。登録者数1,838名という登録です。また多数のご参加でございます。さすが羽部ガバナーのお人柄だと思います。ちょっと最近はだじゃれが多くて困っておりますけども。

第1日目の会長・幹事会から始まりまして、指導者育成セミナー、関場バスターガバナーのポリオの話がありました。RIの現況報告でちょっと言い忘れたんですけども、私の仕事は繊維業界でアフリカが担当でございます。いわゆる西アフリカで一番左のヌアクショットからナイジェリアまでが担当でございます。私も3回ほどアフリカへ参りました。今まで54カ国海外へ出ております。ただそのナイジェリア、関場さんが言われなかったですけども、前のマジアベRI会長が出ておられますけども、どうしてポリオがなくなるのかなと思ってます。確か行った時にこの言葉だめなんですけど、足をこわして這っている人がいっぱいおりました。それが小児麻痺とはまだ若かったので知らなかったんですけども。そのナイジェリアという国ですけども、もう本当に36部族くらいおまして、中の喧嘩が絶えません。飛行機でロンドンに帰りますと、国境を越えたらスチュワーデスがモスキット、蚊を殺すスプレーをかけます。そしたら皆さん拍手で国境を越えたという国でございます。内乱が起こったらすぐUターンして帰る国でございます。そういうこともお伝えをしておきたいと思っております。だから、ポリオをなくしたいです。いつまでかかるか私はまだわかりません。ただ、皆さん方一人でナイジェリアを入国と出国されたらいつでも私日本のどこでも奢りますので、一言お声をかけていただきたいと思っております。

そして世界地域社会で良いことを実践しているという題で、経験をなされて素晴らしい実践されたことを報告されたフォーラムでございました。

それで今日の本会議でございますけれども、楽しいクラブ紹介、私ああいうの大好きでございますので、うちの地区でもやらせたいと思っております。それから羽部ガバナーが仰った地区の現況報告。大変私も勉強になりました。といいますのも、やはり地区地区によってのローターアクトとかインターアクトとかそういう方の接し方が全部違っておるようでございます。良いところは私も取り入れたいと思っております。米山の親善大使の尤銘煌さんのお話。そしてまた、紺野様の「今、私たちにできること～自分を見つめて、世界を見つめる」という素晴らしい講演でございました。



帰りましたら、地区大会の報告をRIの方にしなければいけません。帰りまして素晴らしい地区大会であったことを報告をいたしておきます。ありがとうございます。

最後になりましたけれども、エイドをしていただきました遠藤ご夫妻には本当にお礼を申し上げます。ありがとうございました。そしてまた、この素晴らしい地区大会を運営されました、田中地区大会実行委員長様をはじめ、札幌幌南ロータリークラブの舩田会長様、そして会員の皆さま、ご家族の皆さま、本当にご苦勞様でした。心より感謝を申し上げ所感とさせていただきます。ライトアップロータリー、輝きを。どうも二日間ありがとうございました。

お礼の言葉

ガバナー 羽部 大仁

皆さん、お疲れ様でございます。この度国際ロータリー第2510地区 地区大会を、国際ロータリー デイリー C.K.ホーン会長代理として国際ロータリー第2710地区松本茂太郎バスターガバナー、令夫人松本洵子様のご臨席を賜り、二日間の地区大会も感動のうちに今終えようとしています。期間中、松本茂太郎会長代理にはこれからの地区運営につきましても種々ご指導いただき、変化しつつある国際ロータリーの現況につきましてもご示唆を願いました。誠にありがとうございました。

今日この感激を忘れることなく、残された地区ガバナーとしての責務を果たして参りたいと考えております。ご来賓として韓国大3700地区のハ総裁はじめ、32名のロータリアンとご家族、台湾第3490地区コウガバナーご夫妻、同期のガバナーとご家族の皆さん、全国各地から、地区内各クラブからご参集をいただいた多くのロータリアンの皆さん。この地区大会を楽しんでいただけたでしょうか。この地区大会が友好を深め、親睦を広め、そういう機会となっただけたでしょうか。それぞれお帰りになりましたら、地域社会にロータリー運動を推進していただきたいとお願いいたします。そして、それぞれのロータリアンが輝くことによって、クラブを輝かせ、地域社会を輝かせ、やがては世界中を輝かせることにつながると確信しています。多くのご参加に心から感謝と敬意を表する次第でございます。



最後にこの大会のホストクラブをお努めいただきました、そしてこの大会を立派に運営していただきました舛田会長はじめ札幌南ロータリークラブの皆さま、田中大会実行委員長はじめ実行委員会の寝食を忘れた準備に対し、深甚なる感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

この大会を終えるにあたりまして、主催者として十分なお挨拶になりませんが、意のあるところをお酌み取りいただきまして、一言ご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。



記念懇親会

大会最終日16時30分羽部ガバナーの点鐘をもって本会議は終了しました。ほっとする間もなく、参加者の皆さんは、急ぎ足でニトリ文化ホールから記念懇親会の会場であるロイトンサッポロに移動しました。会場はロイトンホールで行われました。

羽部ガバナーから、皆さん二日間の地区大会楽しんでいただけたでしょうか。今日これから楽しんでいただけたと思いますが、どうぞおなかをいっぱいにしていただきたいと思います。ご参加いただいた皆さまに心からお礼を申し上げます。どうか一つこれからの時間は大いに北海道の秋の夜長を楽しんでいただきたいと思います。との開会の挨拶があり、続いてこの熱意を来年に引き継げるよう頑張りたいという嵯峨ガバナーエレクトの乾杯のご発声により懇親会の開始となりました。その後、壇上では記念囲碁大会、記念ゴルフ大会の両成績発表が行われました。

ほどなく、アトラクションとして北海道歌旅座による昭和ノスタルジアコンサートが披露されました。懐かしい昭和のヒットパレードに会場は大盛り上がり。「青い山脈」や「学生時代」などを一緒に唱和したり、最後はアンコールにも応えてくださいました。

興奮のうちに予定の時間。武部ガバナーノミニーによる閉会のご挨拶、そして最後は「手に手つないで」の大合唱が、北海道歌旅座さんとの合唱でどの調子もよく、隣のロータリアンの手をぎゅっと握りつつ、大声で歌われました。2日間にわたった地区大会が終わる、との万感こもる中、地区大会はその全てを終了しました。

北海道歌旅座

北海道歌旅座さんは2009年に札幌で旗揚げをされまして、全国の市町村にて延べ500公演を越えるコンサートを行っております。ステージに設置する大型スクリーンで演奏曲のテーマに合わせた多彩なビデオ映像を投影するのが特徴で、聴き心地の良いアコースティック楽器による演奏が基本となっています。本日は昭和の流行歌を21世紀に蘇らせるヒットパレードとして披露していただきました。





物故会員ご尊名



羽幌 (第1グループ)
やま もと さん じろう
山本 三太郎
平成26年2月24日ご逝去 (享年80歳)



札幌東 (第5グループ)
みや さか ふみ のり
宮坂 文範
平成25年10月25日ご逝去 (享年70歳)



砂川 (第2グループ)
あ べ ひろ いち
阿部 博一
平成26年4月9日ご逝去 (享年86歳)



札幌真駒内 (第5グループ)
ふな もと たつ よ
船本 達世
平成25年12月6日ご逝去 (享年91歳)



砂川 (第2グループ)
やま だ しん いち
山田 信一
平成26年4月8日ご逝去 (享年66歳)



千歳 (第7グループ)
むら かみ みつ てる
村上 光輝
平成26年1月6日ご逝去 (享年80歳)



岩見沢 (第3グループ)
たか やま とみ お
高山 富雄
平成25年8月10日ご逝去 (享年77歳)



室蘭 (第9グループ)
かな もと さぶ ろう
金本 三郎
平成25年12月22日ご逝去 (享年80歳)



札幌モーニング (第4グループ)
ささ やま しゅん こう
笹山 峻弘
平成25年8月15日ご逝去 (享年67歳)



函館 (第10グループ)
あ べ こう たろう
阿部 幸太郎
平成26年3月6日ご逝去 (享年81歳)



札幌西 (第4グループ)
い どう ち あき
伊藤 千秋
平成26年6月1日ご逝去 (享年92歳)



函館五稜郭 (第11グループ)
あ ひこ おさむ
阿彦 治
平成25年10月5日ご逝去 (享年63歳)



札幌西 (第4グループ)
た なか まさ とし
田中 昌敏
平成25年9月16日ご逝去 (享年77歳)



函館北 (第11グループ)
しば さき あきら
柴崎 晃
平成26年1月18日ご逝去 (享年72歳)



札幌東 (第5グループ)
いそ ば ゆう いち
磯場 勇一
平成25年9月17日ご逝去 (享年94歳)



北斗 (第11グループ)
たけ はら りき や
竹原 力也
平成26年6月10日ご逝去 (享年43歳)



札幌東 (第5グループ)
かしわ ばら せい いち
柏原 誠一
平成26年5月7日ご逝去 (享年67歳)

表彰

■RI会長賞 (2013-2014年度)

千歳セントラルRC

■ロータリー財団表彰 (2013-2014年度)

・財団一人当り寄付額優秀クラブ

第1位	札幌幌南RC	\$ 368.37
第2位	札幌北RC	\$ 359.65
第3位	登別RC	\$ 325.81

・財団寄付優秀クラブ

第1位	札幌幌南RC	\$ 19,155.39
第2位	札幌RC	\$ 16,300.00
第3位	小樽RC	\$ 14,941.18

・メジャードナー表彰

伊藤 崇 (深川RC) 中垣 陽一 (滝川RC)
 嵯峨 義輝 (岩見沢RC) 広瀬 清 (札幌東RC)
 光銭 裕二 (函館五稜郭RC)

■(公財)ロータリー米山記念奨学会表彰 (2013-2014年度)

・米山一人当り寄付額優秀クラブ

第1位	札幌西RC	31,365円
第2位	七飯RC	22,777円
第3位	美唄RC	22,774円

・達成クラブ表彰

札幌幌南RC (3千万円達成)
 砂川RC (2千万円達成)
 恵庭RC (1千万円達成)

・メジャードナー表彰

伊藤 崇 (深川RC) 神部 洋史 (滝川RC)
 中垣 陽一 (滝川RC) 吉田 正治 (滝川RC)
 井門 英明 (美唄RC) 竹原 巖 (札幌北RC)
 森谷 明弘 (札幌西RC) 岡崎 庚午 (札幌西RC)
 山地 庸夫 (札幌手稲RC)
 白石 正勝 (札幌東RC) 上野 一義 (七飯RC)
 鍋谷 操子 (函館セントラルRC)
 酒井 正人 (函館五稜郭RC)
 池垣 清信 (函館東RC)

■RI会員増強推進計画の表彰 (2013-2014年度)

妹背牛RC 室蘭北RC

■RI会員増強・拡大表彰 (2013-2014年度)

妹背牛RC	留萌RC	美唄RC
江別RC	栗沢RC	栗山RC
当別RC	札幌RC	札幌手稲RC
札幌清田RC	倶知安RC	小樽銭函RC
蘭越RC	恵庭RC	千歳セントラルRC
北広島RC	長沼RC	三石RC
様似RC	室蘭東RC	室蘭北RC
登別RC	洞爺湖RC	七飯RC
長万部RC	函館セントラルRC	
北斗RC	松前RC	白老RC
苫小牧東RC		

■RI小規模クラブ会員増加の表彰 (2013-2014年度)

長万部RC

■地区会員増強優秀賞 (2013-2014年度)

第1位	室蘭北RC	125%
第2位	札幌手稲RC	116%
第3位	恵庭RC	115%
第4位	美唄RC	114%
第5位	札幌幌南RC	112%

■ロータリークラブ・セントラル賞 (2013-2014年度)

羽幌RC	赤平RC	札幌西北RC
岩内RC	千歳セントラルRC	

ガバナー特別表彰

個人表彰

出村知佳子 会員（札幌北RC）

東日本大震災復興支援の一環として行っている福島キッズキャンプの企画運営及び率先して事業の運営にあたっていることに対して

齋藤 康嗣 会員（札幌真駒内RC）

姉妹クラブ、友好クラブの交流に対する貢献、又国際大会へのクラブ会員を伴っての積極的な参加に対して

前田 稔 会員（岩内RC）

ロータリークラブ在籍50年、他種々のロータリアンとしての活動に対して

クラブ表彰

札幌手稲RC 国際奉仕委員会、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会

未来の夢計画に基づく、「CAMUI型ハイブリッドロケット体験学習会」を活動区域の小学校高学年、中学生の子供たち約35名を対象に行ったことに対して

札幌東RC 社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、新世代奉仕委員会

月寒川にぎわい川まつりに、母子生活支援施設で生活している親子を招待した。

又青少年交換プロジェクトの推進に努めたこと、北海高校インターアクトクラブへの積極的支援に対して

札幌南RC 社会奉仕委員会

公益社団法人札幌母子寡婦福祉連合会が主催する「寡婦ひとり親家族親睦クリスマス会への支援」事業に対して

小樽南RC 奉仕プロジェクト委員会

長期計画を見据えた「未来を語る夢会議」の提言を受け、小樽RC、小樽銭函RCと協力しての「小樽市民国際交流会議」の実施に対して

函館RC 社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会、函館RC奨学委員会

老人施設入居者の函館湾クルージング招待事業に対して

函館五稜郭RC

ベトナムホーチミン市にあるジージャック孤児院支援事業に対して

函館東RC 社会奉仕委員会

函館西桔梗野球場に5年にわたり、芝生、植樹等の整備事業を実施したことに対して

永年出席100%会員表彰 (敬称略)

45年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
札幌東	吉山	八郎	函館北	森	秀樹
余市	柳田	貞夫			

40年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
札幌	荒	紀男	函館亀田	江端	章
札幌西	佐藤	裕一	函館北	松橋	博
札幌真駒内	黒田	一夫			

35年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
芦別	神野	一民	小樽南	山田	幸雄
砂川	西川	博久	関越	堀川強	太郎
札幌西	大金	武夫	えりも	傳法	英司
札幌西北	大橋	陸男	登別	若木日出	男
札幌東	関堂	勝幸	函館亀田	西川	忠弘
札幌幌南	田中	賢一			

30年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
深川	大西	道祥	千歳	末廣	孝
	渡辺	一義	えりも	山科	幸一
赤平	渡部	芳己	静内	佐藤	雅裕
砂川	千葉	清		山田	一孝
	小林	公民	室関東	矢萩富	士雄
札幌西北	西岡	憲廣	室関北	川本	康裕
札幌東	坂東	宗一	函館	百合	宣博
札幌南	北島	廣	函館五稜郭	川畑	武裕
	西川	哲也		貞森	晃
	武部	實		酒井	正人
	坪田	幸栄			

25年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
留萌	二ノ宮	清信	札幌手稲	山本	雅章
赤平	武藤	哲雄	小樽南	福島	正紘
	尾崎	清富		山谷憲	太郎
砂川	竹田	俊一	関越	志比川	武
滝川	佐藤	佳朗	えりも	砂原	勲
	篠島	弘	静内	市毛	満
岩見沢	荒木	英雄	室関	木下	博
	西尾	行夫		国田	雅弘
札幌	廣川	雄一	室関北	加藤	栄吉
	杉野目	浩	函館	工藤	敏夫
札幌モーニング	堀川	孝明		額賀	康之
札幌手稲	丹羽	祐而			

20年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
留萌	原田	功	札幌手稲	長谷川	壽朗
江別	金田	敏雄	関越	本間	義明
江別西	上田	芳明	千歳	浅沼	廣幸
岩見沢	荒木	敏博	えりも	荒木	義廣
札幌	濱野	信二		菊地	竹勇
	櫻井	政経		築紫富	美雄
	田嶋	忠義	静内	嵐	忠一
札幌モーニング	吉田	義一		中山弘	三郎
札幌西	石黒	直文	室関北	松島	茂
札幌西北	小川	眞治	函館セントラル	鍋谷	操子

15年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
砂川	石家	裕二	札幌清田	江口	洸
	山崎	義彦		真鍋	昌市
滝川	石黒	安雅		玉井	清
江別	奥野	一嘉	札幌真駒内	川越	仁
江別西	森木	潤一	札幌南	藤澤	豊喜
岩見沢	武蔵	輝彦	小樽	笠間	茂
札幌	指川	司	小樽南	加藤	正幸
札幌手稲	中川原	憲	余市	高見	祐司
札幌東	佐藤	芳郎	室関	嶋井	清貴
	和田	雅博	函館亀田	出戸	秀光
	矢橋潤一郎		函館東	安田	真也
札幌清田	阿部	哲夫	苫小牧	市町	峰行

10年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
深川	長谷川	幸央	小樽	田中	良和
芦別	荒川	忠義		山田	雅敏
	角幡	裕明	余市	藤田	功
	北	正信		吉原	伸
滝川	小山	進	千歳	村上	倫行
江別	武田	泰一		五十嵐	桂一
岩見沢	谷口	弘	恵庭	宮内	光則
札幌	野村	光孝		村本	満男
札幌西北	穴倉	迪彌	静内	福嶋	尚人
札幌手稲	渡辺里代子		浦河	佐藤	尚志
札幌東	瀬尾	昌資	室関	堀江	忠義
札幌清田	村本	忠		村井	敦司
札幌南	村山	圭一	室関東	小林	進
俱知安	尾形	智磨	函館	松田	俊司
小樽	平松	正人	函館五稜郭	上加	淳悦
	佐藤	慶一	函館東	松山	茂



ロータリー財団表彰 (敬称略)

<メジャードナー>

クラブ名	名	前	レベル	クラブ名	名	前	レベル
深川	伊藤	崇	(1)	札幌東	広瀬	清	(1)
滝川	中垣	陽一	(1)	函館五稜郭	光銭	裕二	(1)
岩見沢	嵯峨	義輝	(1)				

<マルチプル・ボール・ハリス・フェロー>

クラブ名	名	前	回数	クラブ名	名	前	回数
深川	杉村	修	(4)	札幌真駒内	齋藤	康嗣	(3)
羽幌	福井	俊一	(2)	札幌南	服部	信吾	(2)
赤平	榊原	照夫	(2)		加藤	正雄	(2)
	布施	洋一	(1)		平	昌夫	(2)
赤平	宮川	徹	(2)		田嶋	久嗣	(2)
	武藤	哲雄	(1)		トールクリステン		(5)
	竹俣	紀孝	(1)	新札幌	伊藤	豊	(1)
	渡部	芳己	(2)		嘉屋	輝夫	(3)
芦別	荒川	忠義	(1)	小樽	西條	文雪	(2)
	武田	昭二	(1)		末永	通	(1)
砂川	瓜	俊雄	(2)		杉江	俊太郎	(1)
	神部	洋史	(7)	小樽南	吹越	範義	(3)
滝川	高山	訓正	(3)		加藤	正幸	(2)
	渡邊	恭久	(3)		松浦	光紀	(1)
美唄	宝崎	錠二	(3)		見延	庄三郎	(2)
	武市	雄弘	(1)		宮川	伸二	(1)
江別	吉村	誠治	(4)		山村	弘一	(1)
	郷	和平	(5)	小樽銭函	舛井	齊	(1)
岩見沢	鎌田	誠	(2)	余市	森	義彦	(2)
	森居	清	(2)		谷川	淑郎	(6)
札幌	武蔵	輝彦	(1)	千歳	川端	清	(1)
	西村	芳徳	(2)	歳	長澤	邦雄	(2)
札幌	佐川	修一	(1)	千歳セントラル	今井	章夫	(1)
	鈴木	正夫	(3)	恵庭	早瀬	源一	(1)
札幌	市川	唯行	(8)	静内	市毛	満	(1)
	柿本	純	(1)	浦河	小関	孝雄	(1)
札幌北	久保田	俊昭	(2)	室蘭北	村井	玄乙	(3)
	田嶋	忠義	(1)		笹谷	豊明	(1)
札幌北	出村	知佳子	(2)	登別	皆川	和廣	(1)
	藤城	英明	(1)		山瀬	隆幸	(1)
札幌北	福田	十太郎	(3)	函館	藤井	方雄	(5)
	桶川	昌幸	(1)		原	一彰	(1)
札幌北	佐藤	章	(2)		池見	厚一	(2)
	嶋田	久昭	(1)		柴田	繁男	(4)
札幌西	石黒	直文	(3)	函館亀田	江端	章	(1)
	石丸	修太郎	(4)		松田	武	(1)
札幌西	伊藤	千秋	(1)		西川	忠弘	(2)
	戸部	謙一	(2)		鹿野	文男	(2)
札幌西北	小林	秀樹	(2)		玉井	清治	(1)
	三上	直彦	(6)		山口	勝彦	(1)
札幌手稲	小川	眞治	(5)	七飯	上野	一義	(4)
	針谷	龍宜	(7)	長万部	赤塚	章	(2)
札幌東	三戸	義美	(1)	函館セントラル	浅野	翼	(2)
	赤泊	史昭	(1)		伊藤	道雄	(8)
札幌東	坂東	宗一	(6)		小泉	護太郎	(8)
	藤井	英勝	(3)		南	茂樹	(1)
札幌東	菊地	章	(2)		坂下	賢二	(5)
	米谷	龍三	(3)	函館五稜郭	石坂	仁	(1)
札幌東	高橋	徹	(4)		大日向	豊吉	(1)
	滝川	武彦	(2)	函館東	明本	修一	(1)
札幌真駒内	丸山	淳士	(4)				

クラブ名	名	前	回数	クラブ名	名	前	回数
函館東	池垣	信一	(1)	函館北	南木	哲雄	(1)
	森元	浩	(3)		森	秀樹	(1)
	時田	茂	(1)		斉藤	紀一	(1)
	矢島	千穂	(1)	北斗	光銭	健三	(2)
	安田	真也	(1)	白老	藤田	英雄	(1)
	吉村	昭二	(4)		笠井	博輝	(1)
	吉村	朝子	(2)		加藤	信雄	(2)
函館北	中川	洲平	(3)	苫小牧東	木本	宏	(1)
	中野	亮	(2)		小林	忠男	(2)
	西尾	昌一	(1)		松下	昌平	(3)
	増田	定雄	(2)		斉藤	英明	(1)
	増山	正	(1)	苫小牧北	高木	一男	(3)
	松橋	博	(1)				

<ボール・ハリス・フェロー>

クラブ名	名	前	回数	クラブ名	名	前	回数
留萌	大嶋	孝広	(1)	新札幌	村上	寛	(1)
赤平	板垣	英三	(1)	小樽	佐藤	勝次	(1)
	菊島	好孝	(1)	小樽南	村越	仁	(1)
	木村	盛雄	(1)		佐藤	公俊	(1)
砂川	沢田	広志	(1)	恵庭	川原	光男	(1)
滝川	小山	進	(1)	長沼	池田	徳重	(1)
	近藤	正孝	(1)	静内	荒川	雅喜	(1)
	西井	勝明	(1)		林	夫二男	(1)
美唄	早河	常機	(1)		廣島	貴史	(1)
	伊原	潤司	(1)		池田	征隆	(1)
	岸山	一郎	(1)		山口	央志	(1)
岩見沢	兼行	四男美	(1)	伊室	達	多田	(1)
	中路	幹雄	(1)	室蘭	小熊	昌央	(1)
	澤田	慎一	(1)		佐々木	彰夫	(1)
岩見沢東	早坂	哲	(1)		若林	隆樹	(1)
	豊岡	義博	(1)	登別	早川	邦雄	(1)
栗山	磯野	武司	(1)		斎藤	正史	(1)
札幌	中村	雅臣	(1)		鈴木	高士	(1)
札幌北	佐々木	宏	(1)		高岸	満則	(1)
札幌西	浅野	元広	(1)	函館亀田	小倉	正信	(1)
	浜松	義弘	(1)		森	小長井	(1)
	川端	忠範	(1)		西村	正史	(1)
	宮崎	善昭	(1)	函館東	五十嵐	正	(1)
札幌手稲	中川原	憲	(1)		池垣	信一	(1)
札幌東	大谷	莊一	(1)		佐藤	美子	(1)
	坂口	孝一	(1)	苫小牧	前田	浩人	(1)
札幌真駒内	高野	園子	(1)	苫小牧東	木村	京子	(1)
札幌南	遠藤	昭一	(1)		長岡	英幸	(1)
	山本	勤	(1)		関	千代子	(1)

<ベネファクター>

クラブ名	名	前	回数	クラブ名	名	前	回数
美唄	宝崎	錠二	(1)	小樽	熊澤	隆樹	(1)

<ポール・ハリス・ソサエティ 創立会員>

クラブ名	名前	クラブ名	名前	クラブ名	名前	クラブ名	名前
滝	川 神部 洋史	札幌北	出村知佳子	静内	細川 好弘	函館セントラル	鍋谷 操子
	渡邊 恭久	札幌西	矢橋 温郎	登別	遠藤 秀雄		坂下 賢二
美	唄 宝崎 錠二	札幌東	塚原 房樹		皆川 和廣		山口 治浩
	伊原 潤司	札幌南	羽部 大仁		山瀬 隆幸	函館五稜郭	酒井 正人
	吉村 誠治	札幌真駒内	丸山 淳士	七飯	上野 一義	函館北	小笠原 孝
江	別 安孫子 建雄		齋藤 康嗣	函館セントラル	伊藤 道雄	苫小牧	橋本 洋一
札幌	幌 伊藤 義郎	札幌南	岩城 秀晴		小泉護太郎	苫小牧北	伊藤 長英
	佐々木 正丞	小樽	熊澤 隆樹		南 茂樹		

(公財)ロータリー米山記念奨学会表彰 (敬称略)

<米山功労者メジャードナー>

クラブ名	名前	回数	クラブ名	名前	回数
深	川 伊藤 崇 (10)		札幌西	岡崎 庚午 (14)	
滝	川 神部 洋史 (10)		札幌手稲	山地 庸夫 (10)	
	中垣 陽一 (10)		札幌東	白石 正勝 (19)	
	吉田 正治 (15)		七飯	上野 一義 (18)	
美	唄 井門 英明 (10)		函館セントラル	鍋谷 操子 (14)	
札幌	幌 北 竹原 巖 (14)		函館五稜郭	酒井 正人 (16)	
札幌	幌 西 森谷 明弘 (11)		函館東	池垣 清信 (26)	

<米山功労者マルチプル>

クラブ名	名前	回数	クラブ名	名前	回数
砂	川 杉本 勉 (2)		札幌東	高橋 徹 (4)	
	武田 昭二 (3)			山中 樹 (2)	
	竹田 俊一 (2)		札幌清田	真鍋 昌市 (2)	
滝	川 篠島 弘 (7)		札幌南	加藤 康夫 (2)	
美	唄 阿部 稔 (6)		札幌南	朝妻 邦雄 (4)	
	大竹 繁夫 (7)			服部 信吾 (3)	
	吉村 誠治 (7)			今井 國雄 (5)	
江	別 西 石黒 良平 (6)			三浦 義昌 (2)	
岩	見 沢 武蔵 輝彦 (3)			中道 博 (2)	
	高谷 郁男 (2)			佐藤源五郎 (9)	
	谷 勲 (3)			須田 義雄 (4)	
	谷口 弘 (2)		新札幌	高橋 雅行 (2)	
栗	沢 本田 正一 (6)		小樽	山田 雅敏 (2)	
	佐野 邦夫 (2)		小樽	南 吹越 範義 (5)	
札幌	幌 小山 司 (2)		長沼	清水 彰 (3)	
札幌	はまなす 佐藤 一 (4)		静内	富岡 豊 (2)	
	戸部アナリア (4)		室蘭	北 内池 真人 (2)	
札幌	幌 西 伏木 忠了 (6)		函館	国立 金助 (4)	
	上出 利光 (3)		函館セントラル	伊藤 道雄 (9)	
札幌	西北 大島 利一 (3)		函館五稜郭	石尾 清広 (4)	
札幌	手稲 石田 誠 (5)			河村 隆平 (5)	
札幌	幌 東 赤泊 史昭 (2)		函館東	林 完治 (2)	
	荒岡幹史郎 (6)			宮崎あけみ (4)	
	朝倉 正人 (2)		苫小牧東	齊藤 英明 (2)	
	菊地 章 (5)		苫小牧北	菊地 芳彦 (2)	

<米山功労者>

クラブ名	名前	回数	クラブ名	名前	回数
砂	川 梶尾 幸克		札幌清田	西澤 寛俊	
滝	川 宮崎 英彰		札幌南	福山 耕司	
	西井 勝明			稲津 亘	
	坂田 秀昭			松原 良次	
	上田 秀司			大谷 莊佐	
	鷺尾 昌法			嶋津 博	
美	唄 北野 保孝			山谷 英一	
江	別 西 支部 英孝		新札幌	村上 寛	
岩	見 沢 中路 幹雄		小樽	板垣 明	
	玉田 忠		市	中井 克雄	
岩	見 沢 東 竹村 正義			清水 義信	
札幌	はまなす 徳物 葉子		恵庭	斉藤 茂生	
札幌	北 栗原 清昭			山澤 興治	
	佐藤 宏		長沼	沼田嶋 俊美	
	澁田 勲		静内	近藤 忠義	
札幌	モーニング 広瀬 進		伊達	渡部 良一	
	小松崎文一		室蘭	平野 和典	
	露木 茂		室蘭	中田 敏行	
札幌	手稲 中川原 憲		室蘭	東 板東 晃	
	渡辺里代子			佐々木 彰夫	
札幌	幌 東 藤井 英勝			高島 宏	
	伊藤 栄一		室蘭	北 赤崎 幸三	
	木村 隆夫			斉藤 崇	
	吉川 和治		七飯	石川 強	
札幌	清田 中村 隆		苫小牧	東 佐藤 正	

<米山功労法人>

クラブ名	名前
札幌南	日本都市設計(株)

<米山功労クラブ>

クラブ名	回数	クラブ名	回数
深川	(15)	小樽南	(13)
滝川	(30)	余市	(4)
江別	(2)	千歳	(7)
岩見	(29)	長沼	(4)
札幌	(31)	静内	(9)
札幌はまなす	(6)	室蘭	(7)
札幌北	(26)	室蘭	(7)
札幌西	(25)	函館	(12)
札幌東	(41)	函館五稜郭	(21)
札幌清田	(4)	函館東	(23)
札幌南	(40)	苫小牧	(7)

ご来賓ご芳名 (敬称略)

ご 来 賓

北海道知事 高橋はるみ
札幌市長 上田 文雄

ロータリーご来賓

国際ロータリー会長代理 松本茂太郎
(第2710地区パストガバナー 福山RC)
国際ロータリー会長代理令夫人
松本 洵子(福山RC)
第2830地区パストガバナー 関場 慶博(弘前アップルRC)

ご招待者(地区外)

第3490地区ガバナー 洪 清暉(台湾/板橋東RC)
第3490地区ガバナー令夫人 莊 淑雁(台湾/板橋東RC)
第2500地区ガバナー 奥 周盛(帯広RC)
第2500地区ガバナー令夫人 奥 寿子(帯広RC)
第2500地区ガバナー令嬢 奥 純奈(帯広RC)
第2570地区ガバナー 坂本 元彦(富士見RC)
第2570地区ガバナー令夫人 坂本 裕子(富士見RC)
第2580地区ガバナー 鈴木 孝雄(東京池袋RC)
第2770地区ガバナー 濱野 英美(大宮シティRC)
第2770地区ガバナー令夫人 濱野たか子(大宮シティRC)
第2780地区ガバナー 渡辺 治夫(横須賀RC)
第2500地区パストガバナー 葎本 正美(釧路ベイRC)
第2500地区パストガバナー令夫人
葎本 公恵(釧路ベイRC)
ロータリーの友事務所所長 渡辺 誠二(東京みなとRC)

韓国第3700地区

総 裁 河 潤 守(大邱Eagle RC)
次期総裁 孫 昌 銖(大邱青龍 RC)
次期総裁 令夫人 朴 京 南
前 総 裁 都 載 旭
第一地域代表 李 準 喆(大邱東北 RC)
第二地域代表 金 敦 錫(大邱上仁 RC)
第四地域代表 鄭 鳳 南(大邱壽城 RC)
第六地域代表 鄭 太 仙(大邱水仙花 RC)
第九地域代表 金 辰 泳(大邱太白 RC)
第十一地域代表 崔 載 民(大邱東信 RC)
研修委員 李 承 浩(大邱東信 RC)
総裁特別代表 李 斗 鉉(清道 RC)
総裁特別代表 金 重 坤(大邱Eagle RC)
韓日親善副委員長 崔 慶 洙(大邱琴江 RC)
言論委員長 宋 春 姬(大邱美智 RC)
情報委員長 金 榮 漢(大邱太白 RC)
事務総長 金 基 燮(大邱Eagle RC)
地区財務 朴 成 雨(大邱Eagle RC)
事務次長 朴 峻 燦(大邱Eagle RC)
事務次長 令夫人 都 郢 敏
企劃擔當 尹 鳳 焄(大邱Eagle RC)
儀典擔當 盧 元 香(大邱Eagle RC)
会 長 尹 仁 淑(大邱 Cosmos RC)
会 員 宋 貞 淑(大邱 Cosmos RC)
会 長 玄 光 混(遠城 RC)
会 員 金 東 熙(遠城 RC)
次期総務 朴 大 錫(大邱東信 RC)
会 員 金 秉 昱(大邱上仁 RC)
会 員 吳 漢 洙(大邱上仁 RC)
副 会 長 高 先 禧(東e RC)
子 女 金 珉 志
会 員 金 允 正(東e RC)
子 女 朴 敍 泳

地区大会特別参加者名簿 (敬称略)

■札幌インナーホイールクラブ

赤泊 秀子	青木恵里子	荒岡未知代
朝倉 良子	出倉 朋美	福山美保子
早崎 昭子	犬嶋由香里	笠原不二子
柏原 克子	菊地美矢子	木村美知子
児玉 礼子	岡部 静子	奥貫 せつ
白石 智子	須田 明美	鈴木 康子
八木 友美	山光せい子	

■インターアクトクラブ (顧問教官も含む)

- ・岩見沢緑陵高等学校 I A C (岩見沢)

池田 萌絵	小山内涼音	笹木 沙鈴
-------	-------	-------
- ・希望学園札幌第一高等学校 I A C (札幌)

浅水 遥	菊池 真希	根上 悠花
小川 梓	高田 彩未	滝川 詩織

手塚友理奈
- ・札幌龍谷学園高等学校 I A C (札幌モーニング)

坂本 彩華	佐竹 祐季	菅原 春佳
-------	-------	-------
- ・札幌山の手高等学校 I A C (札幌西北)

阿部佑太郎	藤田 亘	朽木 大晴
水沼 司	成田 嵩	野坂 大介
鈴木 悠太	高橋 勇人	
- ・北海高等学校 I A C (札幌東)

八谷 萌佳	石川 茉奈	木村有加里
北清 愛子	馬淵 貴大	三浦 花奈
清水 萌美	杉山 瑠梨	田中 美穂
堤 俊洋		
- ・静内高等学校 I A C (静内)

安藤 翔子	土井 颯人	畠山 昂典
本庄 実幸	河井 美玖	久保美菜恵
中山 早妃	大貫 絢佳	大滝 結菜
紫垣 希愛	清水 琴美	篠原 真由
田中 継美	漆原 稜太	渡部 彩佳
- ・大谷室蘭高等学校 I A C (室蘭東)

畠山 裕太	平井優太郎	眞井菜々子
渡辺 紫緒	米村 康汰	
- ・顧問教師

辻元 卓	(岩見沢緑陵高等学校)
下山恵美子	(希望学園札幌第一高等学校)
西田 恵理	(札幌山の手高等学校)
柴田 雅裕	(静内高等学校)
福岡ひろみ	(大谷室蘭高等学校)
田中 文佳	(札幌龍谷学園高等学校)

■ローターアクトクラブ

- ・赤平 R A C (赤平)

工藤 睦美	田中 美晴
-------	-------
- ・札幌幌南 R A C (札幌幌南)

文 琴	深貝友香梨	後藤 康友
伊東かほり	伊藤 晴竹	門脇みなみ
川端さなえ	今野佑一郎	九十 沙織
三浦 幸恵	長沢 蓮	中島 陽子
プーナット・スパーブクン		佐々木ななみ
横尾 真実	吉田 剛	
- ・千歳 R A C (千歳)

北村 秀美	村山はるか	汪 可妮
吉岡 毅		
- ・室蘭北 R A C (室蘭北)

有賀 佑樹	三本 彩奈	中野 佑美
-------	-------	-------

■交換留学生

- ・江 別 西 エデン・ローズ・グリガー
- ・札幌モーニング ジュリア・ケイトリン・レノックス
- ・札幌幌南 ザッカーリー・マナハン
- ・恵 庭 ブリジット・グレイス・ドライバー
敦澤 蒼
- ・長 沼 アントニア・スキーン
- ・登 別 アレックス・マコーミー

■青少年交換学友

- ・恵 庭 伊藤 福

■よねやま親善大使

- ・第2800地区米山学友会会長 尤 銘煌

■米山奨学生

- ・江 別 金 玫瑰
- ・岩見沢 蘇 日暁
- ・札幌 文 盛哉
- ・札幌北 巖 智凡
- ・札幌モーニング チャン・ゴク・パオ
- ・札幌西 朴 炫珍
- ・札幌西北 朴 鏗
- ・札幌手稲 サバルワラ・ラファーニャ
- ・札幌清田 崔 鉉鎭
- ・札幌幌南 チェスパ・マリアンナ
- ・札幌南 金 鐘淑
- ・小樽 王 力勇
- ・小樽南 李 アルム
- ・室蘭東 ウォン・ジェンシェン
- ・苫小牧北 ヴティ・テウイ

■RCC

- ・苫小牧北 池田亜紀子 垂石 郁子 山岸 康弘

■R財団学友

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 菅原 佳子 | 鈴木 沙織 | 渡辺多会子 |
|-------|-------|-------|

並行プログラム スパウス（配偶者） 「アトラクションと食事でリフレッシュを」

地区大会スパウス委員長 深貝 亨

スパウスプログラムのテーマを「アトラクションと食事でリフレッシュを」と銘打ち、ご家族へ感謝の気持ちとして、ホテルのスペシャルルームで日常の喧噪から離れ、アトラクションとお食事をゆっくり堪能していただく企画をさせていただきました。

札幌のパフォーマー、ミスターきくちによるジャグリングショー＆マジックショーをお楽しみいただいた後は、北海道産食材をふんだんに使いましたお料理をご用意いたしまして、ゆっくりとご歓談をお楽しみいただきました。

さらにお楽しみいただけるように、お食事後はフレアバーエスのバーテンダーによるカクテルショーを開催いたしました。カップインという技や、ロータリー特製ボトルを使ったパフォーマンスなどを披露いただきました。最後はパフォーマンスをしながら参加者24名分、24杯のノンアルコールカクテルを完成させ、皆さまに飲んでいただきました。マンゴーベースのノンアルコールカクテルで、スイーツと一緒に皆さま美味しくいただきました。

2時間ほどのプログラムでしたが、ご参加の令夫人の皆さまにご満足いただき、楽しく自由なひと時を過ごすことができました。



並行プログラム 青少年プログラム

「歌おう、食べよう、学ぼう～北海道・音楽・食とテーブルマナー講座～」

地区青少年奉仕委員長 出村知佳子

青少年プログラムでは「歌おう、食べよう、学ぼう～北海道・音楽・食とテーブルマナー講座～」と題しまして、ミュージシャンラウフェンによる演奏、テーブルマナー講座を開催いたしました。

まず最初は、オホーツク観光大使を務めるラウフェンをお招きし、知床の海をイメージした「幻想花」など3曲を披露いただきました。ラウフェンは、知床出身のボーカルcukaさんと、ギターの克さんによる2人組バンドです。

小林パストガバナーによる挨拶の後は、第2部のテーブルマナー講座を行いました。ロイトンサッポロの講師による、テーブルマナー講座を学びながら、フランス料理のミニコースをお楽しみいただきました。若い青少年の皆さまからはご質問が出るなど、熱心に聴かれていました。

参加者の皆さまは、プログラムを真剣に聞いていただきながらも、タイの子どもたちに届ける折り鶴を折りながらプログラムを受けてくださいました。最後は記念撮影をして終了となりました。



地区大会記念囲碁大会のご報告

地区大会記念囲碁大会委員長 戸井 敏夫

本年度地区大会の記念行事の一環である記念囲碁大会は、9月21日（日）日本棋院北海道本部を会場として、地区会員16名の参加によって開催されました。

競技開始前に行われた開会式は、田中賢一地区大会実行委員長の挨拶で始まり、戸井敏夫地区大会囲碁委員長の挨拶、庭山早苗審判長の競技方法の説明の後、4名1組の4チームによる団体戦で日頃の腕を競い合いました。

結果は、佐藤宏5段（札幌北）、五十嵐達明4段（滝川）、富岡公治3段（札幌西北）、植田英隆初段（札幌）から成るAチームが、通算11勝1敗の圧倒的な成績で優勝しました。

準優勝は、中村孝一5段（札幌真駒内）、庭山早苗3段（札幌）、若木日出男3段（登別）、戸部謙一初段（札幌西）から成るCチーム、個人の全勝賞は、いずれもAチームの五十嵐4段、富岡3段、植田初段が勝ち取り団体優勝に花を添えました。

場所をKKRホテルに移しての表彰式は、羽部大仁ガバナー

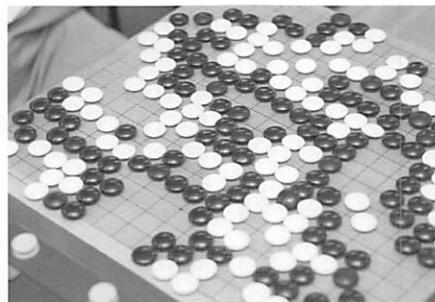


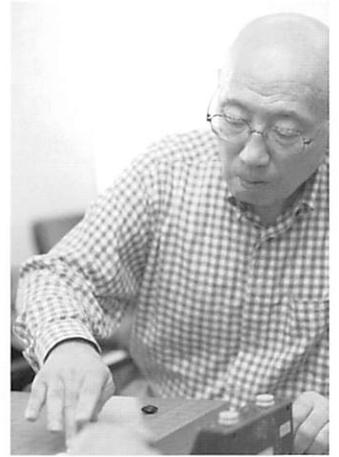
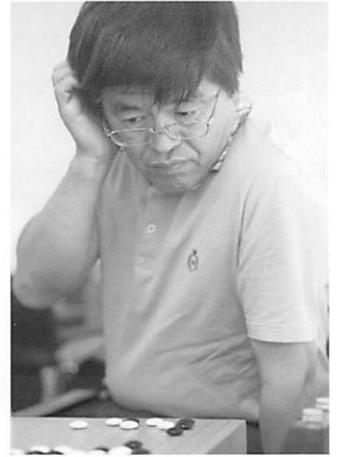
のジョークを交えた挨拶の後、優勝チーム各人に優勝楯が手渡され、参加者への景品がもれなく配られた後、舛田雅彦ホストクラブ会長の乾杯により懇親会に入りました。

最初は和やかな歓談が続きましたが、恵庭クラブ大川健一会員のスピーチを皮切りに、参加者全員が次々とマイクの前に立ち囲碁への熱き思いを語るうち、中締めは、岩見沢クラブの大屋仁次年度地区大会実行委員長の挨拶と、「来年また会いましょう」の発声による乾杯で大会は無事終了いたしました。

第2510地区大会記念囲碁大会成績表

チーム名	選手氏名	1回戦	2回戦	3回戦	団体戦成績			個人戦成績
					勝数	総勝星	順位	勝数
A	佐藤 宏 五段 札幌北	○	○	×	9	11	優勝	全勝 全勝 全勝
	五十嵐達明 四段 滝川	○	○	○				
	富岡 公治 三段 札幌西北	○	○	○				
	植田 英隆 初段 札幌	○	○	○				
B	山口 俊秀 五段 静内	×	×	○	1	3	4位	
	山地 庸夫 四段 札幌手稲	×	×	×				
	矢部 繁 三段 苫小牧北	×	○	×				
	大川 健一 3級 恵庭	×	○	×				
C	中村 孝一 五段 札幌真駒内	○	×	×	6	6	準優勝	
	庭山 早苗 三段 札幌	○	×	○				
	若木日出男 三段 登別	×	×	○				
	戸部 謙一 初段 札幌西	○	×	○				
D	戸井 敏夫 七段 札幌幌南	×	○	○	1	4	3位	
	中村 和雄 四段 札幌手稲	×	○	×				
	日下 健三 初段 恵庭	○	×	×				
	中川 信喜 3級 札幌幌南	×	×	×				





地区大会記念ゴルフ大会を終えて

地区大会記念ゴルフ大会委員長 有田 均

2014年～2015年度国際ロータリー第2510地区記念ゴルフ大会は10月3日（金）札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースにてダブルペリア方式で開催されました。

あいにくの小雨と霧にもかかわらず、地区内からエレクトの嵯峨義輝様とノミニの武部 寛様にもご参加いただき、また、83名ものゴルフ大好きロータリアンのご参加がありました。

天気には恵まれない中、紳士のプレーで爽やかな雰囲気となり、親睦を深められたことは喜ばしいことでした。

棄権者もなくロータリアン魂で全員ホールアウトしました。

表彰式は田中賢一実行委員長の進行で、栄えある優勝は函

館東ロータリークラブの五十嵐稔様（2011～2012年度地区大会記念ゴルフ優勝者）、準優勝は我が札幌南ロータリークラブ幹事の犬友淳会員でございました。

田中実行委員長始め、嵯峨エレクトと武部ノミニのユーモアあるスピーチで退席者も無く楽しい表彰式になりました。

優勝者と準優勝者は10月5日（日）地区大会記念祝賀会会場にて羽部ガバナーから特別記念品（バカラペアグラス）を差し上げました。

我が札幌南ロータリークラブの会員はゴルフをしないのに、佐野 剛会員、佐藤泰寛会員、宮澤学志会員、高橋和彦会員等、地区大会記念ゴルフをお手伝い頂き心からロータリーの友情に感謝いたします。

また、2510地区記念ゴルフ大会参加者の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



地区大会記念ゴルフ大会成績表

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	五十嵐 稔	41	46	87	16.8	70.2	43位	福田 則之	46	51	97	19.2	77.8
準優勝	大友 淳	44	46	90	19.2	70.8	44位	管野 龍雄	49	48	97	19.2	77.8
3位	木村 公幸	41	45	86	13.2	72.8	45位	中島 滋	52	50	102	24.0	78.0
4位	柳 孝一	45	46	91	18.0	73.0	46位	加藤 輝明	44	45	89	10.8	78.2
5位	浜松 義弘	42	41	83	9.6	73.4	47位	金山 英昭	55	52	107	28.8	78.2
6位	宗方 裕之	41	41	82	8.4	73.6	48位	大作 佳範	45	43	88	9.6	78.4
7位	菊島 好孝	50	41	91	16.8	74.2	49位	南雲 州治	47	47	94	15.6	78.4
8位	赤崎 幸三	45	44	89	14.4	74.6	50位	村田 研一	49	45	94	15.6	78.4
9位	金田 敏雄	48	47	95	20.4	74.6	51位	川口 了久	46	54	100	21.6	78.4
10位	石田 博一	49	46	95	20.4	74.6	52位	中山 裕視	45	48	93	14.4	78.6
11位	向田 甚市	49	52	101	26.4	74.6	53位	中川 富雄	45	48	93	14.4	78.6
12位	村本 満男	39	43	82	7.2	74.8	54位	石川 俊則	51	42	93	14.4	78.6
13位	山口 史朗	47	47	94	19.2	74.8	55位	土谷 俊彦	52	52	104	25.2	78.8
14位	吉田 栄治	49	45	94	19.2	74.8	56位	久保 隆	52	51	103	24.0	79.0
15位	五十嵐 敏樹	51	55	106	31.2	74.8	57位	水野 凡	47	55	102	22.8	79.2
16位	舛田 雅彦	39	42	81	6.0	75.0	58位	中川 信喜	55	46	101	21.6	79.4
17位	田中 由彦	41	40	81	6.0	75.0	59位	志比川 武	52	49	101	21.6	79.4
18位	福田 武男	43	44	87	12.0	75.0	60位	平川 香織	51	50	101	21.6	79.4
19位	和田 壬三	45	47	92	16.8	75.2	61位	佐藤 源五郎	43	49	92	12.0	80.0
20位	米塚 三豊	53	51	104	28.8	75.2	62位	森 正志	52	51	103	22.8	80.2
21位	佐藤 義久	47	44	91	15.6	75.4	63位	武部 實	54	49	103	22.8	80.2
22位	大越 克巳	38	40	78	2.4	75.6	64位	八木 徹	52	55	107	26.4	80.6
23位	山田 賢司	44	46	90	14.4	75.6	65位	江口 洸	47	53	100	19.2	80.8
24位	瀬川 俊男	44	46	90	14.4	75.6	66位	富岡 豊	55	57	112	31.2	80.8
25位	廣瀬 禎	43	46	89	13.2	75.8	67位	氏家 則之	55	50	105	24.0	81.0
26位	梅田 鉄夫	49	52	101	25.2	75.8	68位	今井 達雄	55	55	110	28.8	81.2
27位	手塚 貴志	48	53	101	25.2	75.8	69位	岩崎 修一	54	56	110	28.8	81.2
28位	平 昌夫	42	40	82	6.0	76.0	70位	横手 義信	50	53	103	21.6	81.4
29位	川崎 毅一郎	44	44	88	12.0	76.0	71位	和田 雅博	59	49	108	26.4	81.6
30位	長谷川 浩之	44	44	88	12.0	76.0	72位	深貝 亨	60	52	112	30.0	82.0
31位	池田 和陽	43	45	88	12.0	76.0	73位	中村 良臣	56	55	111	28.8	82.2
32位	北澤 治雄	48	46	94	18.0	76.0	74位	大石 清司	49	50	99	15.6	83.4
33位	富岡 公治	49	50	99	22.8	76.2	75位	熊坂 峻	52	57	109	25.2	83.8
34位	内池 真人	51	48	99	22.8	76.2	76位	池田 清美	55	52	107	22.8	84.2
35位	仲屋 成裕	46	46	92	15.6	76.4	77位	熊谷 満	56	44	100	14.4	85.6
36位	嵯峨 義輝	46	52	98	21.6	76.4	78位	西方 洋昭	64	51	115	26.4	88.6
37位	海野 均	51	47	98	21.6	76.4	79位	近藤 浩	64	61	125	34.8	90.2
38位	竹田 一則	49	47	96	19.2	76.8	80位	山本 耕司	63	61	124	33.6	90.4
39位	高岸 満則	45	44	89	12.0	77.0	81位	長沢 祐純	64	55	119	27.6	91.4
40位	福井 敬悟	51	44	95	18.0	77.0	82位	蝦名 大典	71	57	128	36.0	92.0
41位	橋本 耕二	44	50	94	16.8	77.2	83位	長谷川 太洋	65	68	133	33.6	99.4
42位	羽山 昇蔵	42	44	86	8.4	77.6							

隠しホール：①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱

競技方法：ペリア12 打数制限：PAR+3
 HDCP上 男：36.0 HDCP上 女：36.0
 HDCP下 男：0.0 HDCP下 女：0.0



参加クラブ紹介 (敬称略)

【地区外】

福山RC

喜多村 久至 坂本 哲巳

【地区内】

第1グループ

深川RC

豊かで穏やかな大自然・深川。おいしいお米と農産物…。ここで生まれて55年の深川ロータリークラブ。会員35人。老若各年代がバランス良く存在する会員構成。コンパクトだからこそこの一体感。風土が育てたメンバーの人物が醸し出す、和やかな雰囲気。今年度は、「温故知新」をテーマに、ロータリーの原点を見つめ、そして地域社会との関係を深めようと、「ロータリーに輝きを」の深川スタイルを展開しようとしていきます。

長谷川 幸央	板倉 克宏	伊藤 崇
木村 喜芳	北村 幸雄	児島 俊一
轡田 光章	松永 暢昭	蓑口 亮
宮岸 徹二	宮澤 孝司	水上 真由美
村中 俊二	成田 昭彦	成田 雅敏
大西 道祥	大西 祥太	佐々木 弘有
渋谷 賢治	杉村 修	高橋 忠精
内村 丈夫	渡辺 一義	吉澤 義彦

羽幌RC

大自然の中で冬の厳しさと、夏の開放感を合わせ持つ、やさしくソフトな羽幌ロータリークラブ。

茶谷 恵一	地島 耕二	出口 治康
蝦名 修	福井 俊一	舟橋 隆宏
原田 正志	長谷川 裕昭	端 忠勝
東出 覚	平山 美知子	堀川 理智子
石川 宏	實藤 吉信	鎌田 健治
加藤 隆一	木田 勝彦	工藤 喜一
工藤 盛	森 淳	成澤 卓爾
小川原 靖	大橋 鉄夫	大坪 秀明
斎藤 彰	佐野 俊一	忠津 章夫
田原 昇生	高場 剛	武田 秀夫
武田 弘樹	竹内 秀樹	田坂 修二
立野 英俊	梅田 初男	和田 誠
山口 芳徳		

妹背牛RC

妹背牛ロータリークラブは、1967年深川RCがスポンサーとなり、1月18日創立 同年2月6日にRI承認を得て発足し、半世紀を迎えようとしています。会員12名と小さなクラブですが、「愛を持って他者を見る」を本年度クラブテーマに、RC杯ジュニアカーリング大会、新入学児童を交通事故から守る黄傘贈呈等を行い、地域に根差した活力あるロータリークラブを目指しています。

真鍋 剛	長田 宗正	大崎 公介
佐藤 義明	田中 一典	渡辺 俊和
山崎 勇		

留萌RC

日本海に面し、その昔春告魚の千石場として名を馳せた留萌にクラブが創立されて半世紀の時が流れ、街のどこかで生まれる微笑を心の糧に、内へ外へと奉仕の輪を拡げてきました。オン&オフに切り替わる、和やかな例会と活発な愛好会活動は、クラブに潤いと発色を加えています。これからも、伝統に織り込まれ培ってきた「思い」を大切に進める事が、輝きをそのまに次の世代へと繋がる大事であると信じています。

阿部 洋一	明澤 正樹	青山 貴幸
遠藤 光一	福士 幸子	古野 晃洋
行徳 幸治	原田 功	長谷川 哲哉
平井 誠治	堀 光輝	角 隆巨
工藤 隆	櫛井 俊介	松村 泰年
森 幹雄	森 智子	森 俊二
森 裕子	中出 敏彦	中川 勝美
中川 豊美	二ノ宮 清信	二ノ宮 恵美子
西谷 英樹	西谷 明美	西谷 恭治
西谷 真由美	大嶋 孝広	齋藤 清藏
佐々木 繁	佐藤 潔	清水 陸
清水 節子	鈴木 康伸	高田 潔一
高田 美保子	高橋 理佳	田中 公哲
田中 玲子	燕 美雪	辻本 部英
対馬 健一	鶴城 善輝	渡 部 英
渡邊 裕久	山本 讓二	

■第2グループ

赤平RC

赤平ロータリークラブの進取に満ちた雰囲気とチームワークの良さは親睦と友情が伝統的に守り続けられたクラブ自慢の特徴であります。楽しい例会や野球・ゴルフ同好会など様々な活動が会員相互の親睦を深め積極的な活動・事業をひいては奉仕の理想を実現するためのバックボーンとなっています。赤平ロータリークラブの熱意ある若者15名もスポンサーし、これからもますます頑張る赤平ロータリークラブをよろしくお願ひ致します。

藤原 税	布施 洋一	早坂 喜幸
石野 茂	板垣 英三	和泉 義雄
菊島 好孝	木村 盛雄	松尾 和俊
三上 洸二	宮川 徹	武藤 哲雄
大坂 晃	尾崎 清富	仙田 哲夫
高江 智和理	竹俣 紀孝	竹島 緋出雄
渡部 芳己		

芦別RC

北海道の中央部に位置し山あり川（谷）ありの自然豊かな芦別にて活動しております。ロータリーの森にある直径33mのロータリーマークの形をした花壇は迫力があり是非一度ご覧きたいものです。会員は37名ですが一人一人が職業や社会的役割を通じてキラッと輝く存在として地域貢献や社会奉仕を実践しています。今年は更なる輝きを求めて市民向け事業と会員増強に力を入れております。今年58年目の歴史あるクラブです。

早坂 勝	林 秀樹	稲津 寿一
石川 洋一	板垣 勝	神野 一民
川本 雅章	北 正信	櫛田 秀一
宗方 裕之	根井 弘	沼前 治孝
小畑 陽彦	大高 敦	齋木 修二
坂田 憲正	高松 孝一	田中 一廣
田沢 篤也	土山 久男	

砂川RC

緑豊かな公園都市砂川。お菓子の香りが漂う街砂川。医療・福祉の充実した砂川。少数精鋭の38人の会員は常に95%を超える出席率で楽しい例会を行っております。堀江会長を中心に五大奉仕活動に励み、親睦活動も充実しています。世代間の隔てなく、「団結力があり、和気あいあいと素敵なクラブ」。それが砂川ロータリークラブです。

千葉 清	堀江 和美	石家 裕二
伊藤 徳博	岩 淵 健悦	梶尾 幸克
北谷 好文	小林 公民	近藤 俊継
松原 重俊	水島 孝嗣	永森 直弘
信太 英樹	大橋 俊彦	佐藤 正一郎
沢田 広志	曾我 悦工	染谷 昇
杉本 勉	高橋 秀明	高橋 俊美
竹田 俊一	内野 司	瓜 俊雄
山田 賢司	山下 眞史	山崎 義彦
造田 孝志		

滝川RC

天高く、理想も高く、志も高く、未来により添う想いも高い84人の心。食べ物の旨いこの季節に、黒ビールを愛し、純米酒を愛し、バーボンを愛し、人を愛することも知っている84人の仲間たち。55年の伝統を思い起こし、先輩から受け継いだもの言わない叫びを受け止め、今「新しい前進」のため、歩みを進めます。

深澤 和範	細田 光人	五十嵐 達明
神部 洋史	川口 義弘	小嶋 俊明
松岡 高志	三品 優次	宮崎 英彰
水原 勝之	西田 浩二	西井 勝明
奥山 かおる	佐伯 敏和	坂本 和繁
佐藤 佳朗	篠島 弘	鈴木 英光
鈴木 忠男	高山 訓正	田中 幹雄
谷口 正樹	上田 秀司	宇山 昌宏
和作 康市	渡辺 浩司	渡邊 恭久
渡邊 とも子	山口 恵子	山本 康文
山崎 修	柳 清二	

■第3グループ

美唄RC

昨年創立40年の記念の年を全会員で有意義な活動と強いプライドを共有しながら親睦を深める事で大きな年輪として刻み込まれました。今年度当初の会員は4名の新入会員を加えて30名で、会員の減退傾向にも歯止めが掛りつつあります。3名の創立会員を含め80才以上の会員が12名お元気に在籍し活動されます事は当クラブの自慢であり誇りです。地元と被災地カワラオムラ葛尾村の小中学生を図書で、アジアの子供達を水を通して継続的に支援して参ります。

坂東 久男	早河 常機	東野 碧
宝崎 錠二	伊原 潤司	鎌田 昭彦
岸山 一郎	北野 保孝	三浦 武美
毛利 清徳	森 豊	永井 仁
大竹 繁夫	佐藤 勇一	高瀬 謙二郎
米森 正夫	吉村 誠治	



江別RC

2013-14年度、江別クラブは初めて地区大会のホストという大役を務めました。西クラブと協働して成し遂げた事ですが、会員すべてにとって大変な自信になりました。江別は人口12万人の都会性を持つ一方、石狩川、野幌原始林という優れた自然と市域の4割を超える豊かな農地に恵まれた、バランスのとれた街です。そんな環境の中で、ロータリーの目的を胸に楽しいクラブをモットーとし、新しいページを加えます。

安孫子 建雄	安孫子 泰子	麻田 信二
藤原 敏雄	郷 和平	林 重樹
平賀 俊尚	久富 文子	堀井 豪
金田 一夫	金田 敏雄	柏倉 善實
柏尾 隆史	菊田 政徳	久保 泰雄
松山 敏則	中川 和昭	西岡 学
奥野 一嘉	佐伯 宮彦	佐々木 光治
笹浪 哲雄	石堂 了正	新館 忠義
高野 喜世志	武田 泰一	武田 孝代司
龍田 昌樹	富永 政博	津田 政勝
八島 壯之	山田 誠	吉田 欣司

江別西RC

今年度23年目を迎えました。幼稚園・老人福祉施設行事への参加手伝い、地域への奉仕としてひまわり鑑賞会・河川清掃への取組み等を毎年行っており、主催団体からは大変好評を得ています。当クラブはクラブ内の融和を第一と考え、例会が楽しく又活動に対する会員同士の意思の疎通が上手くなされるようにといつも考えています。来訪される皆様に又行ってみたいと思われるおもてなしを心掛けておりますので是非お越しください。

古石 允雄	後藤 一昭	支部 英孝
長谷川 直紀	樋口 道紘	石田 武史
石黒 良平	雉子谷 明	丸谷 千代子
増山 柳	宮崎 英治	西脇 信治
岡村 信明	島崎 修	白旗 隆夫
穴戸 昭	鈴木 良二	高田 寛司
滝沢 仁		

岩見沢RC

私共のクラブは、1954年5月創設で、今年60周年を迎えました。過去最大会員数118名で現在77名です。次年度は嵯峨ガバナ-誕生年度となります。今年度鎌田会長方針「皆の力で一步前へ」を基本に楽しい例会を心掛け、親睦を深め退会防止と会員増強を目指し歴史と伝統を厳守しつつ新たな事業に積極的に取り組み活動を続けて参ります。

赤山 登	芥川 勝行	青木 稔
青木 司	荒木 英雄	荒木 敏博
江本 勝典	遠藤 浩一	藤田 亨
長谷川 暢一	本間 純	五十嵐 閣
石田 豊明	石川 裕也	鎌田 誠
兼行 四男美	鹿野 義行	菊谷 昌泰
北市 宗三	北澤 治雄	小林 弘明
倉増 秀明	倉増 昭一	前田 恒幸
前川 英雄	前野 達志	牧 陽一
松村 亮哉	三嶋 顕	宮川 良一
宮本 顕二	森居 清	向田 甚市
武蔵 輝彦	中路 幹雄	中村 興治
中塚 力一	仲屋 成裕	南原 孝之
仁志 紘一	西方 洋昭	西森 論
西村 芳徳	西野 太郎	西尾 行夫
小川 有積	岡本 等	大西 敏雄
大岡 貴志	大床 泰司	大屋 均
嵯峨 義輝	嵯峨 弥生	佐川 修一
齋藤 聡	齋藤 誠一	佐藤 紀征
澤田 慎一	田辺 敬夫	高橋 博昭
高谷 郁男	竹内 守	竹内 友康
玉田 忠	谷 勲	谷口 弘
内田 茂伸	上野 英一	白杵 努
渡辺 淳一郎	渡辺 劭	山口 順市
山本 公彦	山根 良隆	山岡 秀一
山崎 康行	横山 弘	

岩見沢東RC

岩見沢東ロータリークラブは、現在24名の会員で奉仕活動を行っています。会員数は少ないですが、結束力の強いことが自慢です。今年は、恒例となった岩見沢東ロータリークラブ杯争奪少年サッカー大会開催に加え、福祉施設の子ども達と一緒に蕎麦の種まきを行いました。秋にはそれを収穫、蕎麦を手打ちして子ども達に振る舞う予定です。子ども達と触れ合い、地域に根付いたロータリーを目指し、会員一丸となって奉仕活動に取り組んでいます。

藤田 文雄	稲垣 政敏	伊澤 珠樹
松重 彰伸	小倉 雅子	只野 公幸
竹村 正義	豊岡 義博	津元 美智代

栗沢RC

当クラブは、1964年6月に会員29名で創立したクラブです。現在は24名の小さなクラブですが、会員相互の親睦を深めながら地域に根ざした活動を心がけています。昨年度は創立50周年の節目を迎え記念式典他無事に終わることができました。今年も、「ロータリーに輝きを」のテーマを基にロータリーデーでの活動や会員増強に、会員一丸となって取り組んで参りたいと思います。

枝 廣 榮 美	林 義 明	本 田 正 一
五十嵐 敏 樹	井 形 昇	岩 田 隆
金 山 英 昭	川 幡 直	工 藤 博 之
前 田 寛	中 村 良 臣	中 田 信 広
西 島 義 孝	西 村 康 徳	氏 家 則 之
吉 永 忠 邦	吉 野 顕 隆	

栗山RC

栗山ロータリークラブは、昭和45年1月16日に創立会員35名で創立され、RI認証は昭和45年2月4日、本年で創立45周年になります。ピーク時は51名の会員がおりましたが、現在24名で会員相互の親睦を図りながらロータリアン精神をモットーに「地域」に根ざした奉仕活動を中心としています。本年度創立45周年事業として、8月4日、日ハム監督の栗の樹ファームにて青ダモの植樹を栗山野球少年団と行ったところであります。

土 井 道 子	今 井 敏 明	磯 野 武 司
伊 藤 三 也	北 野 隆 春	小 室 雅 裕
松 本 良 美	松 下 早 苗	三 浦 和 江
中 村 彰 真	檜 崎 忠 彦	太 田 ヒロ子
関 吉一郎	鳥 山 幸 雄	坪 田 弘
山 崎 信 治		

当別RC

当クラブは札幌北がスポンサーとなり発足し来年40年を迎えます。当別町は岩出山伊達藩により開拓されており、大崎市岩出山RCと姉妹クラブとなって交流を深めています。地域に根ざした奉仕活動も年々活発になり、創立10周年に設立した当別RC奨学金への寄付はもとより、近年は当別大通り沿いの花壇の植栽や当別高校生への模擬面接のお手伝い、マナーキッズテニス教室への協力、特に今年は9月の「福祉まつり」においてPR用のブースでポリオ撲滅の募金箱の設置をはじめ、町内各所に募金箱を設置して取り組んでいます。

藤 澤 康 一	福 井 昭 和	永 上 巖
大 畑 博 行	大 澤 勉	六 角 英 一
泉 亭 俊 徳	島 義 慈	島 田 裕 司
下 段 寿 之	竹 田 和 雄	武 田 昭 龍
辻 野 浩	米 口 稔	

第4グループ

札幌RC

昭和7年12月、東京RCをスポンサークラブに日本で8番目のクラブとして創立されました。以来82年親睦を深め職業を通して社会に奉仕する心を育み、またこれまで道内主要都市10クラブの創立に際し、スポンサークラブの役割を果たしてまいりました。今年5月には第4000回記念例会を祝いました。現在120名を超える会員が、その長い歴史と伝統を継承し、品位ある運営を心掛け、継続してきた特色ある活動の一層の充実を目指しています。

秋 月 清 二	遠 藤 正 義	榎 本 克 英
藤 田 克 己	福 山 眞 司	舟 橋 五 峰
古 野 重 幸	古 田 和 吉	濱 野 忠 生
橋 本 毅	伊 藤 義 郎	逸 見 龍 馬
廣 川 雄 一	井 上 幸 三	石 田 博 一
岩 谷 要	海 谷 健 治	柿 本 純
加 藤 欽 也	勝 木 紀 昭	菊 池 昌 隆
小 金 澤 健 司	小 山 司	栗 林 司
松 島 透	松 下 直 樹	三 輪 隆 司
宮 田 昌 利	三 好 康 裕	水 谷 宏
森 田 博	向 山 松 秀	長 井 伸 樹
中 井 千 尋	中 島 一 成	中 田 裕 之
中 田 隆 博	中 田 泰 弘	中 山 茂
庭 山 早 苗	大 鐘 稔 陽	大 原 雅
齋 藤 雅 之	先 本 建 夫	櫻 井 政 経
佐 野 正	佐々木 正 丞	佐々木 政 子
佐々木 泉 顕	指 川 司	佐 藤 恭 市
瀬 賀 達 也	関 口 尚 之	清 水 弘 之
曾我野 秀 彦	須 賀 信 昭	諏 訪 部 正 彦
田 島 隆 宏	田 島 隆 男	高 橋 雄 介
高 島 英 也	武 部 幸 紀	田 中 伸 哉
田 中 良 治	樋 川 恒 一	富 岡 俊 介
植 田 英 隆	和 智 徳 男	渡 邊 克 仁
渡 辺 卓	山 中 庸 彦	山 中 善 夫
倭 雅 則		

札幌はまなすRC

昨年度、2回目の会長となる佐藤一会長のもと当クラブより2度目のガバナー補佐玉造啓子会員を出すことが出来ました。当クラブは設立当時より女性会員がおり、故戸部アナマリア会員に続き2度とも女性会員がガバナー補佐となっております。本年度は小山内会長のもと久々に若い新入会員が2名入会し元氣良くスタートできました。本年度は新規事業を始め、クラブの新たな方向性を模索しながらロータリー活動にうちこんでいきます。

愛 須 一 史	青 木 貞 康	荒 井 虎 史
北 川 敏 夫	光 川 眞 量	野 村 勝 隆
小山内 繁 樹	斉 藤 淳 一	坂 田 文 正
坂 田 淳 二	佐 藤 一	佐 藤 勉
玉 造 啓 子	徳 物 葉 子	



札幌北RC

今年度クラブ創立44周年を迎え、『ロータリーを学び、ロータリーを楽しもう』をスローガンに掲げております。明るく調和のとれた居心地の良い楽しいクラブの実現と、今年度は特に『愛』と『感謝』と『奉仕の心』を併せ持った事業展開に情熱を注いでおります。

阿部 弘	出村 知佳子	藤城 英明
福田 十太郎	姫野 芳安	井上 勝一
小林 博	栗原 清昭	黒川 篤
草間 孝廣	前田 一人	蓑輪 隆宏
長嶋 百利	中村 越子	中瀬 智成
中園 直樹	桶川 昌幸	大西 勲
大浦 隆司	斉藤 昌一	佐々木 仕
佐藤 宏	澁田 勲	嶋田 久昭
清水 薫	竹原 巖	渡邊 靖司
八木 政明		

札幌モーニングRC

創設時以来「心の通ったロータリーづくりを目指し、過去のしきたりや習慣に過度に拘束されることなく自由な発想による新しい時代の奉仕活動に挑戦していきたい」の方針を今日も受け継ぎ、朝に例会を行う北海道で最初のRCです。カミネコン植樹支援、インターアクトクラブ支援、交換留学生受け入れ・派遣などの奉仕活動を継続し、各種同好会活動を通して会員同士の親睦も深めています。

藤森 敏昭	平田 博史	広瀬 進
堀川 孝明	井波 雅彦	井野 智
鄭 子龍	賀来 亨	加藤 方祥
小松崎 文一	真鍋 康利	松崎 直敏
宮部 光幸	中野 慎也	中田 繁一
大西 正啓	大崎 康二	齋藤 貴之
酒井 誠一	佐藤 元治	白井 宣充
田上 建夫	高江 一王	武田 司
田中 燈一	谷崎 英一	露木 茂
内田 芳史	若松 孝	山賀 英司
吉田 義一		

札幌西RC

札幌西ロータリークラブは1960年9月27日創立、24名にて発足以来、この間に5名のガバナーを輩出するとともに、札幌手稲RC、札幌西北RCのスポンサークラブを務めました。国際奉仕活動を中心に地区内有数の業績を誇って来たと自負する所です。会員数については140名余を擁する時もありましたが現在は50名程に減少しています。50年の歴史の重さを感じつつ、会員増強を念頭に諸活動に邁進してまいります。

雨貝 尚子	浅野 元広	安積 孝三
灰野 篁	浜松 義弘	長谷川 美栄子
石黒 直文	石谷 邦彦	川端 忠範
河口 義憲	川村 忠	北島 清
宮崎 善昭	森谷 明弘	武藤 順生
大金 武夫	大越 克巳	大村 東生
三瓶 広幸	下村 卓也	高橋 清子
竹内 徹	田中 昭次	戸部 謙一
徳田 禎久	上出 利光	矢橋 温郎
矢橋 登美子	山野 悟志	

札幌西北RC

当クラブ会歌並びに賛歌には「生業違えども優しき想い我がクラブ」「互いに交わす瞳の中に親睦の色は深くあり」と謳われ、明るく、楽しく、出席しやすいクラブ作りをモットーとし活動を行っています。家族を含めた親睦活動が充実し、女性会員も3名在籍し、当クラブの重要な役割を担っています。今年度は会員卓話の機会を数多く設け、新会員増強に取り組みます。ビジターの皆さん、ぜひ当クラブ例会へお越しください。

穴倉 勉	彌 出口 元治	池上 喜重子
海野 均	菊田 等	小林 秀樹
久保 隆	松下 徳良	三上 直彦
森本 正夫	中嶋 成実	西岡 憲廣
布川 耕吉	小川 眞治	桶谷 治
大野 義雄	新谷 喜信	多米 豊
得能 宗洋	富岡 公治	遠島 芳然
渡邊 葉子	八木 健真	山本 耕司



札幌清田RC

当クラブは1997年に札幌南RCをスポンサーとして、地区内70番目に誕生し、今年で創立17周年を迎えます。また今年度1回目の例会は第777回で、現在の会員数は17名と「7」に係わる縁起が良い年度です。当クラブは殆どの会員が会長経験者の少数精鋭でございます。今年度は清田クラブの原点に戻り、人的支援に努めて参る予定です。

阿部哲夫	江口三	沈龍子	小仲美智子
真鍋昌市	三澤龍子	三戸和昭	
三浦信一	宮村素子	森加名恵	
村本忠	永見貴昭	中島永昭	
中村隆	西澤寛俊	高橋宣充	
玉井清	丹治典久		

札幌真駒内RC

当クラブは、丸山淳士パストガバナーを筆頭に総勢23人という少人数で運営しておりますが、ロータリー活動に、とても熱心な会員が集っております。又、新規会員達もロータリー活動に大変興味を持ち参加しております。会員増強に力を入れておりますので、次に入ってこられる会員達には良いお手本と成る事と思っております。当クラブは、他クラブの方達のメーキャップが多く、アットホームな我がクラブへ今後も来られる事を望んでおります。

荒川悠久子	法福修佳	金坂和正
川越仁	黒田一夫	丸山淳士
丸山恭子	宗形雅俊	中川雄一
中原孝	中村笛美	中村孝一
中山裕視	西島國治	齋藤康嗣
佐々木則秋	佐藤泰彦	渋谷良治
高野園子	土谷俊彦	内海知行
山田廣	山内正子	横田靖
吉瀬武		

札幌南RC

当クラブは、1956年6月22日34名の会員により発足し、現在会員数80名です。ながきにわたり「なごやぎ」の精神をモットーに会員相互の親睦と交流を深め活動しております。今年度のクラブスローガンは、「ロータリーを学び、ロータリー活動を楽しもう。」会員一同協力し合い輝きのある一年であるよう心がけています。

阿部孝司	網野康文	荒井竜一
朝妻邦雄	遠藤昭一	藤澤豊喜
福田則之	福山恵太郎	福山耕司
舟本秀男	橋本耕二	島和則
畑中俊介	服部直毅	服部信吾
本間良二	堀元雅司	星野尚夫
井樫博之	池田達昭	今井國雄
稲津巨	伊藤清博	岩城秀晴
岩城節子	金井重雄	柏木春彦
片山英男	加藤正雄	川井一男
川崎毅一郎	川崎秀雄	木下義章
北島廣	小林昌志	工藤武久
熊本努	黒田忠	櫛引拓道
松原良次	松井博之	松家治正
三浦義昌	宮崎誠一	森谷幸修
師尾純一郎	中山圭博	武藤信幸
中島幸伸	中道哲也	夏井坂厚三
西川幸伸	西川成彦	西本嘉一
大谷莊佐	佐部隆一	佐藤津宏
佐藤源五郎	澤田義雄	島津崇
嶋津博	須田昌夫	鈴木久嗣
多田信和	平昌實	田辺俊一
財部朗	武部伸一郎	富樫昭夫
田尾大樹	寺江伸一郎	富樫幸栄
徳中征之	トキル・クリステンセン	坪田晃広
土田茂	渡邊宙	山上直巳
山本勤	山谷英一	吉村
吉尾弘		

札幌大通公園RC

当クラブは、若さを武器に少人数ではありますが体を使った奉仕活動、親睦活動をプログラムに取り入れております。例会の準備、片付けを全員の手で行う事をモットーに手作りの例会を目指しております。

出口修	福留健二	葛西功有
中川照雄	小笠原肇	オイドフ・バトバヤル
大坂忠	佐藤文彦	菅原秀二
山崎英哲		

新札幌RC

新札幌RCは、今年の6月に創立30周年を終え、新たな一歩を踏み出したところです。会員数は23名と少数ではありますが、地域の活動に積極的に参加する社会奉仕活動を行い、新世代奉仕活動では、青少年交換学生の受入や米奨学生のホストなどを行っています。

安藤 泉	有田 京史	知念 浩
福井 由美子	五十嵐 勤	石黒 光男
伊藤 豊	嘉屋 輝夫	宮川 明
水野 正純	村上 寛	中川 功
南部 賢	大石 清司	小野 修
瀬川 俊男	清水 昭子	高田 芳夫
高橋 雅行	田中 忠行	田中 由彦
梅田 鉄夫	山岡 誠	

第6グループ

岩内RC

日本海の荒波が生んだ雷電刀掛岩に、夕日が沈みかけている。現在の会員は18名。最少にして最後のチャンスと全会員が会員増強に「けっばって」（地方の方言）いる。半世紀に紡ぐ、語りつくせない歴史を大切なお宝として今。仲間と善意の心を共有しながら、親睦と友情の輪を広げ地域と密着した奉仕活動を進めている。

東山 洋徹	井戸 幸夫	池田 清美
岩城 直人	川崎 孝之	前田 稔
野澤 幸平	吉田 栄治	

倶知安RC

今や国際的マウンテンリゾートとなった『ニセコ』の玄関口、倶知安町。その町で活動している倶知安RCは、今年度50周年を迎えます。近年では地域の青少年育成事業に力を入れる等、地域の明日を創る一助たらんと活動しています。

旭 克久	古谷 眞司	石本 要
石本 達雄	門田 美知恵	九津見 真由美
皆川 岩保	長尾 靖友	名畑 正樹
中井 直樹	尾崎 春人	尾形 智麿
追立 正夫	齊藤 国治	齊藤 知之
佐藤 豊	脇山 潤	

小樽RC

当クラブは札幌ロータリークラブをスポンサーとして1933年、日本で10番目、北海道では2番目に創立された古いクラブです。今年、クラブ創立81周年を迎えています。今年度の会長は、小樽市内で坂田歯科医院を経営する坂田道昭会長です。本年8月18日現在、76名の会員が在籍し、会員平均年齢60歳（44～90歳）となっております。クラブの伝統を新しい会員に対して継承してゆくことが当クラブの使命であります。

遠藤 友紀雄	船水 浩司	半田 善行
橋本 斉	秦 健一郎	平松 正人
市川 英明	稲垣 哲也	井上 晃
伊藤 保夫	上参郷 光祐	上浦 庸司
金久保 兵士郎	笠間 茂	河辺 由清
菰田 尚正	熊澤 隆樹	熊澤 範子
松倉 弘	永井 扶	中野 豊
野口 英機	野口 禮二	西條 文雪
坂田 道昭	佐藤 慶一	関 光治
柴田 憲彦	渋谷 繁男	杉江 俊太郎
田中 良和	土屋 大乗	渡邊 康宏
山田 雅敏	山形 利夫	米山 幸宏
吉村 克之		

小樽南RC

小樽南RCは今年度、創立55周年を迎えます。当クラブは、牧歌的な会員相互の関係が特徴といえます。しかし、単に「仲良し」だけではなく、年次のロータリー方針を、その年次の執行部を中心に会員一同が協力し、遂行してきた自負があります。これは、「仲良し」だけではなく、ロータリー精神と古き小樽の伝統、この二つの相乗効果が年次の方針遂行の原動力になっていると思われまふ。小樽南RCの特徴を述べれば、先に2点についての思いが強いクラブ、と言えまふ。なお、創立55周年記念催事は2015年2月13日を予定しております。

阿部 誠	安部 新市	荒木 和廣
浅村 公二	吹越 範義	福島 正紘
濱本 進	林 安明	廣部 隆夫
本間 彰	板垣 明	岩船 早苗
加藤 正幸	桂 正俊	工藤 左千夫
松浦 光紀	湊 亨	見延 庄三郎
三栖 裕司	宮川 伸二	本吉 一夫
永原 勢子	小笠原 俊介	岡崎 芳明
大倉 俊一	大谷 純一郎	斎田 義孝
斎藤 仁	坂口 榮一	柴田 達朗
白石 亨一	鈴木 崇史	高木 成一
上野 正之	山吹 啓之	山田 正
山村 弘一		

第7グループ

小樽銭函RC

我、小樽銭函RCは、1975年発足以来 来年2015年度（平成27年）で40周年を迎える。発足時の会員数は23名であり、本年平成26年度の会員数は26名である。この40年、会員数に大幅な増減もなく、和やかで親しみ易いクラブである。奉仕活動としては、本年度で31回目を迎える少年野球大会の企画・運営や地区の小中学校や各施設における植樹などを行っている。今後も地域への奉仕活動を実践してゆく予定である。

秋田直史	千葉悦子	江刺家俊輔
藤川正二	藤田政昭	濱田洋幸
飯岡豊	舩井齊	松倉正広
笈川長生	坂口友朗	佐々木信一
多田武夫	津田川保	上村百合子

蘭越RC

蘭越ロータリークラブは、秀峰羊蹄山とニセコ連山の麓で清流日本一の尻別川にはぐくまれた温泉とお米の里で活動する会員11名の少人数クラブです。会員は少ないですが、今年度はガバナー補佐を輩出するなど積極的な活動をしています。会員が少ないので活動は全員で当たります。高齢者施設や、児童福祉施設への慰問、また子供たちの文化活動も支援し小倉百人一首大会への協力など地域に根ざしたクラブ活動を行っています。また、会員11名中7名がポール・ハリス・フェローと奉仕の精神の強いクラブです。会員の親睦を大切に、家族を含めた夜間例会や、パークゴルフ大会などを計画しています。当クラブは出席率も大変高く100%の出席も頻繁に達成しています。

馬場充	小沢修	佐藤義久
志比川武	白石勇	山田一晴

余市RC

余市ロータリークラブは1961年4月29日に創立されて以来「親睦と奉仕」を目的として会員相互の親睦と友和を図りながら奉仕の理想のもとに着実に地域社会に奉仕の和を広げてきました。現在、会員46名中、女性会員が4名在籍しており、幅広い年代層の中、若い会員も多く、豊かな経験と若いパワーを兼ね備えた組織力のあるクラブという特徴を生かし、青少年育成や地域との交流を図っております。

藤田功	林和秀	本間克朗
本多宏行	川向基紀	森義仁
中井克雄	清水義信	高橋哲雄
高見祐司	竹内俊彦	谷川淑郎
安田亘	吉野純一	

千歳RC

当クラブは創立47周年を迎え、今年度の会長方針「学びと実践」にそって活動をしています。長年続いていた会員減少も歯止めがかかり、昨年に比べて3名の純増でスタートを切る事が出来ました。「分収造林事業」や市内各所に展開する桜並木など環境保全活動、ローターアクトを提唱（恵庭RC・千歳セントラルRCと共同）し青少年活動にも力を入れております。世代交代の過渡期で数年後には一気に平均年齢が下がる見込み、皆様ご期待下さい。

阿部正信	浅利美恵子	栗津義幸
藤井雅一	藤本敏廣	福田武男
菟川勝文	羽山昇蔵	平間和弘
五十嵐宏	五十嵐桂一	今村静男
稲川和伸	伊藤一三	加藤輝明
川端清	喜多康裕	紺野富士夫
今野良紀	腰越くり子	前田浩志
村上倫行	村田研一	牟田裕一
長澤邦雄	南雲州治	中山和朗
沼田常好	小畑彰	大西信也
齊藤博徳	榊原潤	佐々木昭
佐々木金治郎	佐藤秀雄	末廣孝一
須川美和	高橋憲司	丹治秀一
山中正一		

千歳セントラルRC

我がクラブは会員数33名で7月1日現在で平均年齢57.34歳です。クラブ内は生き活きしています。創立以来、友好クラブとして締結した静岡県長泉町の米山梅吉記念館を訪問するなどし、長泉RCとの交流を深めています。又、米山梅吉記念館が新築する際に、当時100万円の寄付をした事も大変誇りに思っています。会員同士が結束を深め、スクラップ&ビルドを実行し、“素敵な創立25周年”を迎える為クラブ内の改善・改革を押し進めます。

入口博美	岩下誠	大久保尚
尾本眞二	齊藤博司	坂井治
関根悟	四方信次	白木松敏
菅原百合子	田口廣	高木昌人

恵庭RC

花の町として全国にその名が定着した恵庭市です。クラブの行事としては青少年育成を主とし、小学生は子供相撲大会、中学生は近隣少年野球大会、高校生は交換留学生の受入、派遣を継続しています。また、昨年より地域に密着した事業をと考え、市民が集まる憩いの公園に桜の木を植樹し、地元との交流を深めていながらロータリーを知ってもらい、会員増強につなげていきたいと思っています。

天 野 仁	早 瀬 源 一	弘 中 司嘉子
石 川 俊 則	川 口 了 久	川 原 光 男
菊 池 勝 利	木 村 公 幸	久 野 等
日 下 健 三	前 田 利 和	三 浦 孝 治
宮 内 光 則	水 野 凡	村 本 満 男
中 川 富 雄	中 里 邦 治	西 村 英 晃
大 場 優 光	大 川 健 一	大 川 武 志
斉 藤 茂 生	杉 本 三之助	鈴 木 毅
竹 田 一 則	舘 内 正 子	敦 澤 君 治
横 手 義 信		

北広島RC

今年度、創立35周年を迎えます。現在女性1名を含め17名と少ない会員数ではありますが、朝、昼、夜間例会と時間帯を変え、出席率のアップへと工夫し、夜間例会には夫人の参加もあり、毎例会を楽しくをモットーにしております。年2回の駅前清掃、青少年野球大会、剣道大会、市民吹奏楽団への支援、特別老人養護施設への慰問等地域社会との関わりも積極的に行っております。

馬 場 信 吾	秦 正 人	石 塚 正 敏
加々見 盛 幸	加 藤 寛 治	菊 池 重 敏
小 森 宏 明	元 木 芳 美	大 谷 惠 一
斎 藤 洌	櫻 井 和 久	橋 功 記
竹 内 實		

長沼RC

1991年創立、今年で23年目を迎えました。平均年齢40歳代で始まったクラブも現在は50歳代後半となっています。少々体力は衰えてきましたが熱いおもいだけは継続しています。20名程のクラブです。無理をせず身の丈に合った活動を続けていければと思っております。ロータリー精神そして創立時の決意を忘れず、地域に根差し地域を担っていく青少年の育成に全力を注いでいく所存です。

天 野 敦 子	青 木 雄 一	古 川 大 之
花 輪 博 一	池 田 徳 重	池 内 昌 之
政 角 勝 雄	三 輪 崇 穂	望 月 良 典
中 舘 誠 治	清 水 彰	清 水 慧 子
田 嶋 俊 美	高 木 繁 秀	高 橋 義 博
辻 野 つね子		

由仁RC

本年度23年目を迎えました。ここ数年は、会員減少で存続の危機を感じておりましたが、久しぶりに新会員の入会があり、クラブに活気がでて参りました。これからも会員増強に頑張りたいと思います。

阿 部 克 門 後 藤 篤 人 大 坂 直 人
高 山 宏 道

第8グループ

えりもRC

日高とんがりロードの先端に位置する当クラブは、会員数22名と家族が社会奉仕活動として、春・秋2回の市街地清掃活動(クリーン作戦)を実施していますが、近年は町民多数の参加を頂いて、地域の恒例行事となっております。また、えりもロータリー杯少年野球大会や小学生バレーボール大会を開催しており町内の少年団のみならず、近郊の町のチームも参加し、熱戦がくりひろげられています。優良高校生の表彰とともに青少年の健全な育成を推進しています。福祉チャリティでの特老施設への寄付など、文化福祉活動への会員の協力、理解は大きいものがあり、これからも会員相互の友情を深め、新会員の増強にも力を入れながら活動して参ります。

『海と大地のふるさと』えりも町へぜひ皆さんおいで下さい。

築 紫 富美雄 菊 地 竹 勇 国 本 昌 一
中 居 知 哉 西 川 一 雄 齊 藤 敏 克
佐 藤 勝

三石RC

当クラブは会員数が15人と小さなクラブですが、まとまりが良く意思の疎通がとれたチームワークのよいクラブです。年に数回開催される夜間例会は大変盛況で、親交を深める格好の場となっております。そのなかでも、一月に開催するチャリティーオークションも兼ねた新年夜間例会には、会員が夫婦で出席する大変楽しく賑やかな例会です。その売上の中から、町の図書館へ図書購入費として寄付をしており、今年で36年目となります。また、クリーンウォーター、チェックダム事業等の国際奉仕に長年積極的に取り組み、検証ツアーにも欠かさず同行して現地の人々との親交を深めております。

松 田 鐵 男 中 村 一 重 志 田 力
富 永 信 八 木 一 洋 山 田 博 継
山 田 信 行



第9グループ

様似RC

今年度のRIテーマ「ロータリーに輝きを」を実践するに当たり、様似ロータリークラブとして、まず当クラブ24名の会員全員が輝く事をめざし、楽しく有意義な活動を進める中で絆を深めていき、姉妹提携の韓国馬山ロータリークラブとの交流も積極的に進める事。青少年の健全育成の為に各種の事業に対しまして支援と協力を続けてまいります。「進歩と調和を考えて」!!

原 博 昭 久 野 俊 昭 加 藤 鉄 二
小 島 等 工 藤 仁 中 村 茂
坂 本 好 則 島 田 武 高 村 洋 子
山 本 康 仁

静内RC

当クラブは昭和46年に創立し、現在名誉会員1名を含む63名の会員で構成されております。インターアクトクラブの活動支援、青少年健全育成のための日胆地区小学生サッカー大会及び小学生バレーボール大会を毎年主催、桜で有名な二十間道路の桜並木維持作業等、地域のためになる奉仕活動も行っております。野球・ゴルフ・旅行同好会による会員相互の親睦活動も活発に行われており、2012-13年 細川ガバナー年度を会員一同が熱い思いで支援することが出来た素晴らしいクラブであります。

荒 川 雅 喜 田 頭 喜 秀 不 動 信 之
福 田 義 信 福 原 啓 介 福 嶋 尚 人
細 川 好 弘 細 川 知 恵 子 市 毛 満
石 垣 勝 英 河 田 貢 増 本 裕 治
美 濃 又 洋 子 長 浜 和 也 中 島 滋
中 山 弘 三 郎 大 森 康 正 佐 野 元 健
佐 藤 雅 裕 杉 田 清 谷 勇 市
富 岡 豊 土 屋 祐 喜 山 田 明
山 口 俊 秀

浦河RC

近年、会員減少が続き非常に厳しい環境ではありますが、伊藤会長の下、親睦を深め会員家族が楽しめる機会の場を設け、絆を深めるという目標を掲げスタートしました。地域社会に会員増強につながる浦河ロータリークラブのPRを行い、奉仕の理想を追いかけてまいります。

秋 山 靖 典 土 井 裕 司 榎 本 淳 一
堀 田 英 樹 伊 藤 正 明 菊 地 祥 二
小 関 孝 雄 久 保 佳 幸 工 藤 一 康
楠 桁 秀 男 大 針 道 生 佐 藤 尚 毅
蘇 田 又 栄 武 田 豊 梅 田 和 義

伊達RC

「北の湘南」とも言われています伊達市は、比較的温暖な気候で移住者も多く住まわれています。伊達ロータリークラブは7月期首57名でスタートし、今年度も会員拡大に力を入れて前年度以上を目指しております。又、若い新会員も長き在籍先輩会員共々、親睦野球同好会・ゴルフ同好会等を通じ和気あいあいと会員相互仲の良いクラブである事が自慢の一つでもあります。又、姉妹クラブ・友好クラブとの関係も同様に毎年親睦を通じ交流をはかっております。

阿 部 三 紀 夫 安 宅 修 治 林 正 樹
平 口 泰 敏 伊 藤 金 蔵 堅 田 進
河 原 文 博 小 熊 啓 司 栗 橋 義 徳
栗 本 茂 生 中 嶋 康 新 井 田 孝
西 川 正 奥 村 孝 善 佐 藤 一 英
菅 俊 治 鈴 木 敏 則 唯 木 俊 克
塚 田 正 興 渡 部 良 一 山 崎 満 晴

室蘭RC

室蘭ロータリークラブは道内6番目のクラブとして昭和11年誕生、本年で78年になります。今年度は中田会長の下「地域社会に根ざした奉仕活動の充実とクラブの活性化」をテーマに伝統を踏まえつつ一層地元根ざした奉仕活動を行う事でロータリーへの理解を深めてもらい、合わせてクラブの活性化を目指しています。9年目となる旧室蘭駅での子供向けイベントに今回初めて室蘭工業大学生と連携する等、地域に根ざした活動を実践しています。

濱 中 實 平 林 滋 明 細 川 聡 子
飯 尾 哲 也 鴨 井 清 貴 木 下 博
北 川 浩 一 松 岡 健 一 村 井 敦 司
中 田 敏 行 東 海 林 哲 郎 多 田 昌 央
内 山 博 吉 澤 政 彦

室蘭東RC

1961年創立、54年の歴史を持つクラブです。和やかで楽しい例会をモットーに、現在会員数は35名です。地域に密着した活動として、会員の様々な職業専門知識を生かした「あれこれ何でも相談会」を13年間続けています。又、北海道大谷室蘭高校インターアクトクラブも49年間活動をバックアップしてきました。会員相互の親睦を基に会員増強を進めていきたいと思いません。

荒 井 孝 亘 濱 口 知 由 井 上 幸 司
石 田 実 小 熊 達 也 眞 柄 優 子
松 永 英 樹 村 木 一 夫 奈 良 泰 哉
大 坪 信 雄 佐 々 木 彰 夫 佐 々 木 勝 男
富 田 孝 夫 矢 萩 富 士 雄

室蘭北RC

当クラブは、1971年12月に創立し、本年度創立43年を迎えます。会員数は、昨年度近年にない会員増強が図られ、12年ぶりに40名に回復いたしました。また、女性会員も1名増の3名を有するクラブです。また、当クラブにはローターアクトクラブがあり、定期的な交流や、独自の地域奉仕活動の企画実施、2510地区活動にも積極的に参加しております。

赤崎 幸三	土井 伸	廣瀬 禎
本間 信	猪俣 英二	加藤 栄吉
川本 康裕	松田 博文	松島 茂
村井 幺乙	中田 孔幸	西尾 静枝
太田 義則	齊藤 俊一	齊藤 崇
齊藤 順子	斎藤 泰成	笹谷 豊明
志水 朋子	菅原 義男	内池 真人
米塚 豊		

登別RC

登別ロータリークラブは、世界有数の観光都市、湯のまち登別温泉「登別市」にあるロータリークラブです。沸々と湧き出る温泉の様に、奉仕の心を沸き立たせロータリーが輝くように活動しております。羽生大仁ガバナーと共にポリオ撲滅にむけ邁進してまいります。

遠藤 秀雄	遠藤 征子	石田 佳久
石井 憲一	増田 チエ子	中牧 昇一
中村 雅	鈴木 高士	高岸 満則
戸塚 守夫	上田 博子	若木 日出男
八木橋 俊輔	山瀬 隆幸	

洞爺湖RC

国内初の世界ジオパークに認定された「洞爺湖・有珠山」の地で、少数ながら地道に活動を続けています。本年は「ロータリーに輝きを」を实践すべく、会員増強、又ロータリーの存在感を高める活動を重点的に行っていきます。

前谷 休市	新田 裕基	吉田 聡
-------	-------	------

第10グループ

函館RC

函館RCは本年10月、創立80周年を迎えます。10月24日には函館と縁の深い新島襄が創設者である同志社大学の村田晃嗣学長による記念講演会を行います。また来年6月6日には記念事業として全国ロータリークラブ親睦合唱祭を主管致します。10月25日創立80周年記念式典には数多くのロータリーメンバーのご来函を、お待ちしております。

遠藤 哲二	遠藤 倭子	石橋 多喜雄
岩塚 晃一	加賀谷 聰徳	金子 敦
加藤 宏樹	工藤 敏夫	國立 金助
國立 優子	松田 俊司	宮崎 昌
森川 順治	森川 純子	室田 浩三
中村 壮一	中山 浩一	中澤 郁雄
成澤 茂	大槻 継也	坂本 修康
崎野 隆一	柴田 繁男	菅野 剛造
菅野 穆子	竹田 公一	竹田 文子
玉田 正吾	富田 恒一	富田 尚子
渡邊 兼一	渡邊 規子	

函館亀田RC

当クラブでは、①社会奉仕事業として児童養護施設の生徒と社会福祉法人の方々を招いて、会員・家族がいっしょになって、ジャガイモ掘り体験を行っています。また、②国際奉仕事業として外国人留学生を招いて餅つき・そば打ちの体験を楽しんでもらっています。また、③青少年奉仕事業として中学生を対象として会員企業の協力のもと、職場体験を実施しております。「ロータリーを学び奉仕の心を輝かせよう」をテーマに会員各々が輝く一年を目指します。

青木 啓江	今淵 克美	井上 司
岩川 信子	帰山 元	川口 孝徳
川北 正樹	木戸浦 静男	前田 健二
西川 忠弘	岡村 匡	大角 敏朗
佐藤 猛	島田 優子	玉井 清治
豊田 雄峰	月館 正男	鶴見 淳

森RC

森ロータリークラブは、1964年チャーターメンバー25名で設立されました。以来半世紀に渡り奉仕活動を行っております。在籍会員は39名で、30代から70代までの年齢層で構成され、平均年齢は50歳代となっております。昨年、奉仕の灯火を絶やすことなくクラブの伝統を継承しつつ、新たな奉仕に挑み創立50周年を迎えました。本年度はより一層奉仕の理想を目指し、当クラブのさらなる発展と地域の繁栄を目指した活動をしてまいります。

平井 克宏	平山 博	堀尾 功
水野 建	向 宣男	西村 正史
島野 祐司	吉田 好	

七飯RC

当クラブは会員数18名の小さなクラブであります。まとまりが良く、雰囲気は和やかなクラブです。毎年行われている留学生を招いての国際交流の集いや、各事業所や各家庭で不用になったカレンダーを集めて行うチャリティーカレンダー市も今年で10年目となり、昨年からは地元の七飯高校ボランティア局の協力を得て実施し、収益金は全て七飯町社会福祉協議会へ寄付しました。これらの事業を通じて地域社会へロータリーをPRして行きます。

工藤 悟 佐藤 幸雄 菅原 昭

長万部RC

長万部RCは、道南の渡島半島・内浦湾の最奥部に位置する長万部町周辺。昭和43年2月、29名で創立。当時町民花見会を主催。現在も地域の団体が継続して実施し、町民の交流の場として盛況。当クラブも家族花見会で参加。奉仕事業では、町民憲章碑・花時計等を町に寄贈。他クラブと共同でタイ国に自転車・浄水装置を支援。町一大イベント「毛ガニまつり」に出店。わたあめ、スーパーボールは子どもに好評。益金は奉仕活動の一助にしている。

赤塚 章 井上 正範 角 健

函館セントラルRC

今年7月5日に創立10周年記念式典を終えました歴史の浅いクラブです。会員構成はバランスの取れたクラブとなっており、奉仕活動を行うに際しては、全会員が一丸となり取り組んでおります。今後共皆様のご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

浅野 翼 林 信平 伊藤 道雄
小泉 護太郎 鍋谷 操子 長濱 勝則
中原 勝司 坂下 賢二

第11グループ

江差RC

江差ロータリークラブは1962年（昭和37年）6月に創立しました。現在、会員数は11名のうち女性1名、名誉会員が1名在籍しています。当地区も例外なく人口減少・少子高齢化から地域経済は衰退し、近年、退会者が出ており会員増強は厳しい状況にありますが歴史と伝統のある地で生まれた当クラブは全員参加型の活動を行うこととし、少数精鋭による、スモールエクセレントクラブを目指し活動を強化して参ります。

赤石 智恵美 藤谷 直久 半澤 慎太郎
前川 敏雄

函館五稜郭RC

函館五稜郭ロータリークラブは今年で45周年を迎えるクラブです。去年東北のクラブと友好クラブの締結をしました。現在全国の3クラブと友好クラブを結んでおり色々な形での交流を深めております。我がクラブは国際奉仕にも力を入れており現在はベトナム・ホーチミン市の孤児院の支援が3年目を迎えます。会員一同が奉仕と親睦を一番に考えて行動しているクラブです。

後藤 広隆 平林 秀樹 廣田 友博
星井 英人 石坂 仁 柏木 秀之
河村 隆平 川村 隆夫 光 銭 裕二
棟方 勝 村田 信吾 南部 洋
大日向 豊吉 奥田 武彦 酒井 正人
佐藤 慎 塚田 寛 山本 直樹
山本 達郎 横岡 孝一

函館東RC

当クラブは、今年度57年目を迎え60周年に向けて動き出しました。五十嵐稔会長を筆頭に50名のメンバーが在籍しております。クラブテーマは「ロータリーをもっと学ぼう明日のために」です。道南で唯一のローターアクトクラブを提唱しており、函館大学の学生・OB・OGがメンバーとしてSTV24時間テレビの募金活動のお手伝い、湯の川海岸の清掃ボランティアなど活発に活動しております。

安保 裕一郎 長谷川 浩之 五十嵐 稔
五十嵐 正 今井 義憲 國谷 大輔
黒島 一生 松井 久男 宮崎 あけみ
森元 浩 佐藤 真一 佐藤 美子
田中 治 戸嶋 浩 安田 雄二

函館北RC

当クラブは、会員数21名の小さなクラブです。一番の課題は会員増強となりますが、今年度は会員数を30名に増やすという目標を立て努力しています。クラブ活動として、七重浜にある洞爺丸海難慰霊碑の清掃、函館ハーフマラソンの給水ボランティアを行っています。給水ボランティアでは、会員夫人にもお手伝いしていただいています。他にクラブ奨学生、少年野球大会の支援を行っています。例会への出席率も高水準を保っています。

石橋 輝夫 森 秀樹 中川 洲平
西尾 昌一 斎藤 秀司 山下 清司
吉田 勤

北斗RC

8年前の周年事業で、北斗市にテントを寄贈しました。贈るだけならつまらないとの事で、今年で8回目を迎えます防災キャンプ事業は、最初の参加者がもう20歳の成人です。自衛隊や市教委の協力もあり、又大谷短期大学も初参加されました。募集と同時に締切となりました。今年はオリエンテーションにて、AEDの寸劇も行いました。今年も北斗RCはONE FOR ALL ALL FOR ONEの精神で全会員が輝く様に、体を使って頑張ります。

秋田厚也	千秋	米森	濱重信
鈴木憲明	谷内修	渡邊	脊龍
米塚弘悦			

松前RC

松前ロータリークラブは4名という、全道のクラブの中で残念ながら最少人数のクラブではないかと思えます。当町は基幹産業であります漁業が衰退し、25年ほど前16,000人ほどありました人口が半分の8,000人台に現在減少、又経済基盤、経済力の弱い町の状況で会員増強に苦慮しています。活動面では2年ほど前より少年育成支援に力を入れており、少年野球クラブ、サッカークラブ等にユニホーム寄贈、又小学校に図書贈呈を続けます。

第12グループ

白老RC

白老ロータリークラブは、36年目を2名の女性を含める33名の会員でスタートしました。楽しい例会をモットーに、豊富な特産品を生かした美味しい例会を続けています。奉仕活動の一環として年一度の公開例会も4回目を迎え、自閉症支援の日本の第一人者の講演会が盛会に行われました。白老町は2020年、民族共生の象徴となる空間、国立博物館が開設されます。文化と食材豊富な、そして深い友情で結ばれた白老ロータリークラブです。

浅利健自	坂内重人	遠藤直樹
藤田英雄	原口一雄	服巻滋之
石田信雄	石川美佳	笠井博輝
加藤信雄	川田憲秀	河合浩司
小西秀延	久保田修一	熊谷威二
小澤康一	佐藤良太郎	仙田公昭
清水尚昭	外崎晃男	鈴木一弘
鈴木孝義	鈴木琢磨	田辺真樹
田中政数	谷島純平	手塚貴志
和歌宏侑	若林尚文	山田和子
山村実	山手康	

苫小牧RC

昭和32年創立。地区大会を二度主管し、2つの新クラブのスポンサー。神奈川県相模原クラブとの交流は今年で44年になります。1958年に設立したクラブ奨学金制度は2007年迄134名の高校生に毎月奨学金を贈呈しました。2002年苫小牧東クラブと共同で苫小牧少年少女合唱団を立ち上げ、以後活動を支援しております。2010年より「緑」の奉仕事業として花ショウブ園の維持管理助成金を苫小牧市に寄贈しております。

阿部喜朗	青地洋一	青山一夫
藤澤正昭	橋本洋一	細谷祐輔
伊部廣明	市古勝也	市町峰行
一瀬博美	磯部孝信	板谷剛
梶川昇	君嶋基弘	前田浩人
宮田昭一	中屋功	成田幸隆
西川良雄	小保方伸一	小田実
大岩均	大森徹	佐藤俊生
澤山秀哉	田中義克	内山敦志
若林利和	渡辺典子	渡辺健治
渡辺雅樹	柳瀬留美子	

苫小牧東RC

1992年苫小牧で3番目のクラブとして誕生して23年を迎えます。今年度の当クラブ会長方針は「家族と共に広めようロータリーの輪」をテーマに、会員、会員家族の親睦を深め、地域に密着した奉仕活動を実践しています。特に環境問題には創立以来取り組み、近年は留学生を交えて、会員家族と共に市内6ヶ所に設置してある郵便番号053からゼロゴミ看板を毎年春に、周辺公園と共に清掃活動を行い親睦と交流を深めています。

青山晴美	藤森善子	平田幸彦
木村京子	児玉和雄	水元修治
長岡英幸	小幡直樹	奥野義雄
斉藤英明	佐藤史典	佐藤聡
佐藤正	関千代子	菅野嘉一
鈴木浩之	内海雅義	吉田正範

苫小牧北RC

1970年1月苫小牧ロータリークラブをスポンサーにして創立されました。当クラブは創立45年を迎え、CLPを導入して4年目となります。主な事業として、1995年に日本で11番目のRCC(地域共同体)「苫小牧家庭生活カウンセリング協会」を支援しています。また今年で34回目を迎える北ロータリークラブ杯少年サッカー大会を主催しています。

阿部寛	阿部雅人	赤川勉
朝倉瑞昌	菅野秀俊	菊地芳彦
松本新一	岡田秀樹	鈴木傑
橘勇治	高橋康則	谷岡裕司
友廣久之	豊田健一	矢部繁
山田新一	山本雅昭	

札幌幌南RC (ホストクラブ)

会員全員で行う奉仕活動として児童・園児とその保護者を対象とした「親子暗唱大会」、札幌駅前通地下歩行空間で開催している「暮らしや医療の無料なんでも相談会」を継続して実施しております。当クラブは現在、札幌市内でRACを提唱している唯一のクラブです。奉仕活動ではRACメンバーとも共同で事業を行い、それ以外でも合同例会や親睦会等と積極的に交流を図っております。その結果、現在RAC出身のロータリアンは4名となりました。

網 干 要	網 干 智 子	有 田 均
有 田 真由美	蝦 名 典	蝦 名 裕 美
遠 藤 之 誉	遠 藤 聡 子	藤 田 理 恵
藤 田 裕美子	藤 田 勉	深 貝 亨
深 貝 住 子	羽 部 大 仁	松 永 さやか
原 口 康 洋	原 口 直 美	針 谷 毅
針 谷 純 子	樋 坂 修	樋 坂 由紀恵
伊 藤 みゆき	伊 藤 雅 弘	伊 藤 利 道
伊 藤 綾 子	伊 藤 嘉 英	伊 藤 笑 子
鍛 治 勉	鍛 治 良 子	金 子 兼 治
金 子 夕 湖	菅 野 満	菅 野 美 香
加 藤 康 夫	加 藤 愛 子	川 上 由美子
川 下 和 光	川 下 みち子	木 村 利 彦
北 川 好 和	北 川 智 子	近 藤 絵 浩
近 藤 栄 子	小 里 学 子	小 里 雅 彦
熊 坂 峻	熊 坂 淳 子	舛 田 愛 子
舛 田 かおり	増 山 三 稚男	増 山 法 賢
松 根 壽史男	松 根 佐 知子	美 田 鮎 美
美 田 彩 江	宮 澤 学 志	宮 澤 祐 純
森 正 志	森 京 子	長 沢 祐 純
長 沢 尉 誉	中 川 信 喜	中 川 ひろみ
中 時 浩 二	奥 村 建 夫	奥 村 みよ子
大 作 佳 範	大 作 真 貴子	大 友 淳 正
大 友 治 子	斉 藤 朋 博	酒 井 井 正
酒 井 教 子	佐 野 剛	佐 野 千代美
佐々木 雅 之	佐々木 緑	佐 藤 英 明
佐 藤 和 広	佐 藤 衣 里子	佐 藤 泰 寛
佐 藤 良 子	里 見 英 樹	里 見 誠 子
関 正 明	関 喜 美子	関 峯 吉
関 京 子	下 出 道 弘	下 出 理 恵子
高 木 宏 壽	高 木 明 子	高 橋 和 彦
高 橋 淳 子	高 橋 耕 一	田 中 賢 一
田 中 栄 子	田 澤 泰 明	田 澤 智 子
寺 尾 壽 晃	寺 尾 里 佐子	戸 井 敏 夫
戸 井 梅 子	土 谷 享 子	土 谷 京 子
海 野 英 爾	海 野 敦 子	和 田 壬 三
和 田 由紀子	山 田 良 一	山 田 みどり
山 際 昭	山 際 万 里子	柳 孝 一
柳 かおる		

地区資金収支決算書 (2013-2014年度)

■一般地区資金

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	18,936,307	19,924,368	△988,061	
2. 一般地区資金 上期 @5,400	14,256,000	13,575,600	680,400	2,514名
同 上 下期 @5,400	14,472,000	13,872,600	599,400	2,569名
3. RI助成金	2,400,000	2,779,252	△379,252	
4. ガバナー月信購読料	2,520,000	2,299,500	220,500	
5. 雑収入	50,000	23,932	26,068	受取利息他
収 入 合 計	52,634,307	52,475,252	159,055	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
A. 地区大会				
1. 地区表彰費	450,000	450,000	0	
2. ガバナー記念品費	100,000	100,000	0	
Aの部 小 計	550,000	550,000	0	
B. 助成金				
1. 地区協議会	700,000	700,000	0	
2. 都市連合会 (I M)	0	0	0	
3. 会長エレクト研修セミナー (PETS)	350,000	350,000	0	
4. 地区指導者育成セミナー	90,000	90,000	0	
5. 地区チーム研修セミナー	300,000	300,000	0	
Bの部 小 計	1,440,000	1,440,000	0	
C. 負担金				
1. ガバナー会	532,000	508,300	23,700	@100*5,083名
〃 (平和奨学生支援金)	40,200	38,535	1,665	@15*2,569名
〃 (R I J Y E C維持協力金)	264,000	251,400	12,600	@100*2,514名
2. 日本ロータリー文庫	798,000	762,450	35,550	@150*5,083名
Cの部 小 計	1,634,200	1,560,685	73,515	
D. 会議費				
1. 地区ガバナー指名委員会	100,000	157,934	△57,934	
2. 地区ガバナー諮問委員会	400,000	324,232	75,768	
3. 地区ガバナー補佐会議	800,000	800,000	0	
4. 地区委員長会議	380,000	380,000	0	
5. 地区研修リーダー会議	20,000	0	20,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会	70,000	70,000	0	
7. 地区広報・I C委員会	130,000	65,000	65,000	
8. 地区拡大委員会	20,000	0	20,000	
9. 地区会員増強委員会	50,000	0	50,000	
10. 地区職業奉仕委員会	100,000	0	100,000	
11. 地区社会奉仕委員会	160,000	160,000	0	
12. 地区新世代奉仕委員会	80,000	80,000	0	
13. 地区インターアクト委員会	100,000	100,000	0	
14. 地区ローターアクト委員会	100,000	100,000	0	
15. 地区ライラ (RYLA) 委員会	50,000	50,000	0	
16. 地区青少年交換委員会	330,000	330,000	0	



科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
17. 地区国際奉仕委員会	240,000	240,000	0	
18. 地区ロータリー財団委員会	50,000	50,000	0	
19. 地区奨学金委員会	40,000	40,000	0	
20. 地区職業研修チーム委員会	40,000	40,000	0	
21. 地区財団学友委員会	40,000	40,000	0	
22. 地区財団資金管理委員会	20,000	20,000	0	
23. 地区財団補助金委員会	20,000	0	20,000	
24. 地区財団資金推進委員会	20,000	0	20,000	
25. 地区米山記念奨学委員会	30,000	30,000	0	
26. 地区米山学友委員会	25,000	25,000	0	
27. 地区財務委員会	10,000	0	10,000	
28. 地区RI国際大会推進委員会	20,000	20,000	0	
29. 地区意義ある業績賞選考委員会	10,000	0	10,000	
30. その他委員会	130,000	0	130,000	
31. 予備費	10,000	0	10,000	
Dの部 小 計	3,595,000	3,122,166	472,834	
E. 旅 費				
1. ガバナー会	130,000	182,800	△52,800	3回開催
2. ガバナー・元・次期ガバナー会	250,000	126,220	123,780	東京開催
3. ロータリー研究会	700,000	575,340	124,660	東京開催
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	0	
5. 全国ガバナーエレクト会議	120,000	253,240	△133,240	2回開催(東京)
6. 全国地区連絡会議	350,000	424,780	△74,780	全国青少年交換委員長会議、 財団地域セミナー
7. その他会議	200,000	134,380	65,620	全国インターアクト研究会
Eの部 小 計	2,450,000	2,396,760	53,240	
F. ガバナー事務所費	12,900,000	10,581,550	2,318,450	
G. ガバナーエレクト事務所費	4,800,000	4,800,000	0	
H. ガバナー月信発行費	3,500,000	3,500,000	0	13回発行
I. ガバナー公式訪問費	1,000,000	1,000,000	0	
J. 地区文献資料室費	1,050,000	1,050,000	0	
K. 地区IC活動費	500,000	500,000	0	
L. 総予備費	48,000	0	48,000	
M. 臨時支出金	-	-	-	
支 出 合 計	33,467,200	30,501,161	2,966,039	
次 期 繰 越 金	19,167,107	21,974,091	△2,806,984	
総 計	52,634,307	52,475,252	159,055	

■特別地区資金

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	12,985,908	13,605,738	△619,830	
2. 特別地区資金 上期 @3,150	8,316,000	7,919,100	396,900	2,514名
同 上 下期 @3,150	8,442,000	8,092,350	349,650	2,569名
3. 雑収入	0	0	0	
収 入 合 計	29,743,908	29,617,188	126,720	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
A. 負担金				
1. 地区大会	4,902,380	4,902,380	0	
2. 地区協議会	2,947,280	2,947,280	0	
Aの部 小 計	7,849,660	7,849,660	0	
B. 事業費				
1. 地区インターアクト事業費	962,920	962,920	0	
2. 地区ローターアクト事業費	1,327,340	1,327,340	0	
3. 地区新世代奉仕事業費	292,600	292,600	0	
4. 地区青少年交換事業費	3,133,480	3,133,480	0	
5. 地区社会奉仕事業費	93,100	0	93,100	
6. 地区国際奉仕事業費	1,002,820	1,002,820	0	
7. 地区財団奨学生事業費	468,160	468,160	0	
8. 地区職業研修チーム事業費	250,040	33,686	216,354	
9. 地区財団学友事業費	122,360	122,360	0	
10. 世界平和奨学金事業費	26,600	0	26,600	
11. 国際友好事業費	255,360	255,360	0	
12. ライラ(RYLA)事業費	510,720	510,720	0	
13. その他の事業費	85,120	50,000	35,120	
14. 予備費	377,720	0	377,720	
Bの部 小 計	8,908,340	8,159,446	748,894	
C. 規定審議会代議員費	0	0	0	
D. 臨時支出金	-	-	-	
支 出 合 計	16,758,000	16,009,106	748,894	
次 期 繰 越 金	12,985,908	13,608,082	△622,174	
総 計	29,743,908	29,617,188	126,720	

第2510地区資金次期繰越金

(単位：円)

科 目	前期繰越金	本年度収入	収入合計	本年度支出計	次期繰越金
一般地区資金	19,924,368	32,550,884	52,475,252	30,501,161	21,974,091
特別地区資金	13,605,738	16,011,450	29,617,188	16,009,106	13,608,082
第2510地区資金合計	33,530,106	48,562,334	82,092,440	46,510,267	35,582,173

ガバナー事務所費の内訳細目

(単位：円)

科 目	予算額	2012-2013実績額	2013-2014決算額	総合計	差 額
2012-2013年度一般地区資金	4,800,000	3,478,337		3,478,337	1,321,663
2013-2014年度一般地区資金	12,900,000		11,903,213	11,903,213	996,787
合 計	17,700,000	3,478,337	11,903,213	15,381,550	2,318,450



支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	2012-2013実績額	2013-2014決算額	総合計	差 額
1. 給与手当	4,700,000	450,000	3,645,204	4,095,204	604,796
2. 家賃・光熱費	2,600,000	450,000	1,859,385	2,309,385	290,615
3. リース料	850,000	0	775,159	775,159	74,841
4. 事務用品費	500,000	84,255	336,193	420,448	79,552
5. 印刷費	1,000,000	564,060	416,907	980,967	19,033
6. 登録料など負担金	450,000	83,000	332,500	415,500	34,500
7. 会議費	800,000	448,535	301,925	750,460	49,540
8. 通信費	550,000	115,700	379,106	494,806	55,194
9. 旅費交通費	950,000	411,530	494,570	906,100	43,900
10. 渉外費	550,000	150,000	305,000	455,000	95,000
11. 資料費	500,000	330,245	101,835	432,080	67,920
12. 備品費	200,000	0	0	0	200,000
13. 地区要覧費	600,000	0	600,000	600,000	0
14. ガバナー補佐事務費	1,200,000	0	1,200,000	1,200,000	0
15. 雑 費	1,700,000	391,012	1,155,429	1,546,441	153,559
16. 予備費	550,000	0	0	0	550,000
合 計	17,700,000	3,478,337	11,903,213	15,381,550	2,318,450

第1. 決算書注記

- 地区資金クラブ負担金の収受にかかる地区内会員数は次の通りです。
 (1)会員数 上期 2,514名 下期 2,569名
 (2)会員1人当たり負担額
 上期 一般地区資金 5,400円 特別地区資金 3,150円
 下期 " 5,400円 " 3,150円
- ガバナー月信購読料
 年間購読料@3,500円 (13回発行、有料購読者数上期664冊、下期650冊)
- 収入の部及び支出の部において予算額を上回った科目には△を付記しました。

バナー事務所を継続して使用することによって、予算対比996,787円の節減となりました。

上記の結果、収入合計金額52,475,252円から支出合計金額30,501,161円を差引いた21,974,091円を次年度に繰越しました。

第2. 資金区分別概要

- 一般地区資金
 - 収入の部
 - 地区内会員数の大幅減少（予算比：上期126名、下期111名）のため、会員負担金収入は予算に対して下記の通り減収となりました。
 上期 680,400円
 下期 599,400円 合計 1,279,800円
 - RI助成金はドル建てのため円安により、予算額より379,252円多く入金となりました。
 - ガバナー月信購読者の減少により220,500円減収の2,299,500円となりました。
 - 前期繰越金は予算額より988,061円多い19,924,368円となりました。
 - 支出の部
 - 旅費について、ガバナー会は3回開催されたため支出超過しました。ガバナー・元・次期ガバナー会とロータリー研究会は当初予定していた出席数が減ったため支出が少なくなりました。全国ガバナーエレクト会議は東京で開催されましたが、前後に開催されたセミナー出席のために支出超過しました。
 - ガバナー事務所費の内訳細目には、ガバナーエレクト事務所費を含む総額について計上しました。ガバナーエレクト事務所費は予算より1,321,663円支出を削減することができ、またガバナー事務所費も前年度ガ

2. 特別地区資金

- 収入の部
 - 会員数の減少により特別地区資金も下記の通り大幅減収となりました。
 上期 396,900円
 下期 349,650円 合計 746,550円
 - 前期繰越金は予算額より619,830円多い13,605,738円となりました。
- 支出の部
 - その他の事業費は地区米山学友委員会に50,000円を支出しました。
 上記の結果、収入合計金額29,617,188円から支出合計金額16,009,106円を差引いた13,608,082円を次年度に繰越しました。

地区資金収支報告

別紙の通り地区資金収支決算書を提出します。

2014年9月10日

国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度
 地区代表幹事 八島 壯之

国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度
 地区財務委員長 吉田 欣司

地区資金収支決算書監査報告

別紙の地区資金収支決算書について監査の結果、適正であると認めます。

2014年9月10日

国際ロータリー第2510地区 2012-2013年度
 ガバナー 細川 好弘

地区年次大会収支決算書 (2013-2014年度)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	摘 要
登録料	25,930,000	25,658,000	会 員 1,482名×15,000=22,230,000 家 族 46名×10,000=460,000 歓迎晩餐会 174名×12,000=2,088,000 ゴルフ大会 87名×5,000=435,000 囲碁大会 16名×5,000=80,000 青少年 73名×5,000=365,000
地区分担金	5,452,380	5,542,380	一般地区資金 550,000 指導者育成セミナー 90,000 特別地区資金 4,902,380
雑収入	117,620	30,736	利息、その他
江別ロータリークラブ	0	1,344,366	
収入合計	31,500,000	32,575,482	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	摘 要
総務部門	1,500,000	1,063,459	791,054 事務所経費、(通信費他) 272,405 会議費
登録部門	600,000	805,807	805,807 ネームプレート、コサージュ他
広報・記録部門	4,270,000	3,805,800	69,300 パンフレット 997,500 プログラム 2,541,500 記念誌 197,500 DVD作成費
式典・会場・宿泊部門	10,230,000	12,008,508	853,793 本大会会場使用料(市民会館) 3,457,317 看板、美術費、照明、音響費 6,346,198 会長・幹事会、セミナー会場費及び晩餐会費 901,200 R1会長代理他記念品等 50,000 韓国招待者記念品 400,000 記念講演、講師
懇親・食事・接待部門	13,120,000	13,689,286	427,200 懇親会場使用料(市民体育館) 4,200,000 市民体育館会場設営費 1,674,470 昼食弁当、飲物 105,500 本体会場(飲物) 6,733,366 懇親会(料理、飲物、接待、司会) 548,750 移動費(タクシー・バス)
囲碁・ゴルフ部門	1,050,000	794,222	
囲碁		64,200	囲碁大会(会場使用料、賞品)
		154,200	弁当、懇親会費
ゴルフ		343,400	ゴルフ大会、賞品費
		232,422	食事代
並行プログラム部門	520,000	408,400	
スパウス		105,000	移動バス代
		27,000	昼食、飲み物
		2,700	入館料
新世代		105,000	移動バス費 60名
		30,600	昼食費
		138,100	体験料
予備費	300,000	0	
支出合計	31,590,000	32,575,482	



地区大会運営委員会

(プログラム委員会)

委員長 ガバナー 羽部 大仁 (札幌幌南RC)
委員 田中 賢一 (札幌幌南RC)

(信任状委員会)

委員長 パストガバナー 細川 好弘 (静内RC)
委員 パストガバナー 丸山 淳士 (札幌真駒内RC)
委員 加藤 康夫 (札幌幌南RC)

(選挙管理委員会)

委員長 パストガバナー 佐々木正丞 (札幌RC)
委員 パストガバナー 渡邊 恭久 (滝川RC)
委員 佐々木雅之 (札幌幌南RC)

(決議委員会)

委員長 パストガバナー 熊澤 隆樹 (小樽RC)
委員 パストガバナー 酒井 正人 (函館五稜郭RC)
委員 田澤 泰明 (札幌幌南RC)

(登録委員会)

委員長 パストガバナー 安孫子建雄 (江別RC)
委員 パストガバナー 矢橋 温郎 (札幌西RC)
委員 松根壽史男 (札幌幌南RC)

(出席者推進委員会)

委員長 ガバナーエレクト 嵯峨 義輝 (岩見沢RC)
ガバナー補佐 第1グループ 村中 俊二 (深川RC)
" 第2グループ 武藤 哲雄 (赤平RC)
" 第3グループ 磯野 武司 (栗山RC)
" 第4グループ 出口 元治 (札幌西北RC)
" 第5グループ 和田 壬三 (札幌幌南RC)
" 第6グループ 志比川 武 (蘭越RC)
" 第7グループ 菊池 重敏 (北広島RC)
" 第8グループ 富永 信 (三石RC)
" 第9グループ 富田 孝夫 (室蘭東RC)
" 第10グループ 小泉讓太郎 (函館セントラルRC)
" 第11グループ 大日向豊吉 (函館五稜郭RC)
" 第12グループ 手塚 貴志 (白老RC)

地区大会実行委員会

(地区大会役員)

大会顧問 木村 利彦 増山三稚男
ガバナー 羽部 大仁
大会委員長 田中 賢一
大会副委員長 山際 廣昭 関 正明
近藤 浩 海野 英爾
大会幹事 佐々木雅之
大会副幹事 伊藤 嘉英 原口 康洋

大会会計
大会SAA
大会副SAA
ホストクラブ会長
地区代表幹事

熊坂 峻
関 峯吉
奥村 建夫 佐野 剛
舛田 雅彦
田澤 泰明

(実行委員会)

総務・企画委員会

委員長 加藤 康夫
副委員長 樋坂 修
委員 高木 宏壽 大作 佳範 北川 好和
宮澤 学志 酒井 正 佐藤 和広

登録・受付委員会

委員長 松根壽史男
副委員長 針谷 毅
委員 大友 淳 金子 兼治 佐藤 英明
美田 法賢 鍛冶 勉 網干 要
斉藤 朋博 菅野 満 中時 浩二

接待・案内委員会

委員長 佐藤 泰寛
副委員長 土谷 享 北川 好和
委員 伊藤みゆき

会場・記録委員会

委員長 寺尾 壽晃
副委員長 柳 孝一
委員 長沢 祐純 川上由美子

救護・医療委員会

委員長 伊藤 利道
副委員長 下出 道弘

青少年委員会

委員長 蝦名 大典
副委員長 川下 和光
委員 高橋 耕

スパウス委員会

委員長 深貝 亨
副委員長 森 正志
委員 金子 兼治 斉藤 朋博

ゴルフ委員会

委員長 有田 均
副委員長 高橋 和彦
委員 佐野 剛

囲碁委員会

委員長 戸井 敏夫
副委員長 高橋 和彦
委員 佐野 剛

SAA委員会

委員長 関 峯吉
副委員長 奥村 建夫 佐野 剛
委員 小里 学 里見 英樹 山田 良一
藤田裕美子 遠藤 之替 藤田 理恵

会計委員会

委員長 熊坂 峻
副委員長 中川 信喜

編集後記

2014～2015年度、国際ロータリー第2510地区の地区大会が、札幌幌南ロータリークラブがホストとなり無事終了致しましたことは、本当に関係する皆様と多数のロータリアンのご協力の賜物かと心より感謝申し上げます。

大変ありがとうございました。

思い起こせば、2年前に羽部ガバナーがノミニーとして誕生してから、あっという間に地区大会がせまりどうなることやらと思いながら準備をしまいましたが、今となって思いますとこれほど会員の絆が深まったイベントはなかったと思います。

大変貴重な経験をさせて頂きました。

地区大会が終了し、数か月が経って記念誌の編集作業が始まりました。

当時のたくさんの写真、音声データ等を見たり、聞いたりしておりますと今、この目の前で大会が開催されているかのようでした。

ただ、もっとあの場面の写真を撮っておけばよかったとか、すべての写真を載せたいと思いながら作業をしておりますと、たくさんの方にご迷惑をお掛けしたのかなと反省するばかりでございます。

講師の先生方や皆様の発言には細心の注意を払いながら編集させて頂いたつもりでございますが、聞き違いや錯誤により相違があるかもしれません。

なにとぞロータリーの友情に免じてご容赦お願い申し上げます。

最後にこの記念誌を通しましてロータリアンの友情がますます深まることをお祈りいたしまして、編集後記とさせていただきます。

2015年5月31日

地区大会記念誌編集委員会

**2014～15年度
国際ロータリー第2510地区 地区大会記録誌**

発行日 平成27年 6 月30日

発行 札幌幌南ロータリークラブ

制作 株式会社ノヴェロ

印刷 白馬堂印刷株式会社

Rotary
District 2510



2014~2015年度国際ロータリー第2510地区

地区大会事務局

〒060-0042

札幌市中央区大通西11丁目大通藤井ビル内